

2025 年度 須坂市市民総合意識調査報告書

2025 年 7 月

須坂市

目 次

1. 市民意識調査の概要.....	1
2. 市民総合意識調査結果	2
(1) 回答者とその家族の属性	2
(2) 須坂市の施策に対する評価	8
(3) 自身の活動の状況や今後の意向	38
(4) 須坂市のまちづくりに対する総合評価	48
(5) 須坂市の将来都市像	59
(6) デジタル化の推進について	61
(7) 公共交通の利用について	67
<付属資料>	
テキストマイニング・ワードクラウド	70
市民総合意識調査の調査票	72

1. 市民意識調査の概要

(1) 調査の目的

第六次須坂総合計画後期基本計画の策定にあたりどのような施策を優先的に進めるべきか、市民の皆様にご意見をお伺いし、今後の市政運営に役立てることを目的とし、実施しました。

(2) 実施概要

調査は以下のとおり実施しました。

- ・調査対象者：須坂市内に住む18歳以上の男女2,000人
- ・抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出
- ・調査方法：郵送調査・インターネット回答
- ・調査期間：令和7年5月14日～令和7年6月9日
- ・有効回答数：996人 内訳 郵送回答：829人、インターネット回答：167人（回答率49.8%）

(3) 調査結果の留意点

- 報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答の設問は、回答数を有効回答者数で除した割合を示しているため、割合の合計が100%を超えています。

2. 市民総合意識調査結果

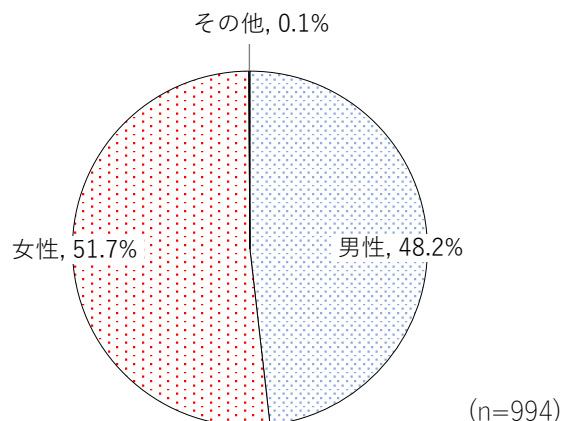
(1) 回答者とその家族の属性

- 性別を見ると、男性（48.2%）、女性（51.7%）となっています。
- 年齢を見ると、70代（24.2%）が最も多く、次いで60代（18.9%）、50代（17.6%）の順となっています。60代以上の回答者が全体の半数以上となっています。
- 居住地区を見ると、須坂（19.4%）が最も多く、次いで小山（11.0%）、日野（10.6%）の順となっています。

① 回答者の性別

図表 1 回答者の性別

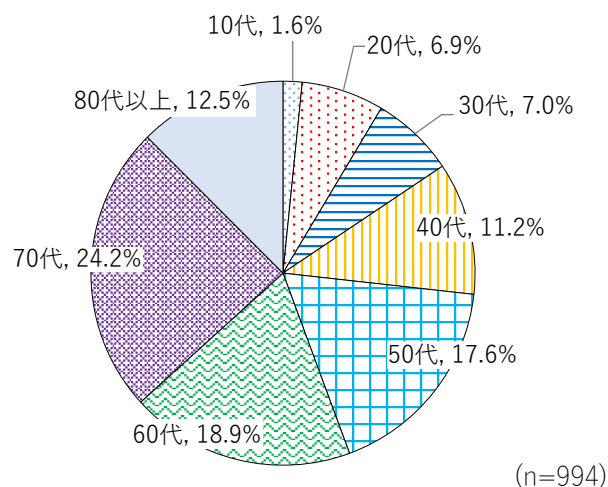
	度数	割合
男性	479	48.2
女性	514	51.7
その他	1	0.1
合計	994	100.0



② 回答者の年齢

図表 2 回答者の年齢

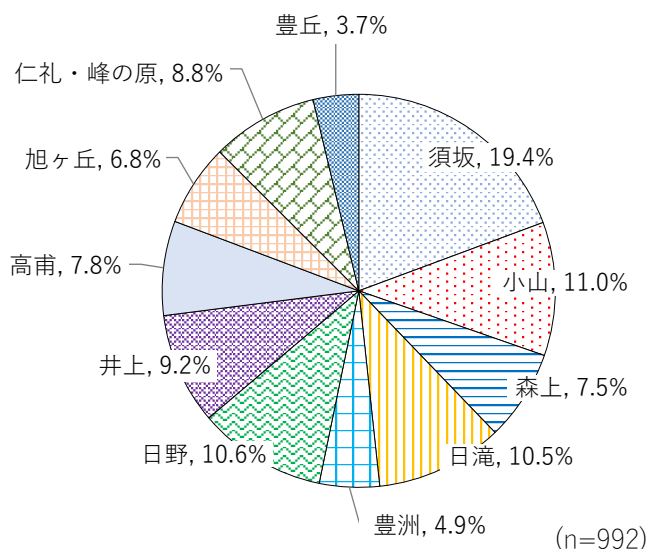
	度数	割合
10代	16	1.6
20代	69	6.9
30代	70	7.0
40代	111	11.2
50代	175	17.6
60代	188	18.9
70代	241	24.2
80代以上	124	12.5
合計	994	100.0



③ 回答者の居住地区

図表 3 回答者の居住地区

	度数	割合
須坂	192	19.4
小山	109	11.0
森上	74	7.5
日滝	104	10.5
豊洲	49	4.9
日野	105	10.6
井上	91	9.2
高甫	77	7.8
旭ヶ丘	67	6.8
仁礼・峰の原	87	8.8
豊丘	37	3.7
合計	992	100.0

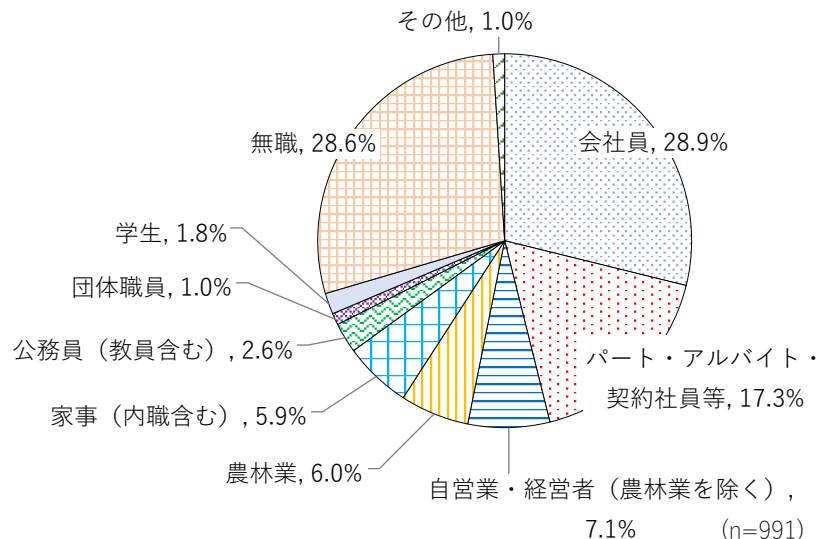


- 主な職業を見ると、会社員（28.9%）が最も多く、次いで無職（28.6%）、パート・アルバイト・契約社員等（17.3%）の順となっています。
- 回答者の主な職業で、会社員、パート・アルバイト・契約社員等、自営業・経営者（農林業を除く）、農林業、公務員（教員含む）団体職員、その他と回答した方に、勤務地をお聞きしたところ、須坂市内（54.3%）が最も多く、次いで長野市（30.7%）、その他県内市町村（14.3%）の順となっています。
- 農地の所有状況を見ると、所有しているが全体の 27.9%となっています。

④ 回答者の主な職業

図表 4 回答者の主な職業

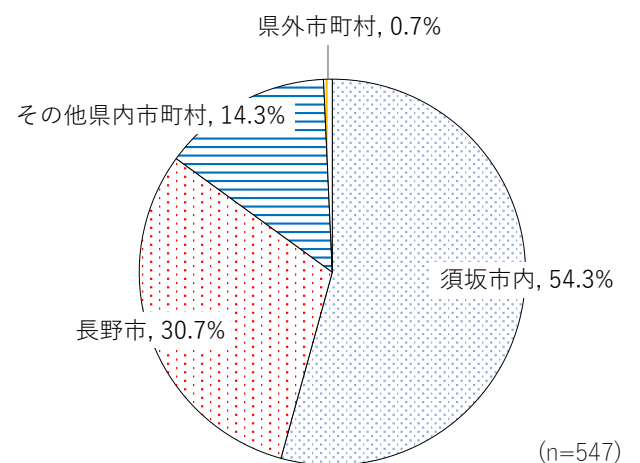
	度数	割合
会社員	286	28.9
パート・アルバイト・契約社員等	171	17.3
自営業・経営者（農林業を除く）	70	7.1
農林業	59	6.0
家事（内職含む）	58	5.9
公務員（教員含む）	26	2.6
団体職員	10	1.0
学生	18	1.8
無職	283	28.6
その他	10	1.0
合計	991	100.0



⑤ 回答者の勤務地

図表 5 回答者の勤務地

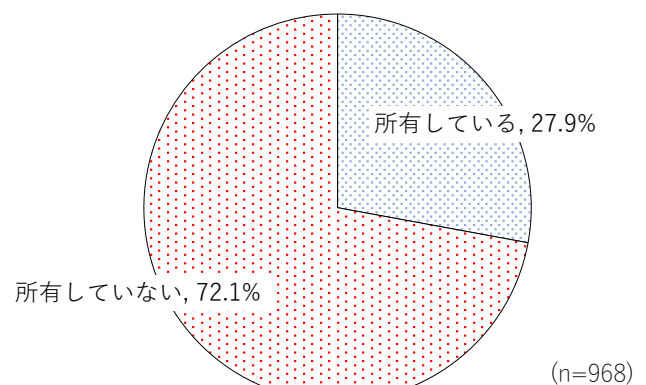
	度数	割合
須坂市内	297	54.3
長野市	168	30.7
その他県内市町村	78	14.3
県外市町村	4	0.7
合計	547	100.0



⑥ 回答者の農地の所有状況

図表 6 回答者の農地の所有状況

	度数	割合
所有している	270	27.9
所有していない	698	72.1
合計	968	100.0

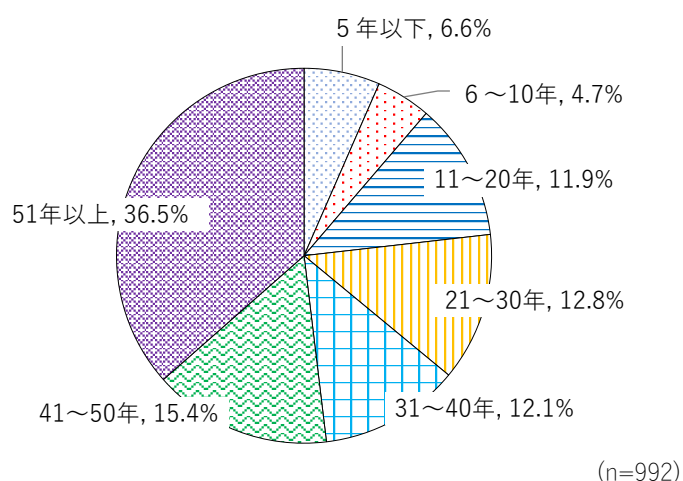


- 居住年数を見ると、51年以上（36.5%）が最も多く、次いで41～50年（15.4%）、21～30年（12.8%）の順となっています。
- 住まいの所有状況を見ると、持ち家（家族所有を含む）が9割近くを占める結果となっています。
- 配偶者の有無を見ると、結婚しているが約7割となっています。

⑦ 回答者の居住年数

図表 7 回答者の居住年数

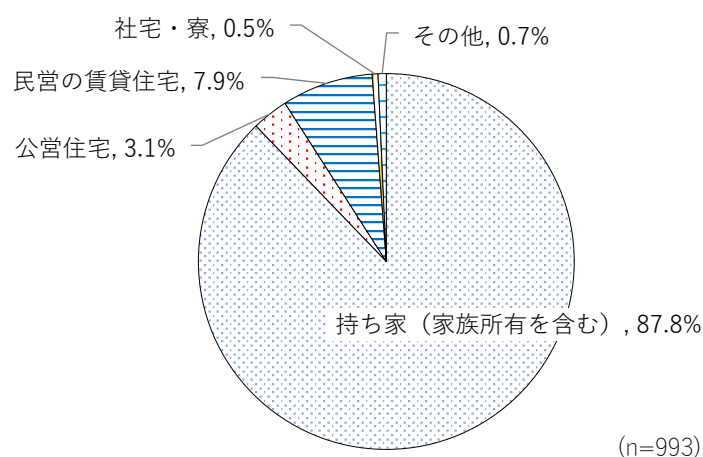
	度数	割合
5年以下	65	6.6
6～10年	47	4.7
11～20年	118	11.9
21～30年	127	12.8
31～40年	120	12.1
41～50年	153	15.4
51年以上	362	36.5
合計	992	100.0



⑧ 回答者の住まいの所有状況

図表 8 回答者の住まいの所有状況

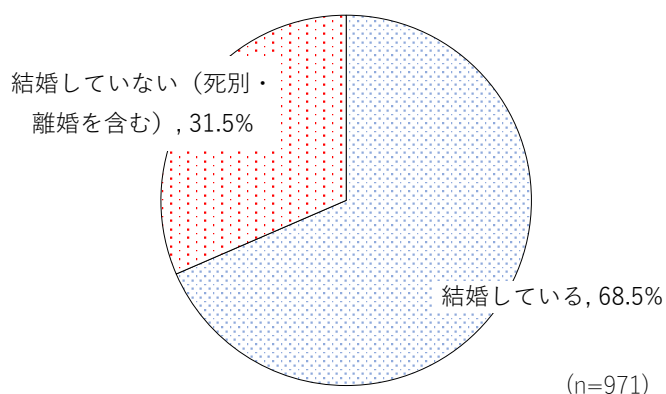
	度数	割合
持ち家（家族所有を含む）	872	87.8
公営住宅	31	3.1
民営の賃貸住宅	78	7.9
社宅・寮	5	0.5
その他	7	0.7
合計	993	100.0



⑨ 配偶者の有無

図表 9 回答者の配偶者の有無

	度数	割合
結婚している	665	68.5
結婚していない（死別・離婚を含む）	306	31.5
合計	971	100.0

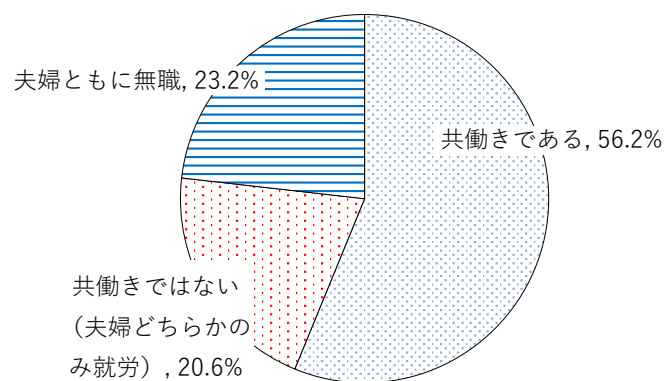


- 配偶者の有無で、結婚していると回答した方に、共働きの状況をお聞きしたところ、共働きであるが5割以上となっています。
- 同居している家族の構成を見ると、親子（2世帯）（44.5%）が最も多く、次いで夫婦だけ（30.3%）の順となっています。
- 同居中の18歳未満の家族の有無を見ると、子どもがいる世帯は3割弱にとどまっています。

⑩ 共働きの状況

図表 10 回答者の共働きの状況

	度数	割合
共働きである	368	56.2
共働きではない（夫婦どちらかのみ就労）	135	20.6
夫婦ともに無職	152	23.2
合計	655	100.0

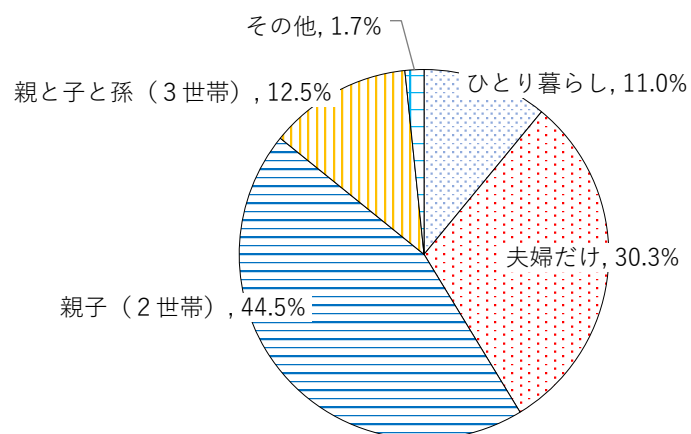


(n=655)

⑪ 同居している家族の構成

図表 11 回答者の同居している家族の構成

	度数	割合
ひとり暮らし	106	11.0
夫婦だけ	293	30.3
親子（2世帯）	430	44.5
親と子と孫（3世帯）	121	12.5
その他	16	1.7
合計	966	100.0

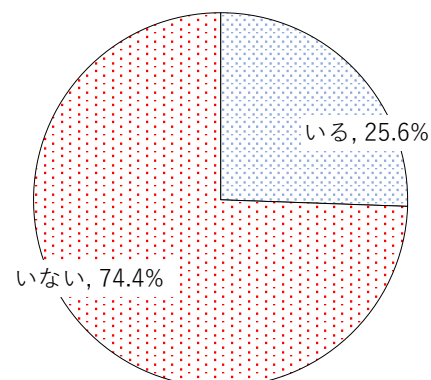


(n=966)

⑫ 同居中の18歳未満の家族の有無

図表 12 回答者の同居中の18歳未満の家族の有無

	度数	割合
いる	229	25.6
いない	667	74.4
合計	896	100.0



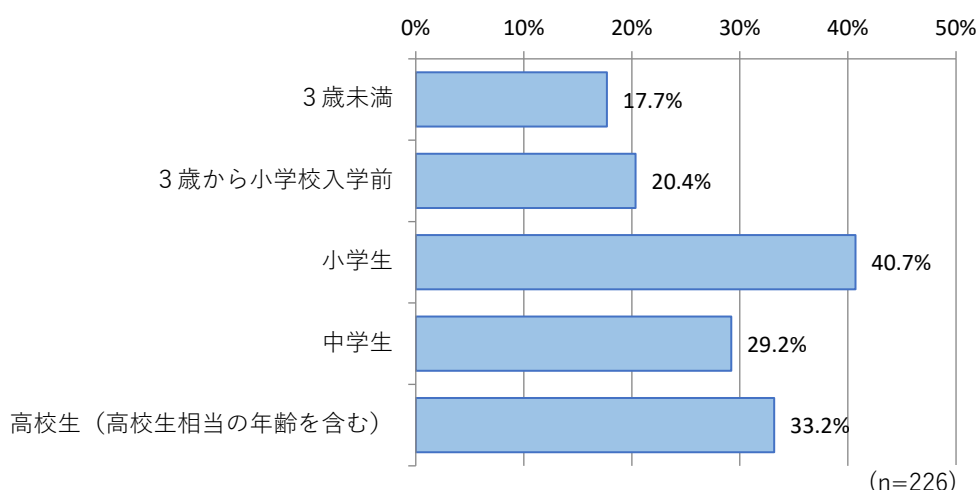
(n=896)

- 同居中の18歳未満の家族の有無で、いると回答した方に、同居中の18歳未満の家族の年齢をお聞きしたところ、小学生（40.7%）が最も多く、次いで高校生（高校生相当の年齢を含む）（33.2%）、中学生（29.2%）の順となっています。
- 同居している家族のうち、生活課題を抱えている人の有無を見ると、75歳以上の方（81.1%）が最も多く、次いで障がい者手帳を持っている方（21.8%）の順となっています。

⑬ 同居中の18歳未満の家族の年齢【複数回答】

図表 13 同居中の18歳未満の家族の年齢

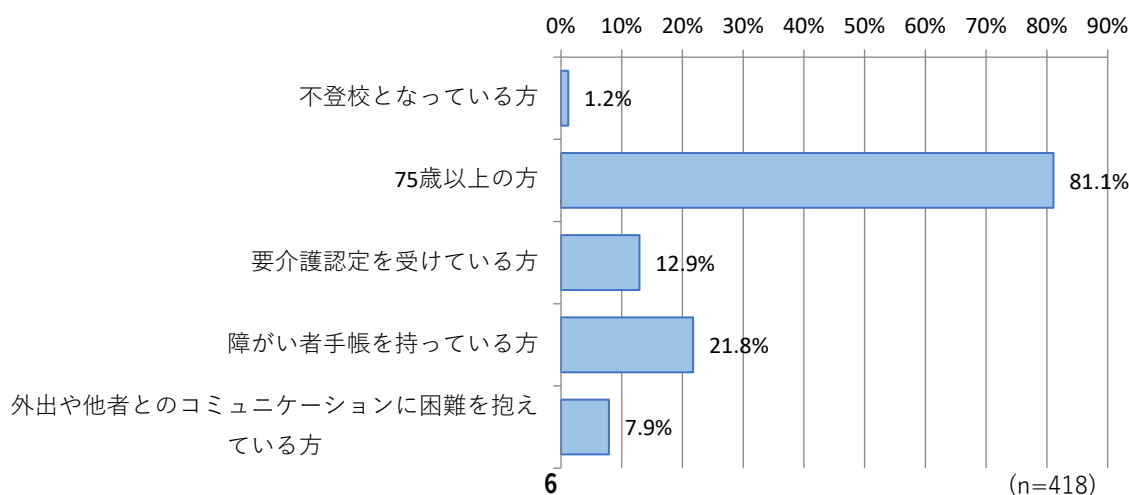
	度数	割合
3歳未満	40	17.7
3歳から小学校入学前	46	20.4
小学生	92	40.7
中学生	66	29.2
高校生（高校生相当の年齢を含む）	75	33.2
回答者数	226	



⑭ 同居している家族のうち、生活課題を抱えている人の有無【複数回答】

図表 14 同居している家族のうち、生活課題を抱えている人の有無

	度数	割合
不登校となっている方	5	1.2
75歳以上の方	339	81.1
要介護認定を受けている方	54	12.9
障がい者手帳を持っている方	91	21.8
外出や他者とのコミュニケーションに困難を抱えている方	33	7.9
回答者数	418	

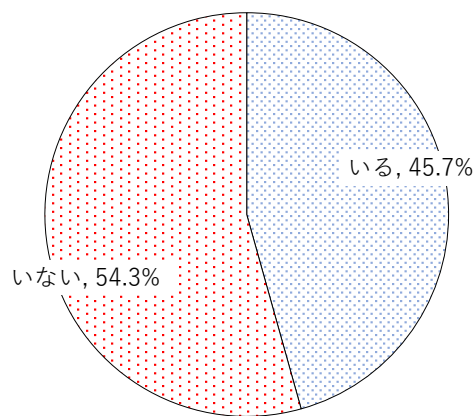


- 大学生以上の未婚の家族の有無を見ると、いる(45.7%)、いない(54.3%)となっています。
- 大学生以上の未婚の家族の有無で、いると回答した方に、大学生以上の未婚の家族の居住区をお聞きしたところ、同居(49.3%)が最も多く、次いで市外(県外)(40.5%)、市外(県内)(19.5%)の順となっています。

⑮ 大学生以上の未婚の家族の有無

図表 15 大学生以上の未婚の家族の有無

	度数	割合
いる	405	45.7
いない	482	54.3
合計	887	100.0

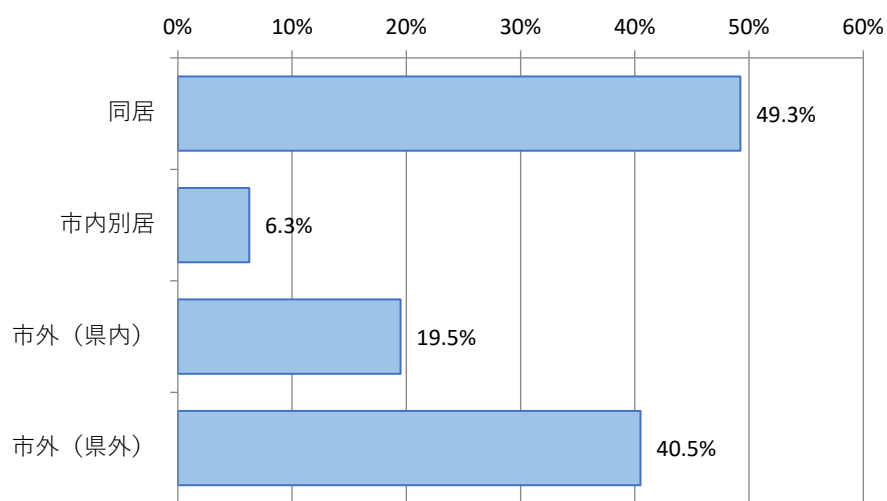


(n=887)

⑯ 大学生以上の未婚の家族の居住地

図表 16 大学生以上の未婚の家族の居住地【複数回答】

	度数	割合
同居	197	49.3
市内別居	25	6.3
市外（県内）	78	19.5
市外（県外）	162	40.5
回答者数	400	



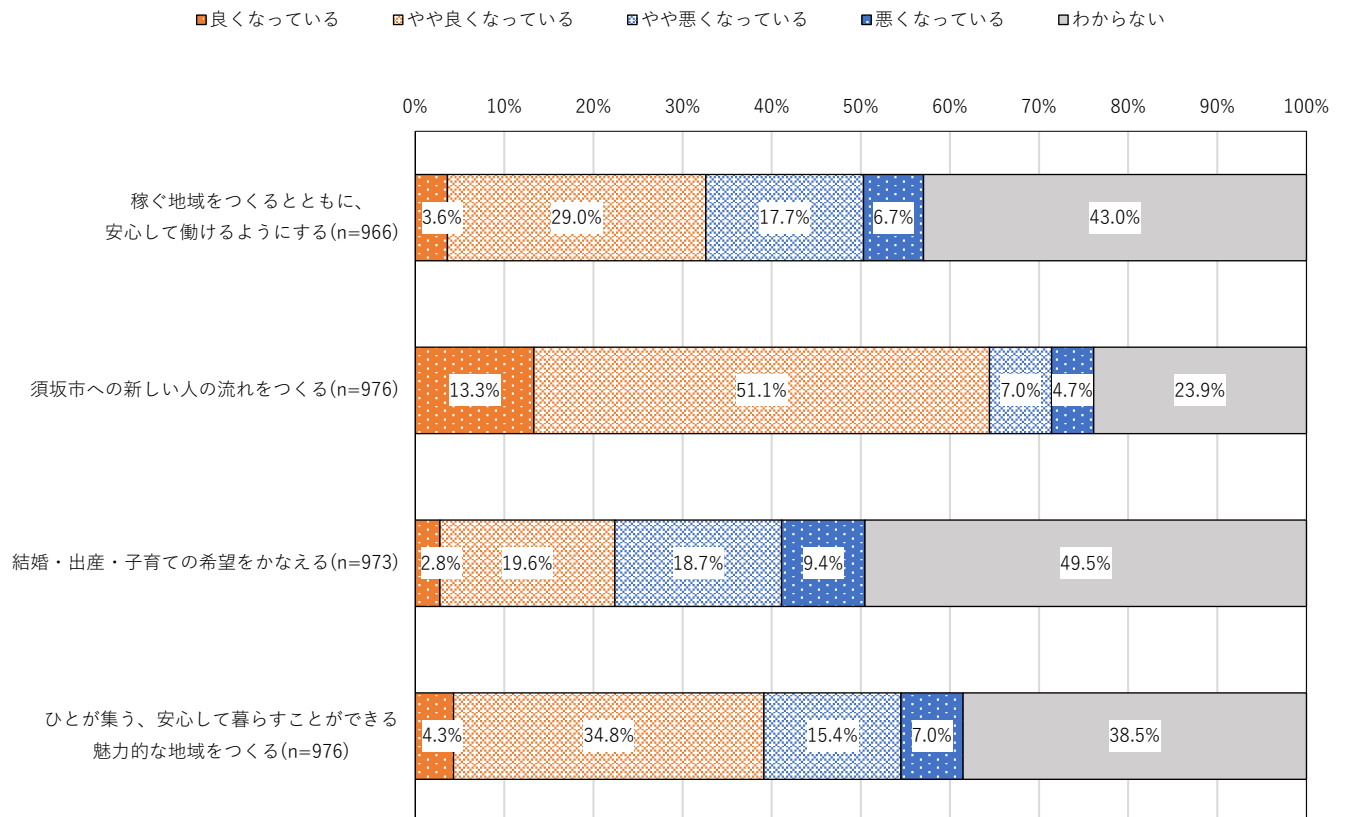
(n=400)

(2) 須坂市の施策に対する評価

- 重点プロジェクトの評価を見ると、「良くなっている」「やや良くなっている」と回答した人の割合は、「須坂市への新しい人の流れをつくる」が64.4%と最も多い結果になっています。一方で「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」は約2割にとどまっています。

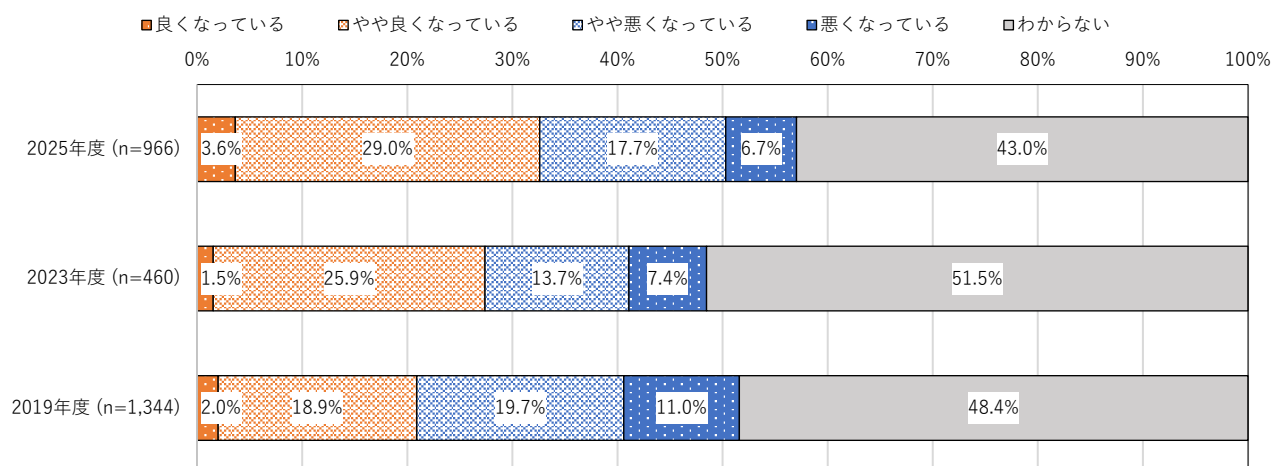
① 重点プロジェクトの評価

図表 17 重点プロジェクトの評価



- 過去調査と比較すると「稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする」の評価は、「良くなっている」「やや良くなっている」と回答した方の割合が、2019年度から11.7ポイント増加しています。
- 回答者の年代別に重点プロジェクト「稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする」の評価を見ると、「良くなっている」「やや良くなっている」と回答した方の割合は、30代（37.2%）が最も多くなっています。

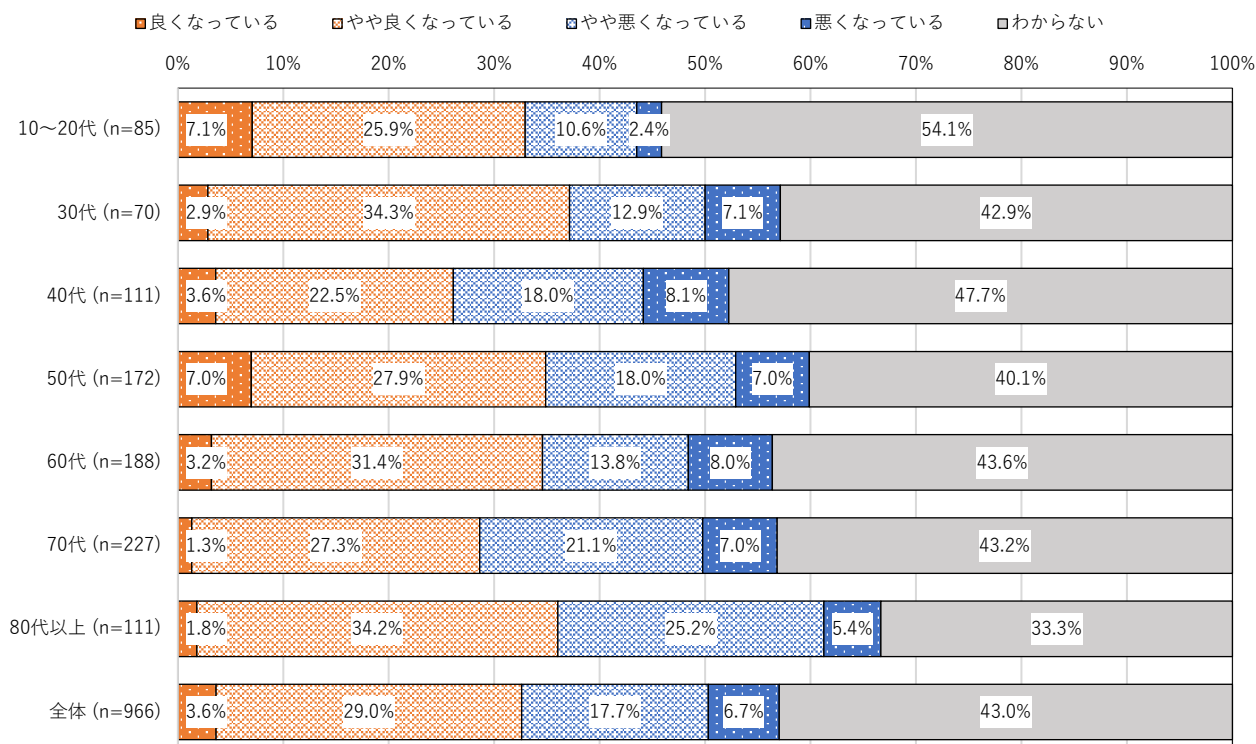
図表 18 【過去調査と比較】「稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする」の評価



※2019年度の値は、設問が一部今回の内容と異なるため、参考値とする

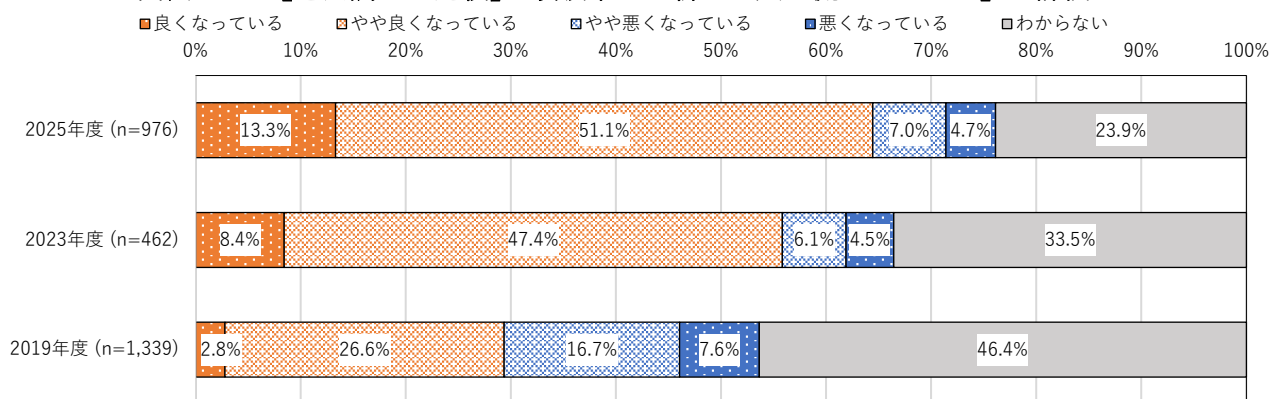
図表 19 回答者の年齢×重点プロジェクト

「稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする」の評価



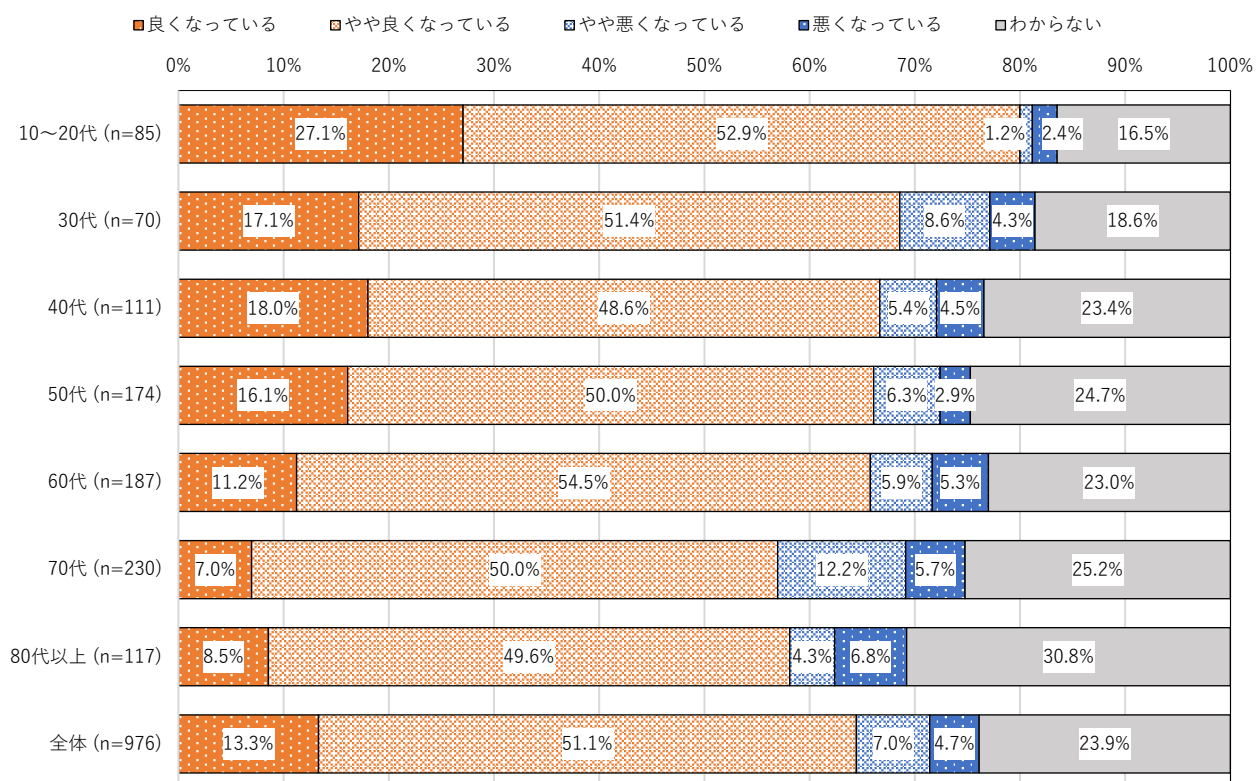
- 過去調査と比較すると、「須坂市への新しい人の流れをつくる」の評価は、「良くなっている」「やや良くなっている」と回答した人の割合が、2019年度から 35.0 ポイント増加しています。
- 回答者の年代別に重点プロジェクト「須坂市への新しい人の流れをつくる」の評価を見ると、「良くなっている」「やや良くなっている」と回答した人の割合は、10～20 代（80.0%）が最も多く、次いで 30 代（68.5%）、40 代（66.6%）の順で、全ての年代で半数以上の高い評価となっています。また、年代が低くなるにつれ、「良くなっている」と回答した割合が多くなっています。

図表 20 【過去調査と比較】「須坂市への新しい人の流れをつくる」の評価



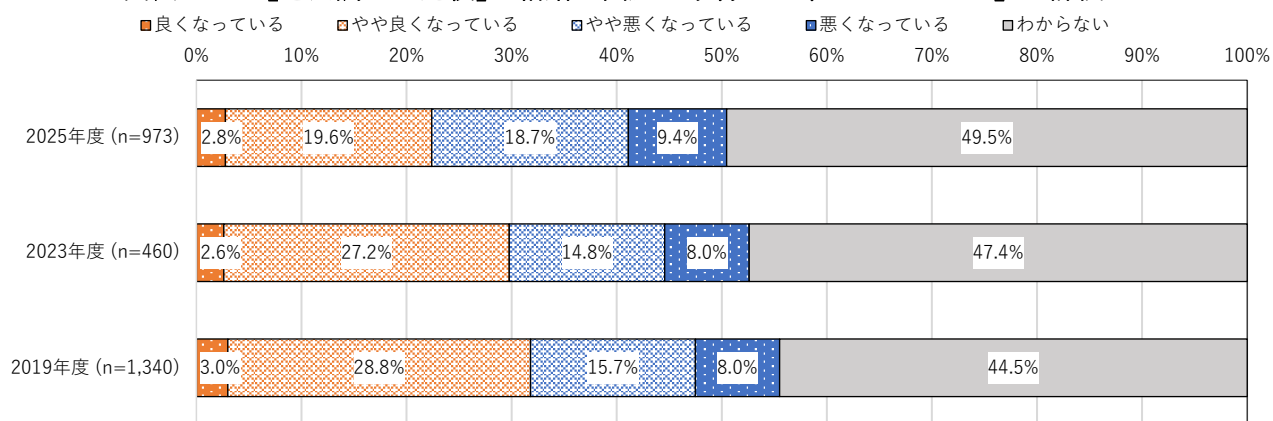
※2019年度の値は、設問が一部今回の内容と異なるため、参考値とする

図表 21 回答者の年齢×重点プロジェクト「須坂市への新しい人の流れをつくる」の評価



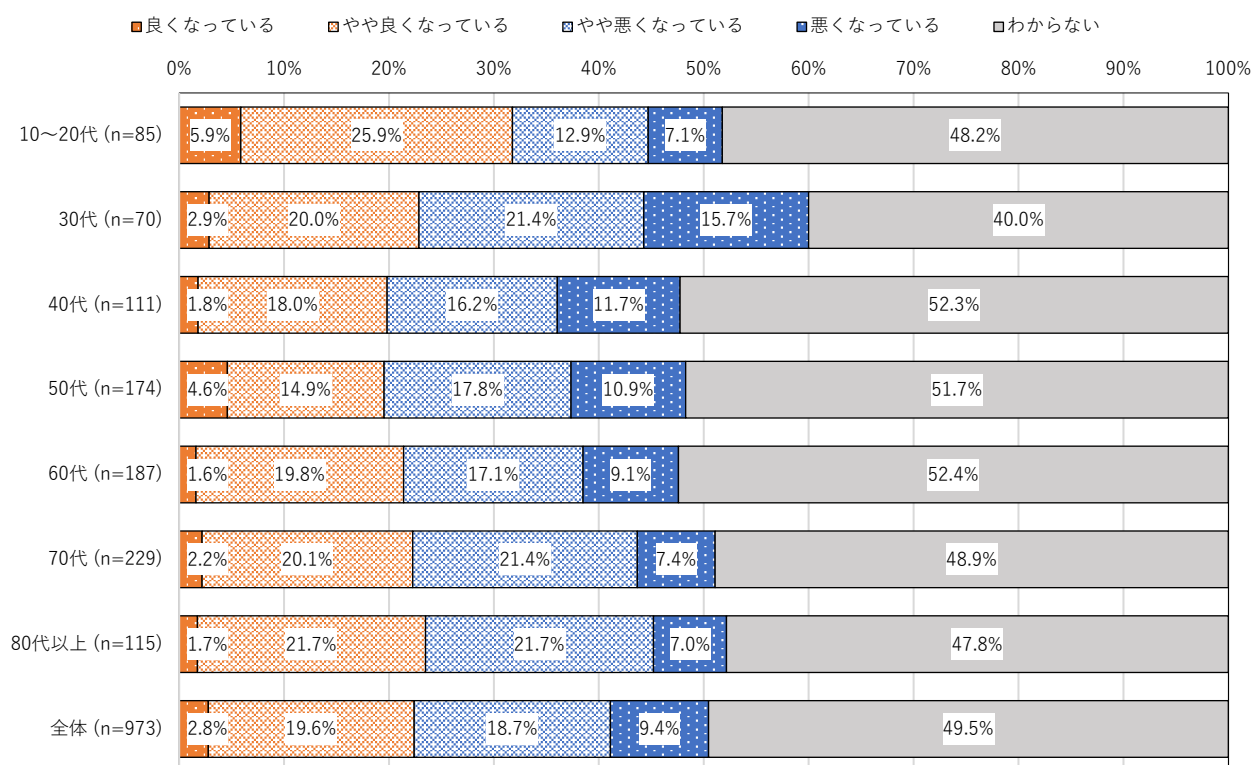
- 過去調査と比較すると、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」の評価は、「良くなっている」「やや良くなっている」と回答した人の割合が、2019年度から9.4ポイント減り、「悪くなっている」「やや悪くなっている」が4.4ポイント増加しています。
- 回答者の年代別に重点プロジェクト「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」の評価を見ると、「悪くなっている」「やや悪くなっている」と回答した人の割合は、10～20代を除いた年代で約3割と厳しい評価となっています。

図表 22 【過去調査と比較】「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」の評価



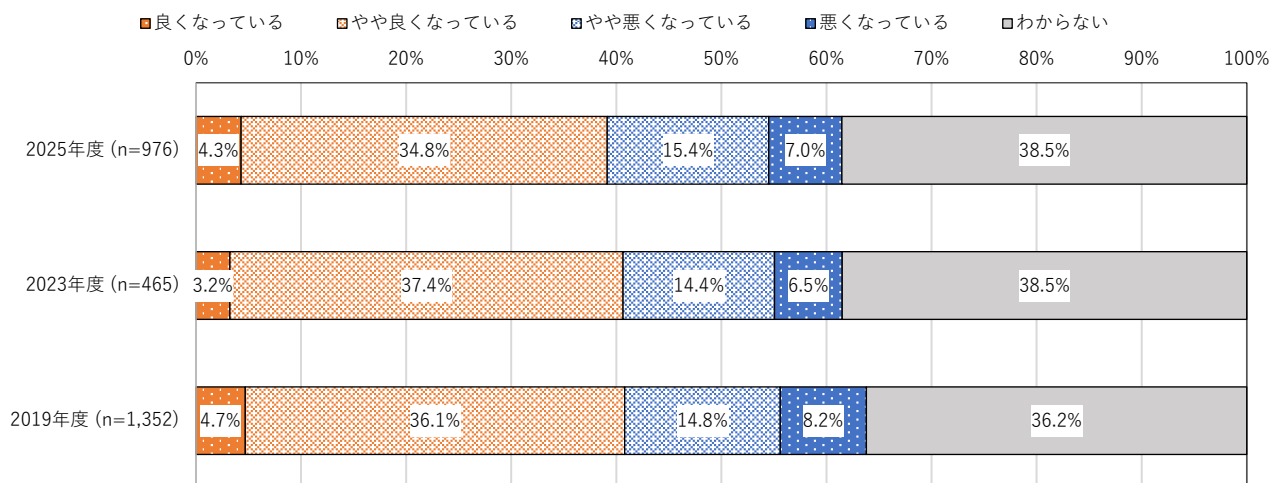
※2019年度の値は、設問が一部今回の内容と異なるため、参考値とする

図表 23 回答者の年齢×重点プロジェクト「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」の評価



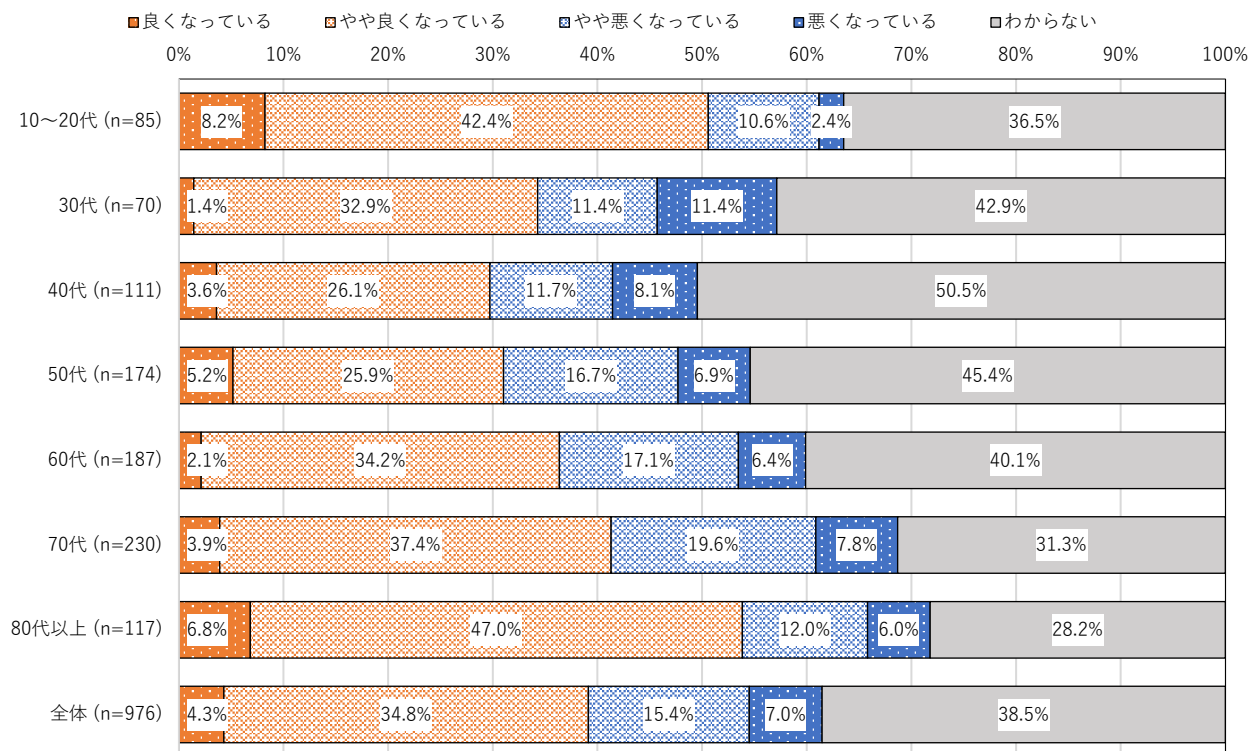
- 過去調査と比較すると、「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をるくる」の評価は、ほぼ同様の回答となっています。
- 回答者の年代別に重点プロジェクト「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」の評価を見ると、「良くなっている」「やや良くなっている」と回答した人の割合は、80代以上（53.8%）が最も多く、次いで10～20代（50.6%）の順となっています。一方で、30～50代は約3割にとどまっています。

図表 24 【過去調査と比較】「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」の評価



※2019年度の値は、設問が一部今回の内容と異なるため、参考値とする

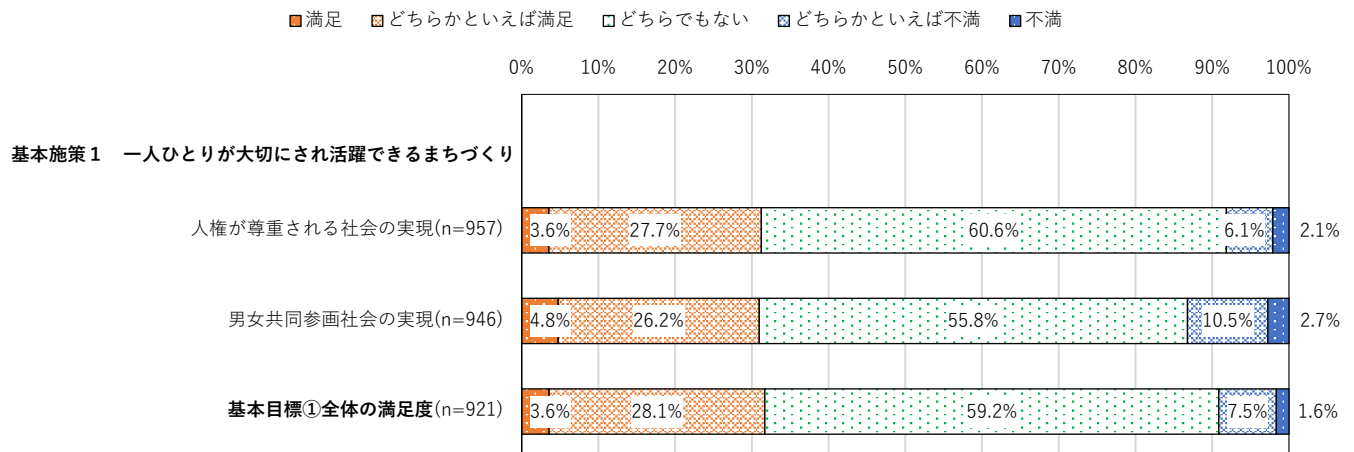
図表 25 回答者の年齢×重点プロジェクト
「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」の評価



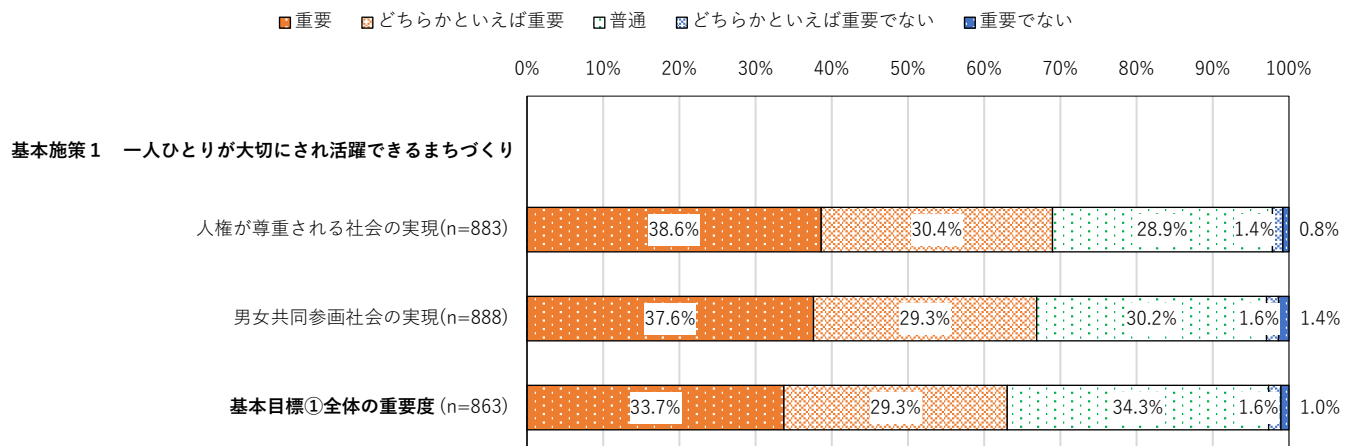
- 基本目標 1 の満足度を見ると、全体では「どちらでもない」(59.2%)が最も多く、「満足」「どちらかといえば満足」は約 3 割にとどまっています。各取組みの満足度は全体と同じ傾向となっています。
- 基本目標 1 の重要度を見ると、全体では「重要」「どちらかといえば重要」が最も多く、約 6 割となっています。

② 基本目標 1 「多様性を認め合い、誰もが活躍できるまち」の評価

図表 26 基本目標 1 の満足度



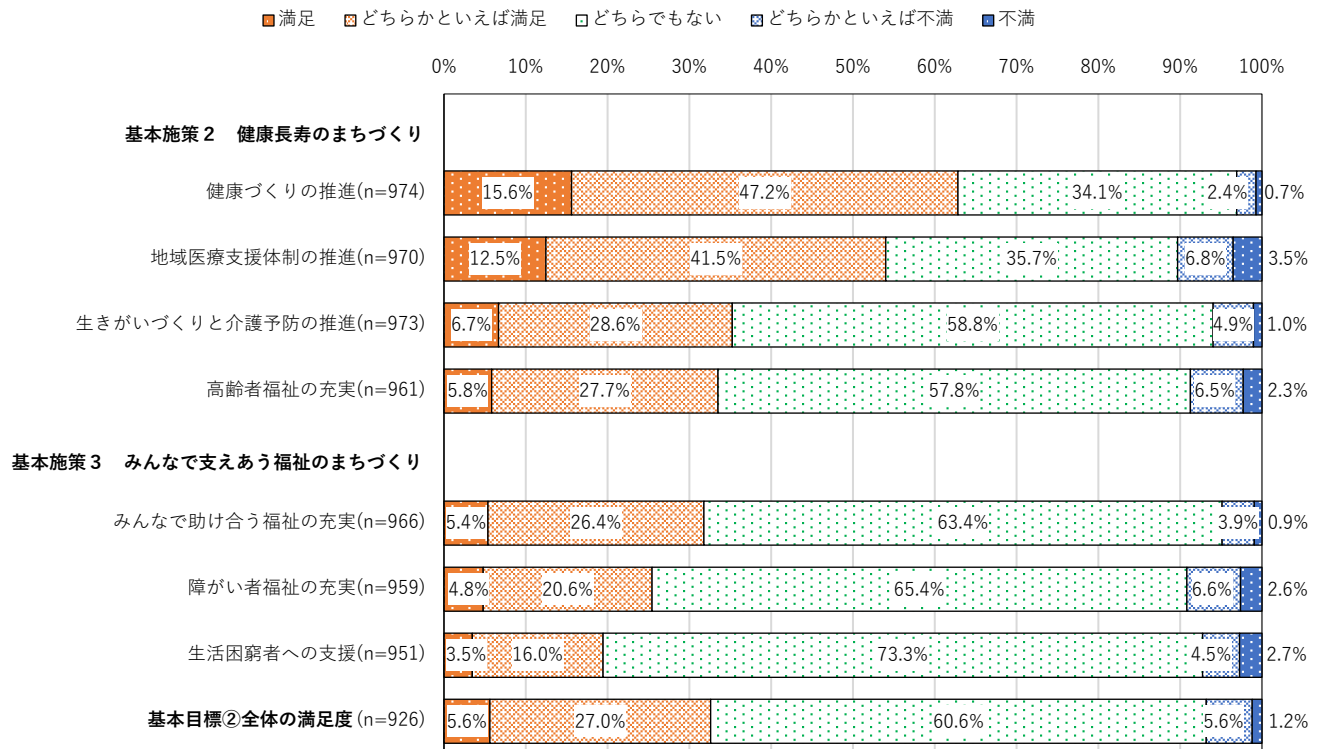
図表 27 基本目標 1 の重要度



- 基本目標2の満足度を見ると、全体では「どちらでもない」が最も多く約6割を占めています。
- 基本目標2の各取組みの満足度を見ると、「満足」「どちらかといえば満足」は健康づくりの推進(62.8%)が最も多く、次いで地域医療支援体制の推進(54.0%)の順となっています。一方で、障がい者福祉の充実(25.4%)、生活困窮者への支援(19.5%)は3割以下となっています。

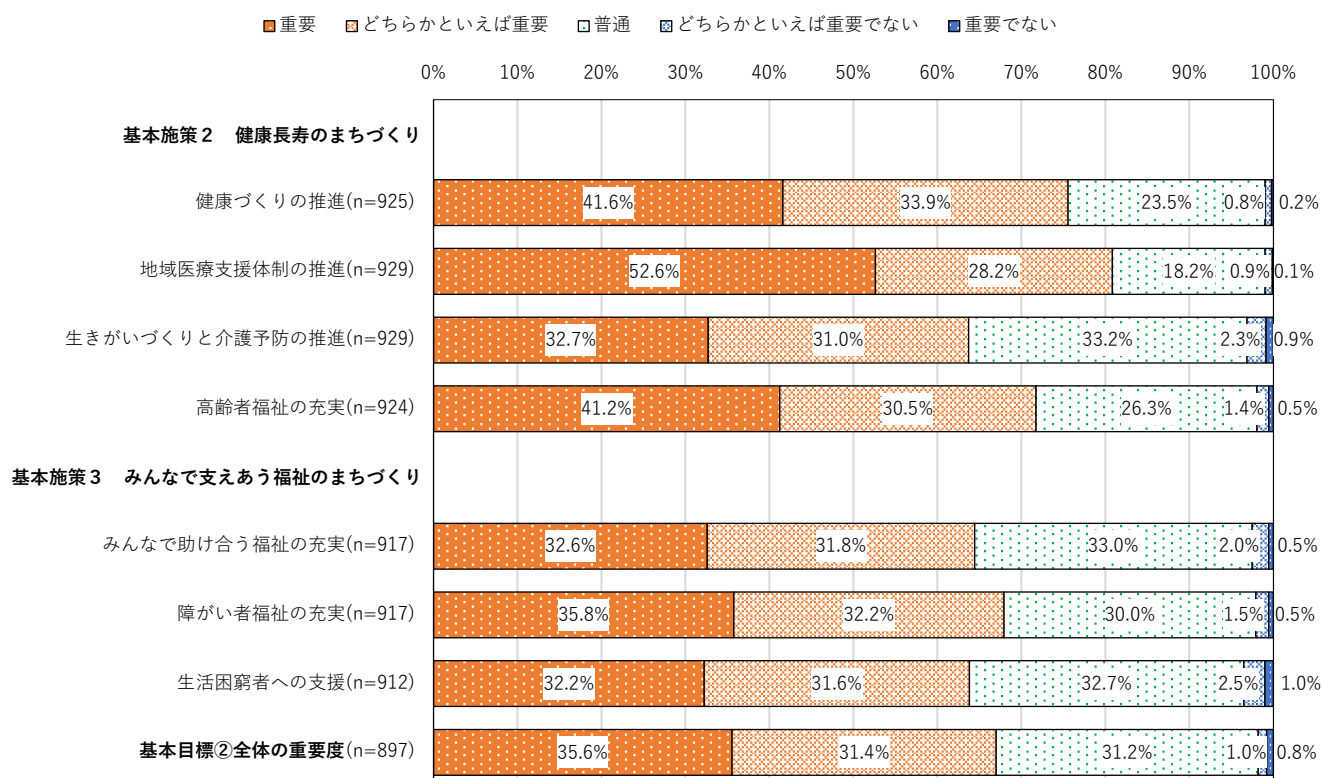
③ 基本目標2「みんなで支えあい健やかに暮らせるまち」の評価

図表 28 基本目標2の満足度



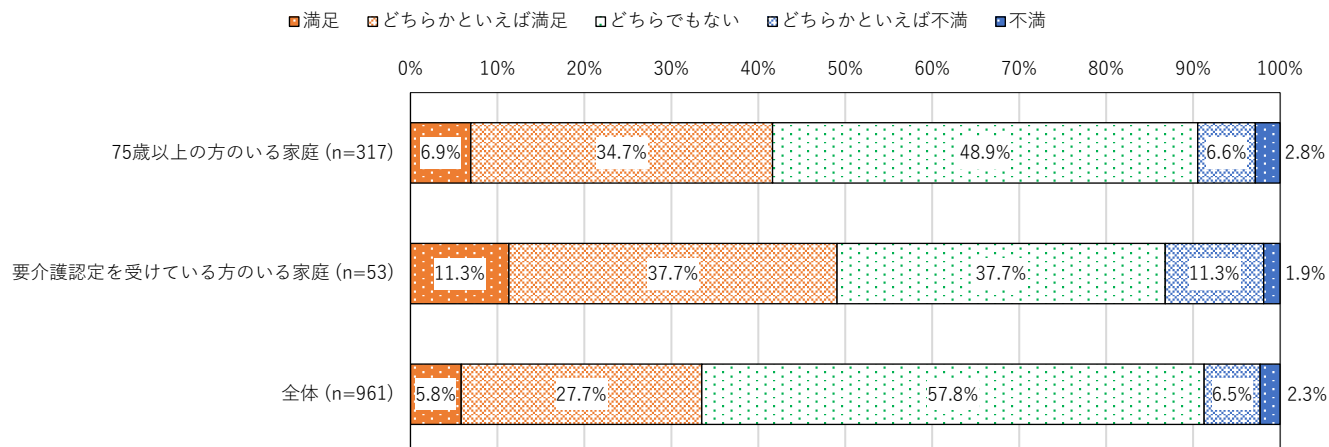
- 基本目標2の重要度を見ると、全体では「重要」「どちらかといえば重要」と回答した人の割合が、約7割となっています。
- 基本目標2の各取組みの重要度を見ると、「重要」「どちらかといえば重要」と回答した人の割合は、地域医療支援体制の推進(80.8%)が最も多く、次いで健康づくりの推進(75.5%)の順となっています。
- 基本目標2「みんなで支えあい健やかに暮らせるまち」の全ての取組みにおいて6割以上の人が「重要」「どちらかといえば重要」と回答していることから、重要度の高さが伺えます。

図表 29 基本目標2の重要度

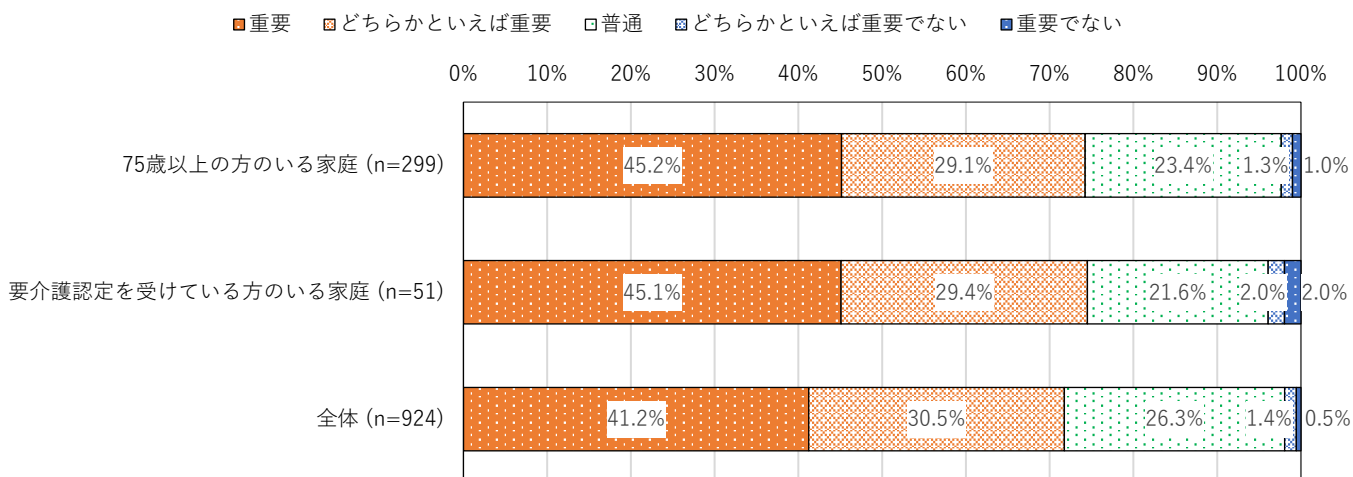


- 「高齢者福祉の充実」の受益者による満足度の分析を見ると、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人の割合は、要介護認定を受けている方のいる家庭（49.0％）が最も多く、次いで75歳以上の方のいる家庭（41.6％）の順となっています。
- 「高齢者福祉の充実」の受益者による重要度の分析を見ると、75歳以上の方のいる家庭、要介護認定を受けている方のいる家庭の7割以上が「高齢者福祉の充実」は重要としています。

図表 30 「高齢者福祉の充実」の受益者による満足度の分析

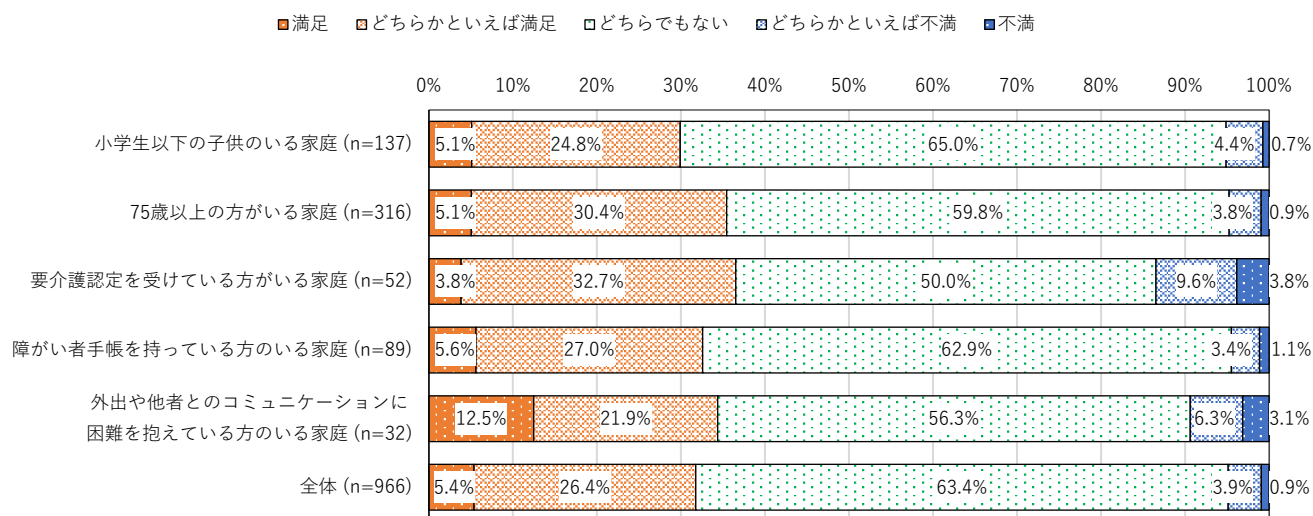


図表 31 「高齢者福祉の充実」の受益者による重要度の分析

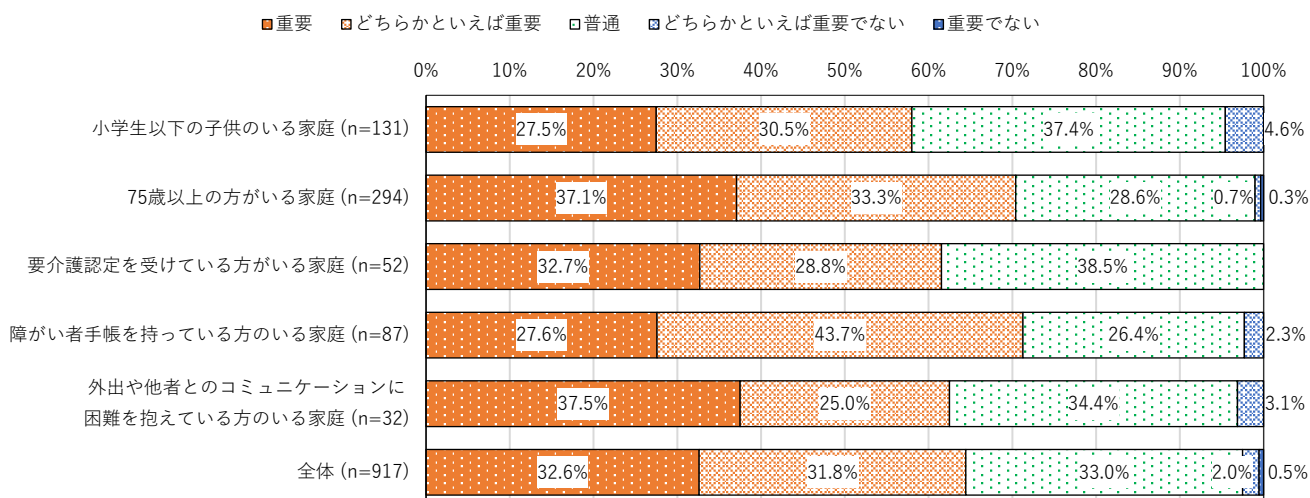


- 「みんなで助け合う福祉の充実」の受益者による満足度の分析を見ると、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人の割合は、要介護認定を受けている方がいる家庭（36.5%）が最も多くなっています。一方で、「不満」「どちらかといえば不満」と回答した人の割合も、要介護認定を受けている方がいる家族（13.4%）が最も多い結果となっています。
- 「みんなで助け合う福祉の充実」の受益者による重要度の分析を見ると、「重要」「どちらかといえば重要」と回答した人の割合は、障がい者手帳を持っている方のいる家庭（71.3%）が最も多く、次いで75歳以上の方がいる家庭（70.4%）の順となっています。

図表 32 「みんなで助け合う福祉の充実」の受益者による満足度の分析

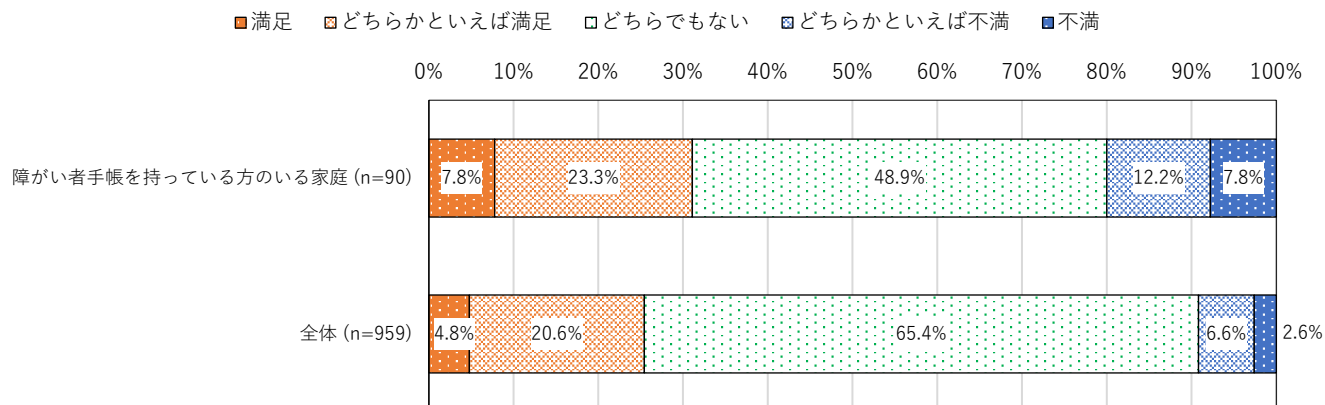


図表 33 「みんなで助け合う福祉の充実」の受益者による重要度の分析

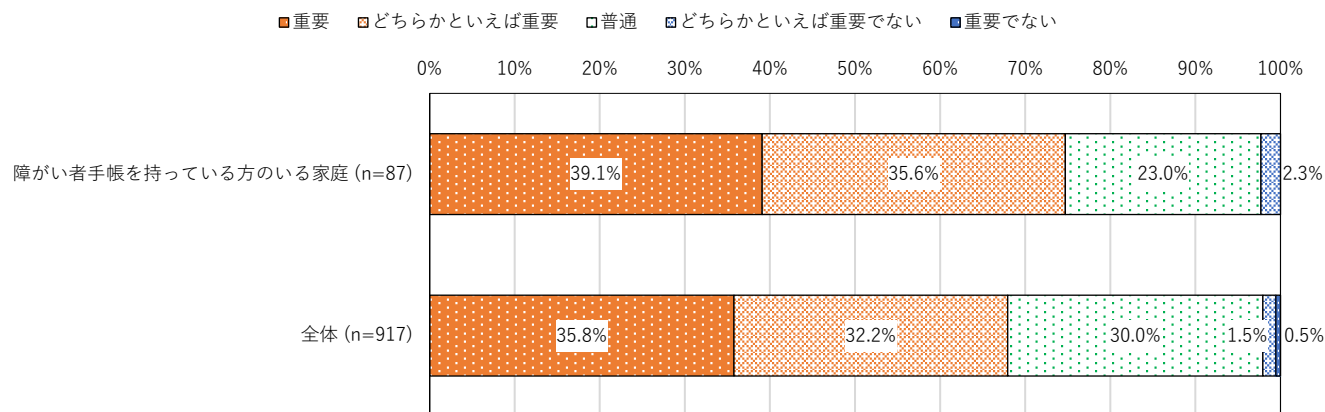


- 「障がい者福祉の充実」の受益者による満足度の分析を見ると、障がい者手帳を持っている方のいる家庭で「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人の割合は、約3割となっています。一方で、「不満」「どちらかといえば不満」と回答した人の割合は約2割となっています。
- 「障がい者福祉の充実」の受益者による重要度の分析を見ると、障がい者手帳を持っている方のいる家庭の約7割が「障がい者福祉の充実」の重要性を感じています。

図表 34 「障がい者福祉の充実」の受益者による満足度の分析



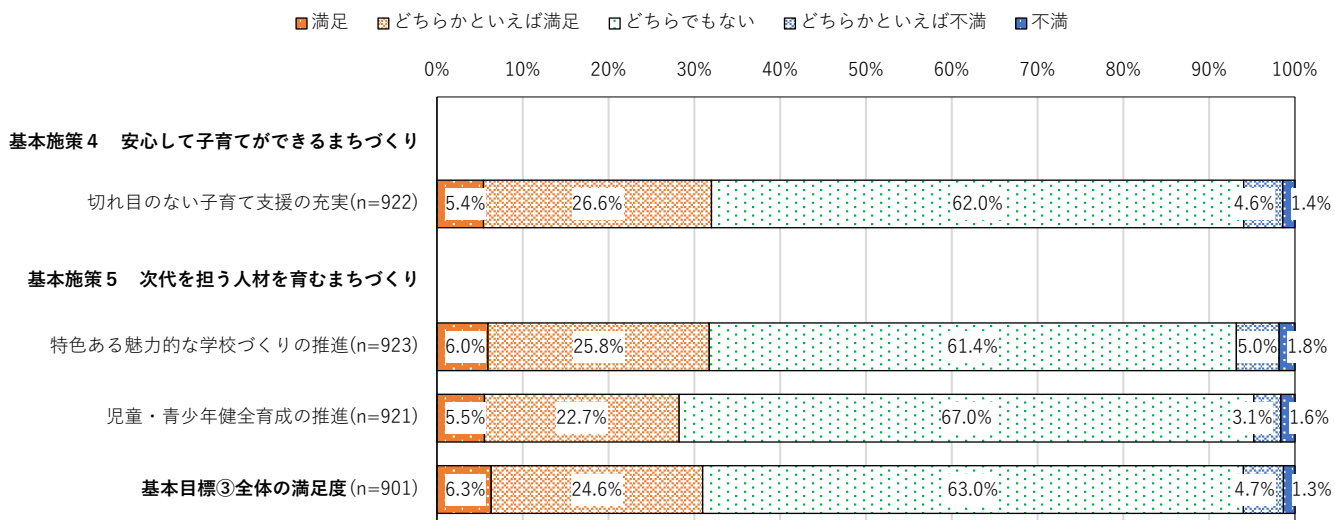
図表 35 「障がい者福祉の充実」の受益者による重要度の分析



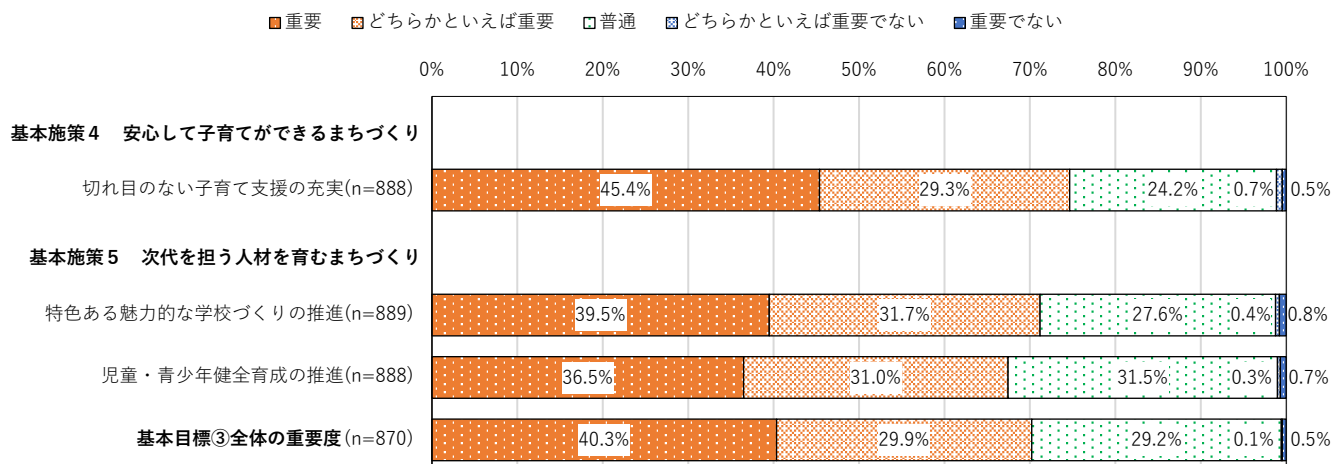
- 基本目標 3 の満足度を見ると、全体では「どちらでもない」が最も多く 6 割以上を占め、「満足」「どちらかといえば満足」は約 3 割となっています。
- 基本目標 3 の重要度を見ると、切れ目のない子育て支援の充実、特色ある魅力的な学校づくりの推進で「重要」「どちらかといえば重要」と回答した人の割合が 7 割以上を占めています。

④ 基本目標 3 「子どもの個性と力がのびのび育つ教育のまち」の評価

図表 36 基本目標 3 の満足度

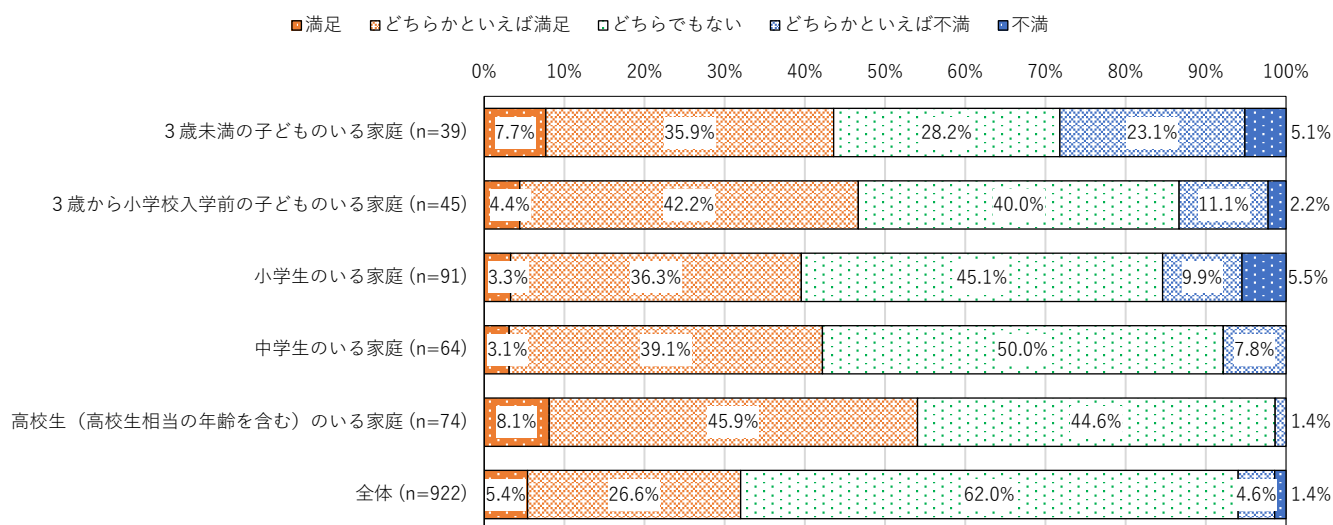


図表 37 基本目標 3 の重要度

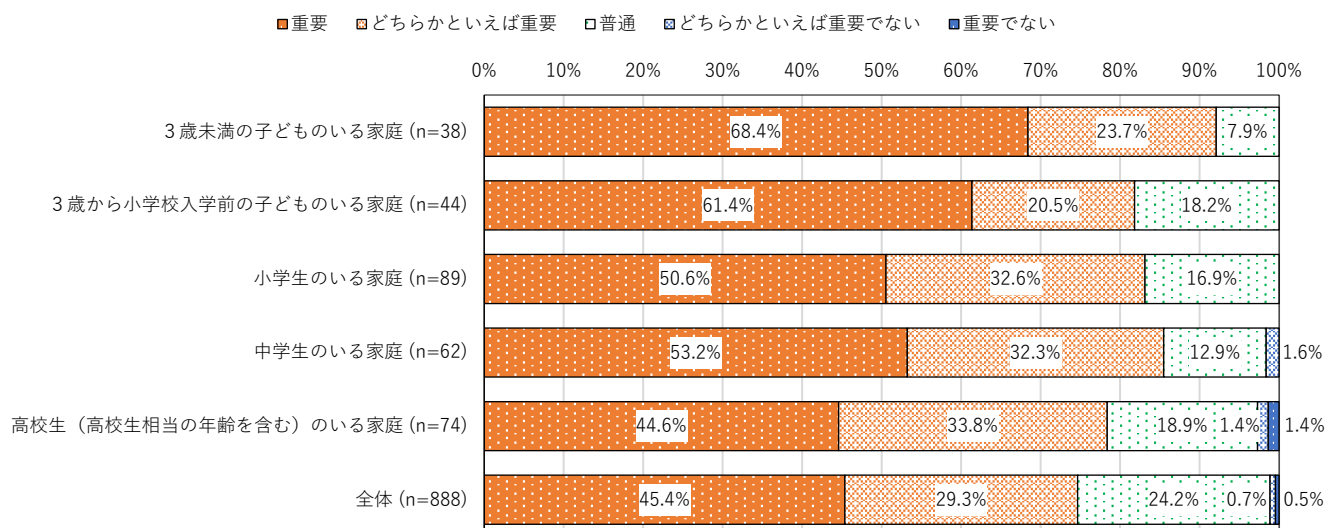


- 「切れ目のない子育て支援の充実」の受益者による満足度の分析を見ると、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人の割合は、高校生（高校生相当の年齢を含む）のいる家庭（54.0%）が最も多く、次いで3歳から小学校入学前の子どものいる家庭（46.6%）の順となっています。一方で、「不満」「どちらかといえば不満」と回答した人の割合は、3歳未満の子どもの家庭（28.2%）となっています。
- 「切れ目のない子育て支援の充実」の受益者による重要度の分析を見ると、高校生（高校生相当の年齢を含む）のいる家庭を除く全ての受益者の家庭で「重要」「どちらかといえば重要」と回答した人の割合が8割以上を占める結果となっています。

図表 38 「切れ目のない子育て支援の充実」の受益者による満足度の分析

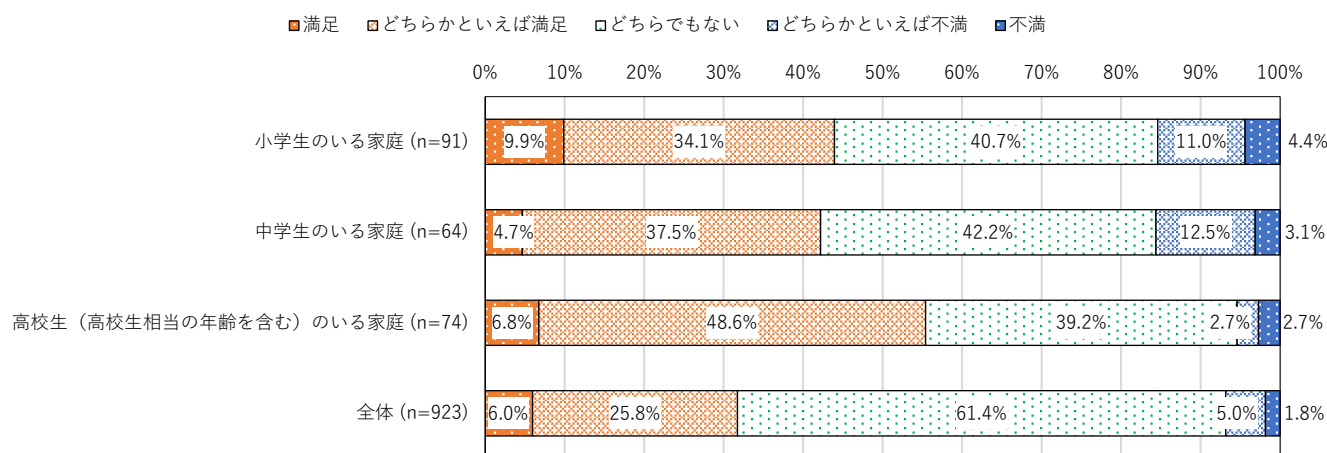


図表 39 「切れ目のない子育て支援の充実」の受益者による重要度の分析

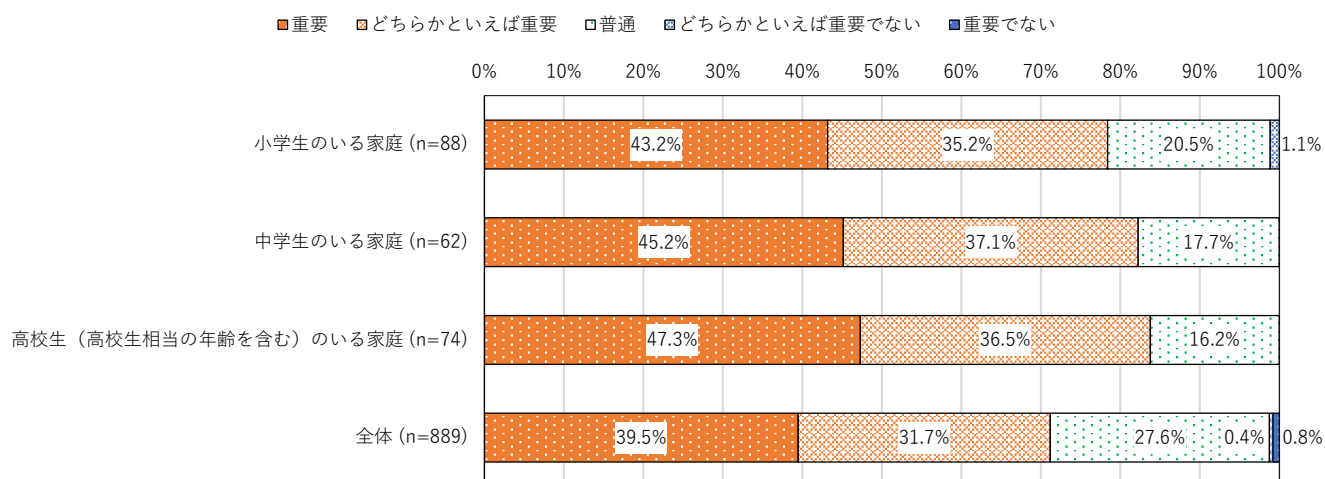


- 「特色ある魅力的な学校づくりの推進」の受益者による満足度の分析を見ると、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人の割合は、高校生（高校生相当の年齢を含む）のいる家庭（55.4%）が最も多くなっています。一方で、「不満」「どちらかといえば不満」と回答した人の割合は、中学生のいる家庭（15.6%）が最も多く、次いで小学生のいる家庭（15.4%）の順となっています。
- 「特色ある魅力的な学校づくりの推進」の受益者による重要度の分析を見ると、「重要」「どちらかといえば重要」と回答した人の割合は、全ての受益者の家庭で約8割を占める結果となっています。

図表 40 「特色ある魅力的な学校づくりの推進」の受益者による満足度の分析



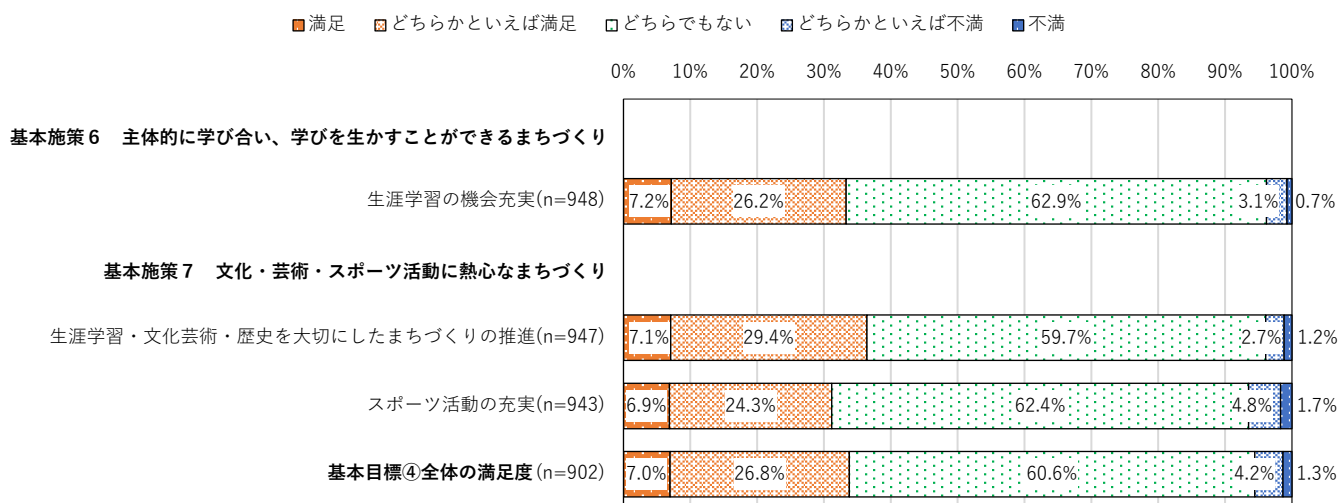
図表 41 「特色ある魅力的な学校づくりの推進」の受益者による重要度の分析



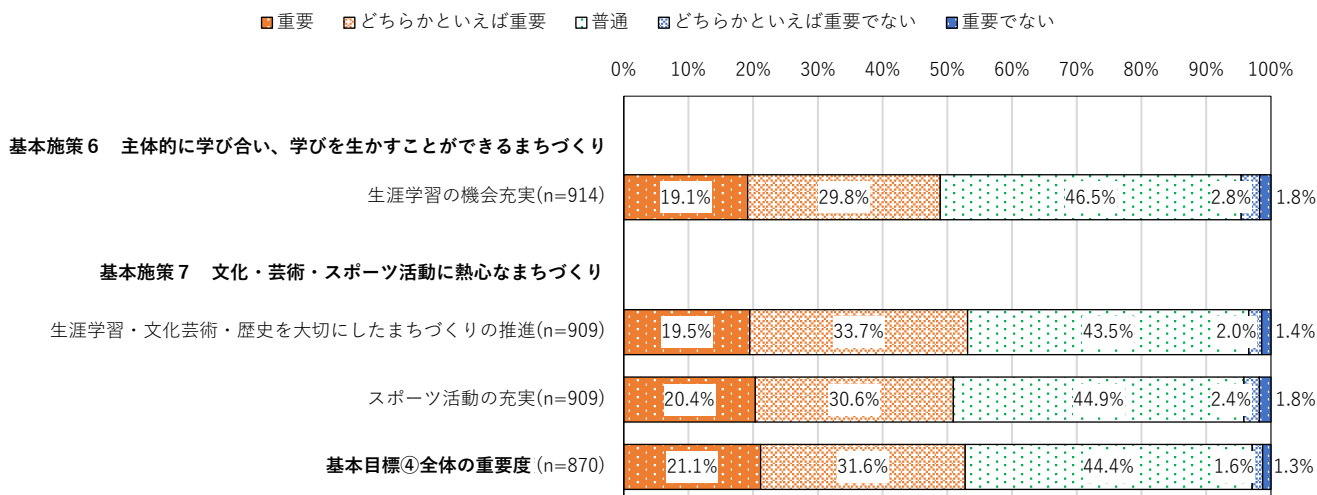
- 基本目標 4 の満足度を見ると、全体では「どちらでもない」が最も多く約 6 割を占め、次いで「満足」「どちらかといえば満足」の合計は 33.8%となっています。各取組みの満足度は全体の満足度と同じ傾向となっています。
- 基本目標 4 の重要度を見ると、全体では「重要」「どちらかといえば重要」が約 5 割を占める結果となっています。

⑤ 基本目標 4 「一人ひとりが学び、高め合うまち」の評価

図表 42 基本目標 4 の満足度



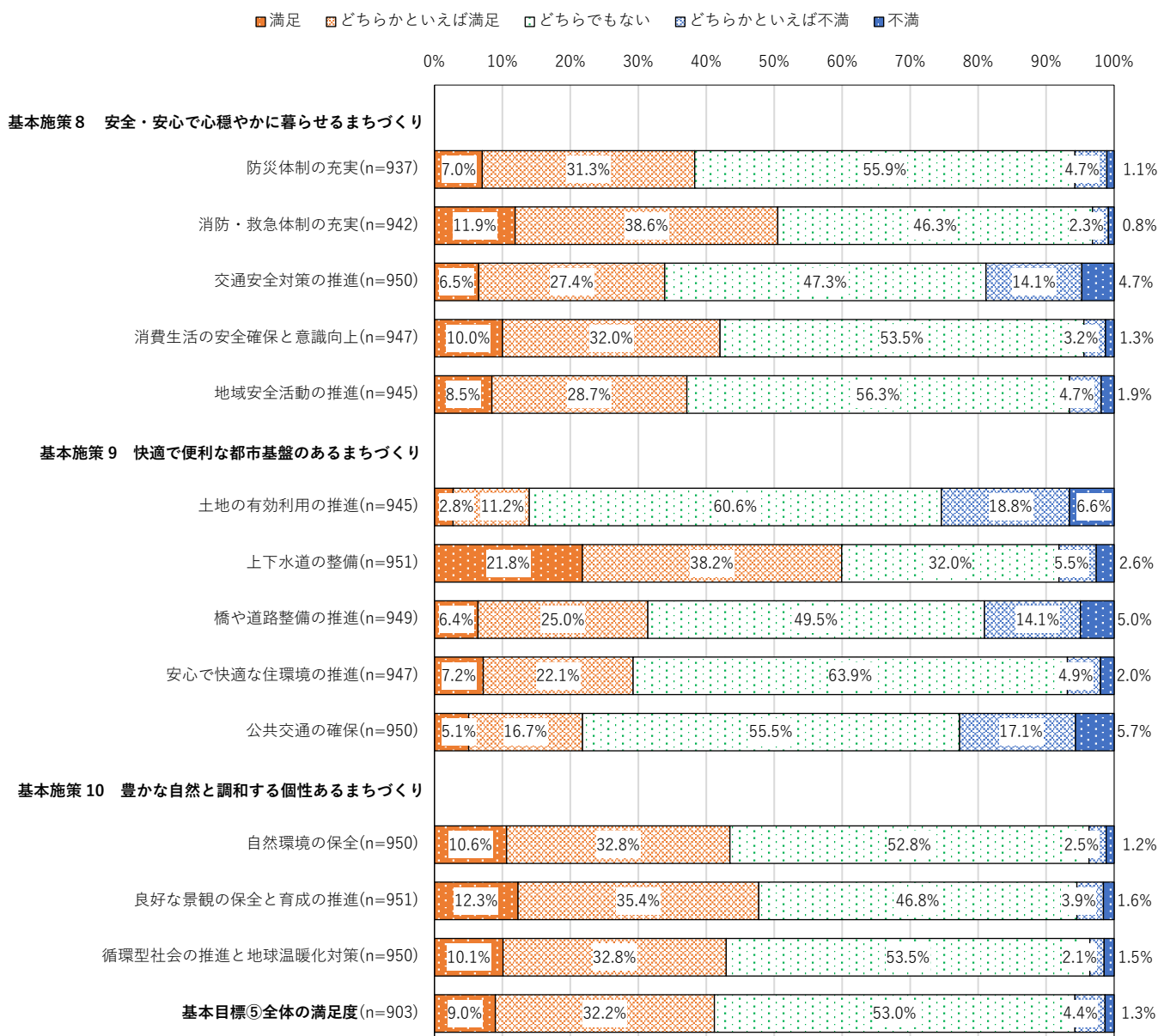
図表 43 基本目標 4 の重要度



- 基本目標5の満足度を見ると、全体では「どちらでもない」(53.0%)が最も多く、次いで「満足」「どちらかといえば満足」(41.2%)の順となっています。
- 基本目標5の各取組みの満足度を見ると、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人の割合は、上下水道の整備(60.0%)が最も多く、次いで消防・救急体制の充実(50.5%)、良好な景観の保全と育成の推進(47.7%)の順となっています。一方で、「不満」「どちらかといえば不満」と回答した人の割合は、土地の有効利用の推進(25.4%)が最も多く、次いで公共交通の確保(22.8%)の順となっています。

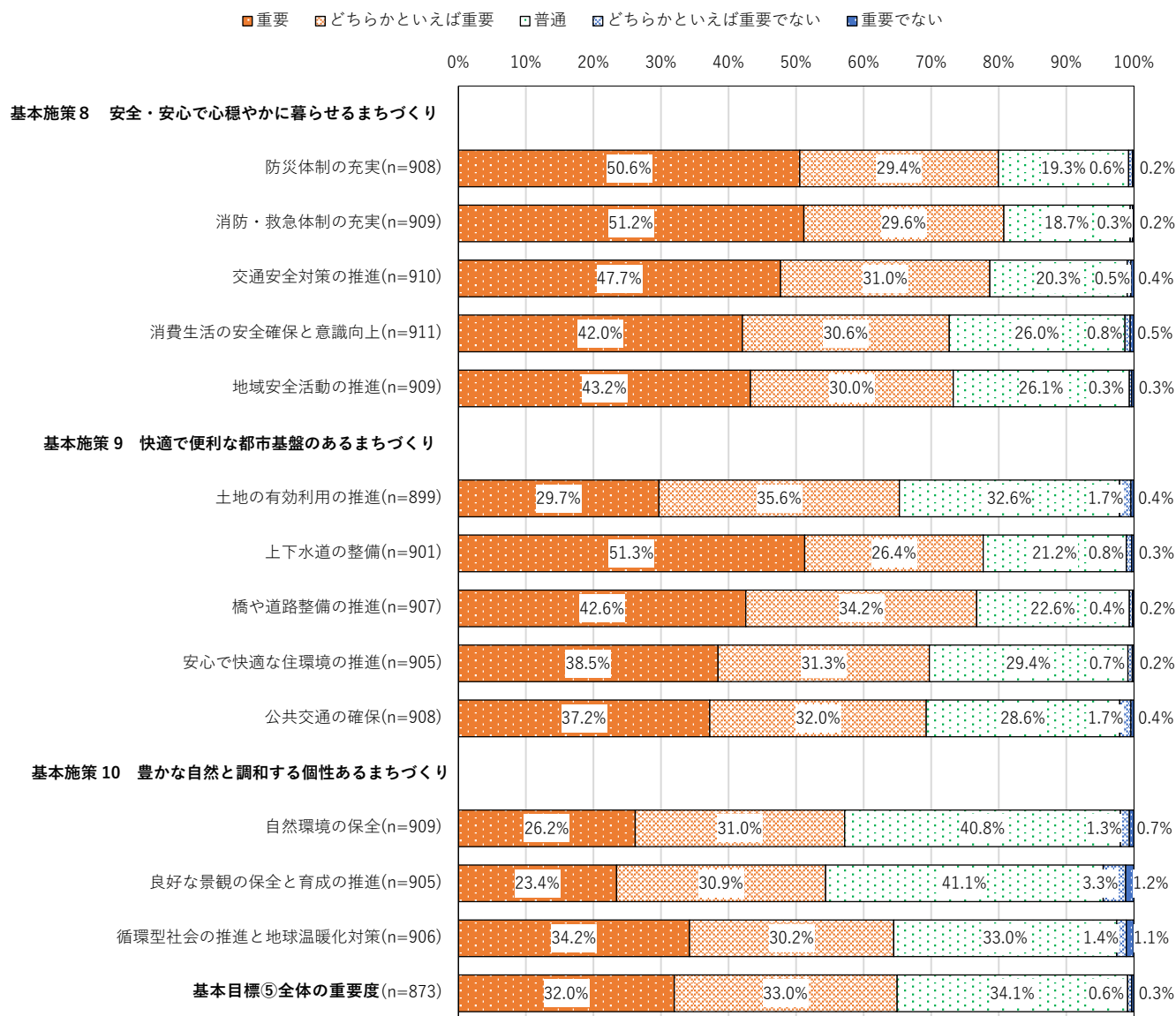
⑥ 基本目標5「安全・安心で快適な生活と美しい自然環境がともにあるまち」の評価

図表 44 基本目標5の満足度



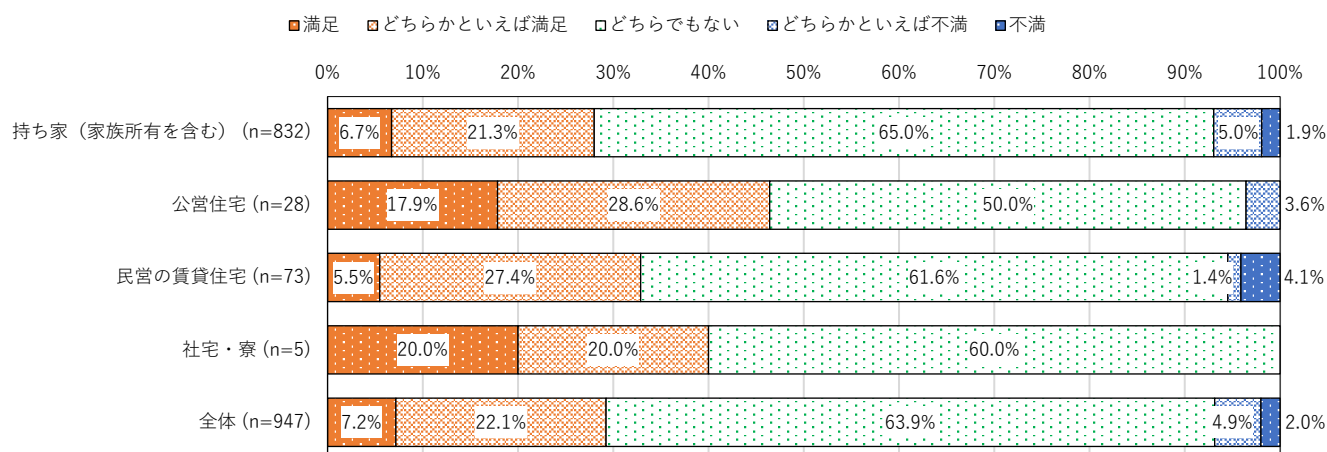
- 基本目標5の重要度を見ると、「重要」「どちらかといえば重要」が全ての取組みにおいて5割以上を占めています。各取組みの重要度では、消防・救急体制の充実、防災体制の充実で「重要」「どちらかといえば重要」の回答した人の割合が8割以上を占めています。

図表 45 基本目標5の重要度

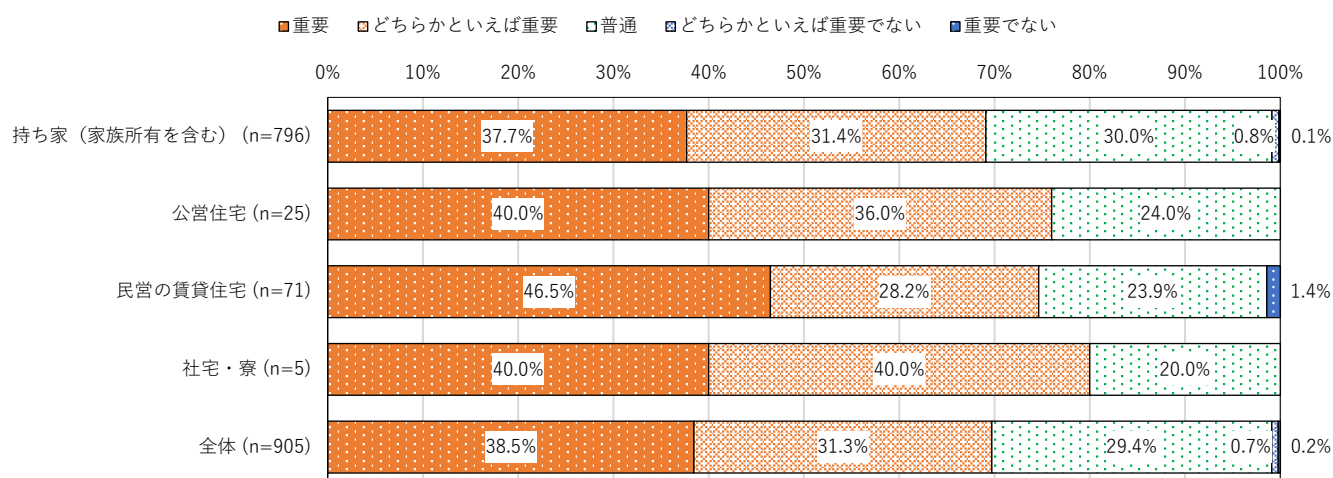


- 持ち家状況別に「安心で快適な住環境の推進」の満足度分析を見ると、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人の割合は、公営住宅（46.5%）が最も多くなっています。
- 重要度の分析を見ると、全体と同じ傾向となっています。

図表 46 「安心で快適な住環境の推進」の受益者（持ち家状況別）による満足度の分析

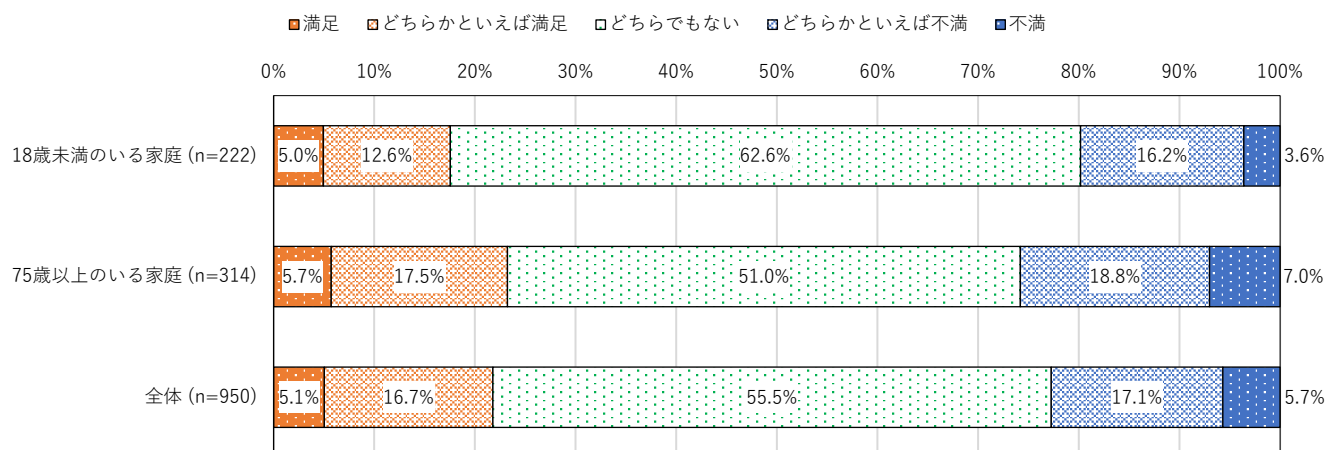


図表 47 「安心で快適な住環境の推進」の受益者（持ち家状況別）による重要度の分析

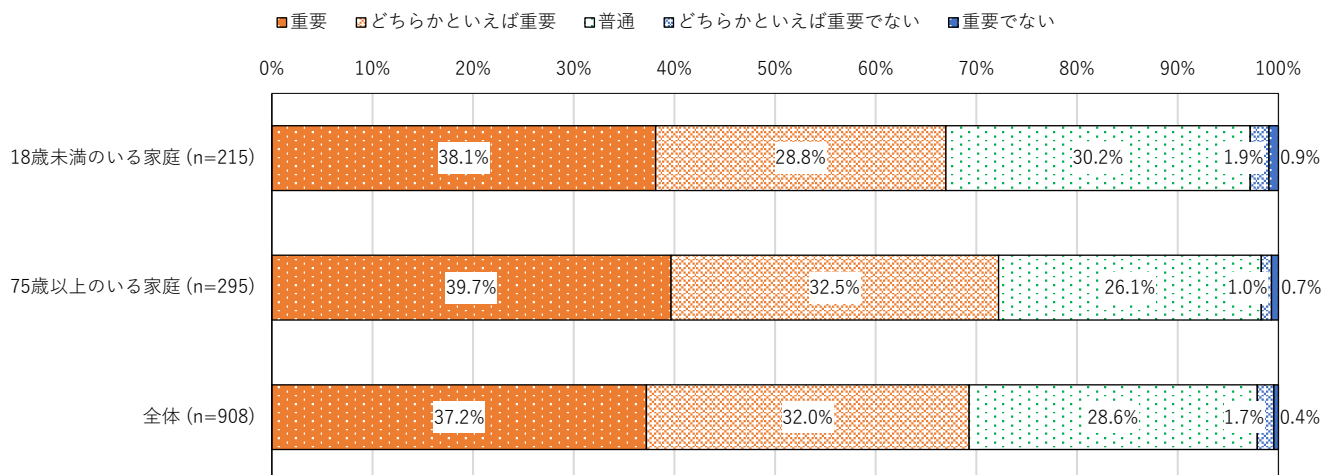


- 主な公共交通利用者がいる家庭別に「公共交通の確保」の満足度分析を見ると、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人の割合は、75歳以上のいる家庭（23.2%）が最も高くなっています。一方で、「不満」「どちらかといえば不満」と回答した人の割合も75歳以上のいる家庭（25.8%）が最も高くなっています。
- 重要度の分析を見ると、「重要」「どちらかといえば重要」と回答した人の割合は、受益者のいる家庭、全体ともに約7割を占めています。

図表 48 「公共交通の確保」の受益者による満足度の分析



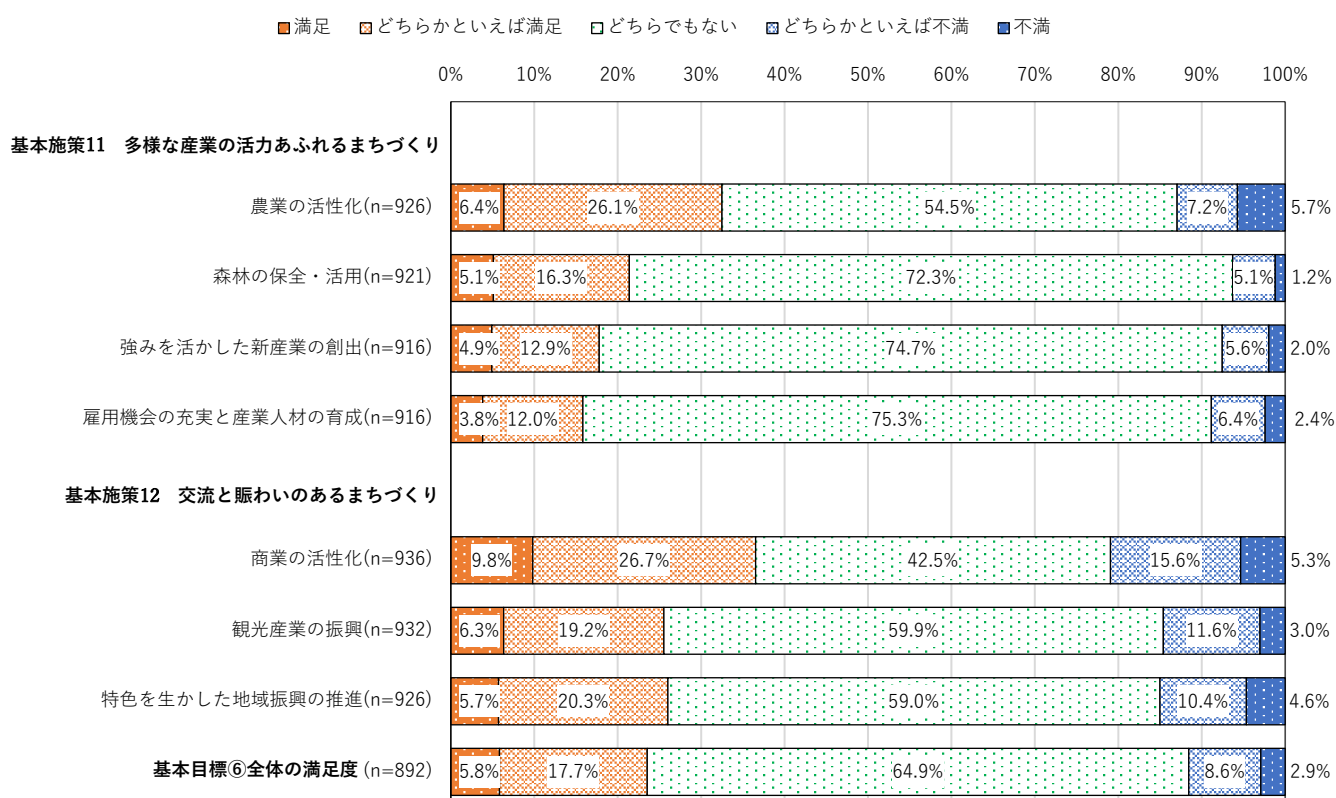
図表 49 「公共交通の確保」の受益者による重要度の分析



- 基本目標6の満足度を見ると、全体では「どちらでもない」が最も多く6割以上を占め、「満足」「どちらかといえば満足」は23.5%となっています。
- 基本目標6の各取組みの満足度を見ると、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人の割合は、商業の活性化（36.5%）が最も多く、次いで農業の活性化（32.5%）の順となっています。一方で、「不満」「どちらかといえば不満」と回答した人の割合も、商業の活性化（20.9%）が最も多くなっています。

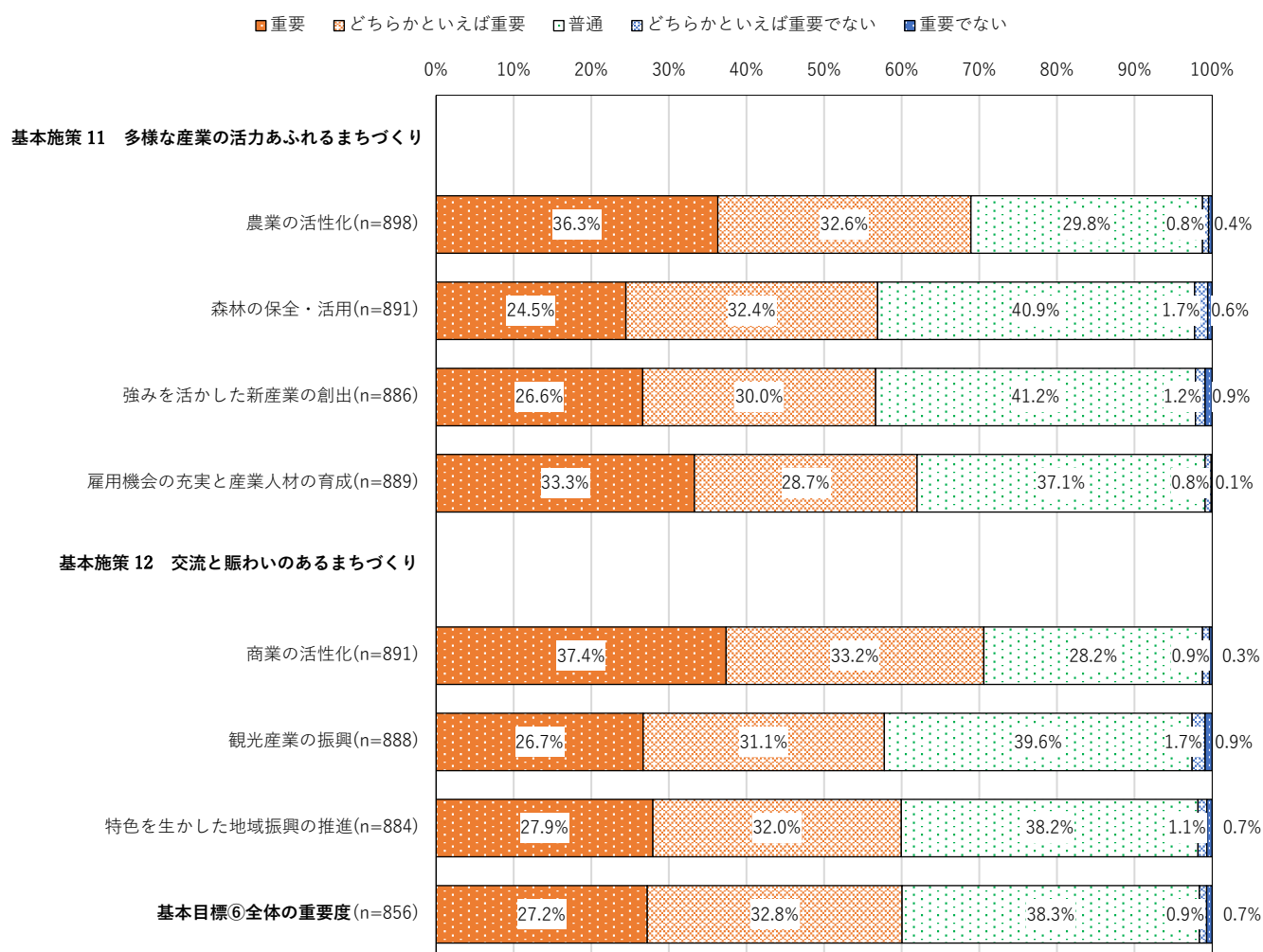
⑦ 基本目標6「活力と賑わいのある自立したまち」の評価

図表 50 基本目標6の満足度



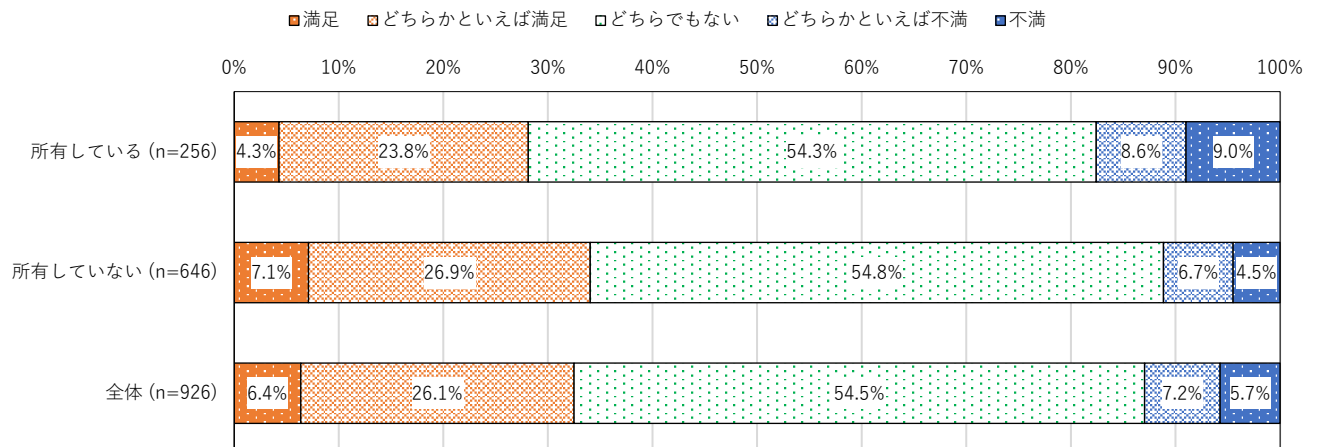
- 基本目標 6 の重要度を見ると、全体では「重要」「どちらかといえば重要」が 6 割を占めています。
- 基本目標 6 の各取組みの重要度を見ると、「重要」「どちらかといえば重要」と回答した人の割合は、農業の活性化と商業の活性化で約 7 割となっています。

図表 51 基本目標 6 の重要度

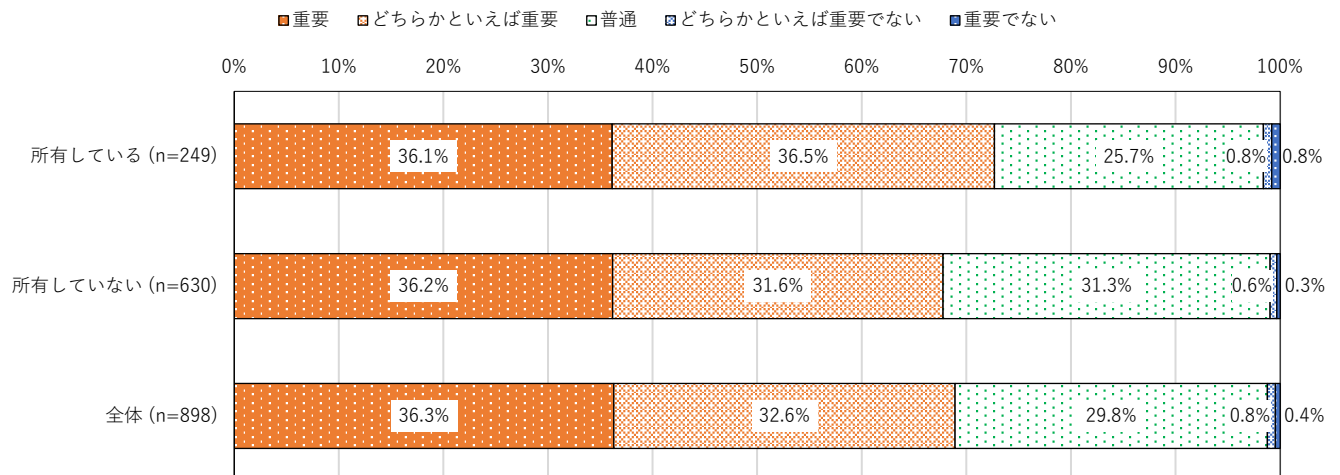


- 農地の所有状況別に「農業の活性化」の満足度分析を見ると、農地を所有している人の方が、農地を所有していない人に比べて低い評価となっています。
- 重要度の分析を見ると、「重要」「どちらかといえば重要」と回答した人の割合は、農地を所有している人の方が多くなっています。

図表 52 「農業の活性化」の受益者（農地所有状況）による満足度の分析

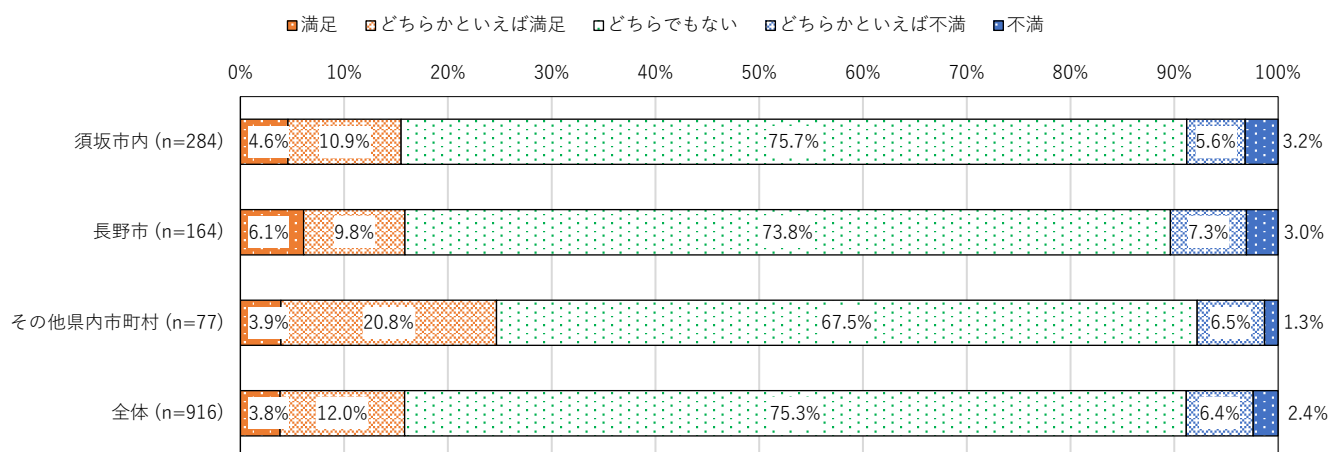


図表 53 「農業の活性化」の受益者（農地所有状況）による重要度の分析

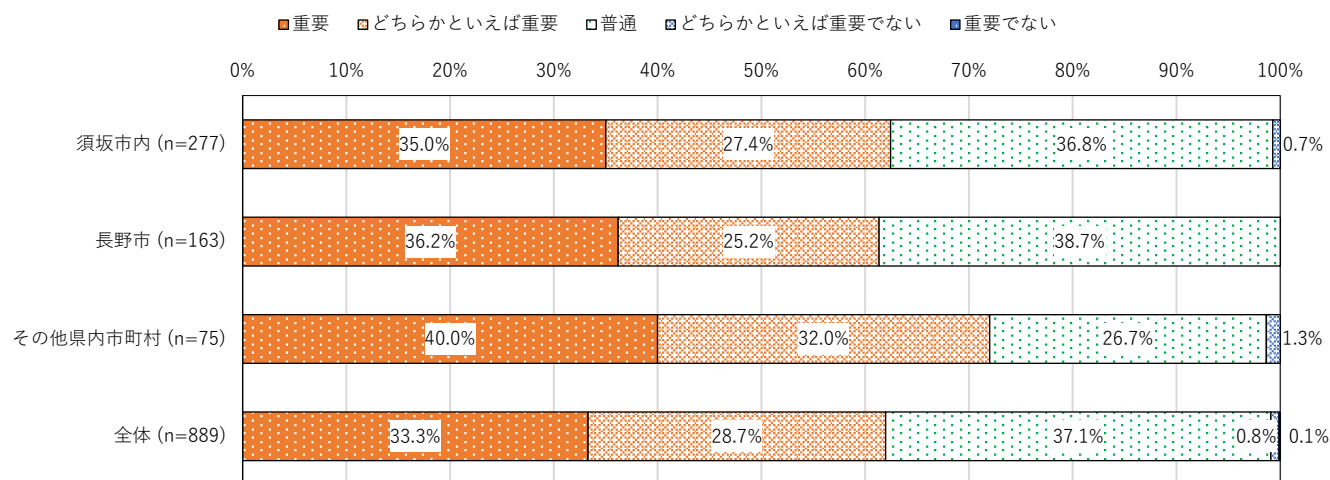


- 回答者の勤務先別に「雇用機会の充実と産業人材の育成」の満足度分析を見ると、全体的に「どちらでもない」が多くなっています。「満足」「どちらかといえば満足」は回答した人の割合も、その他県内市町村（24.7%）が最も多くなっています。
- 重要度の分析を見ると、「重要」「どちらかといえば重要」と回答した人の割合も、その他県内市町村（72.0%）が最も多くなっています。

図表 54 「雇用機会の充実と産業人材の育成」の受益者（勤務先別）による満足度の分析

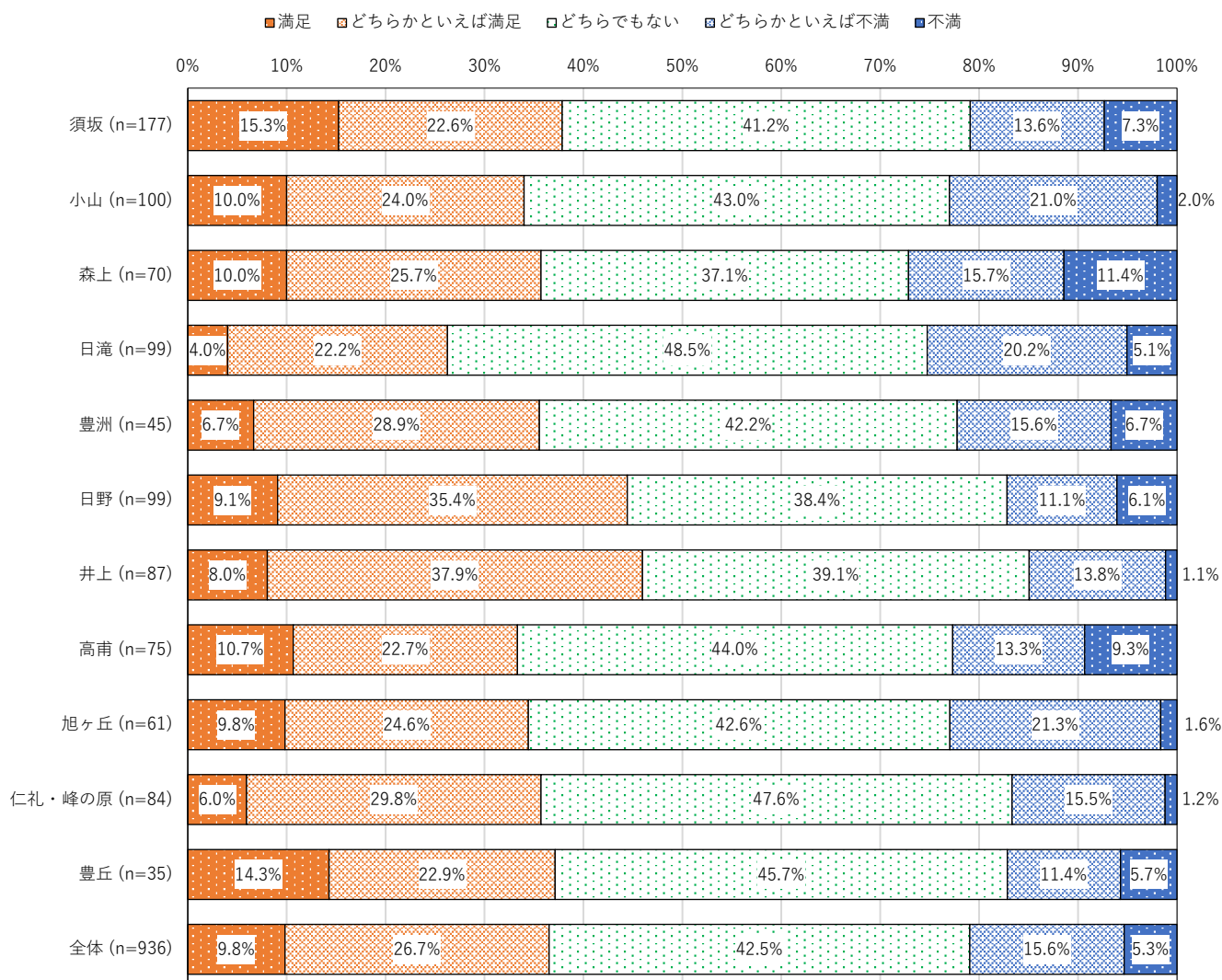


図表 55 「雇用機会の充実と産業人材の育成」の受益者（勤務先別）による重要度の分析



- 回答者の居住地区別に「商業の活性化」の満足度を見ると、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人の割合は、井上（45.9%）が最も多く、次いで日野（44.5%）の順となっています。一方で、「不満」「どちらかといえば不満」と回答した人の割合は、森上（27.1%）が最も多くなっています。

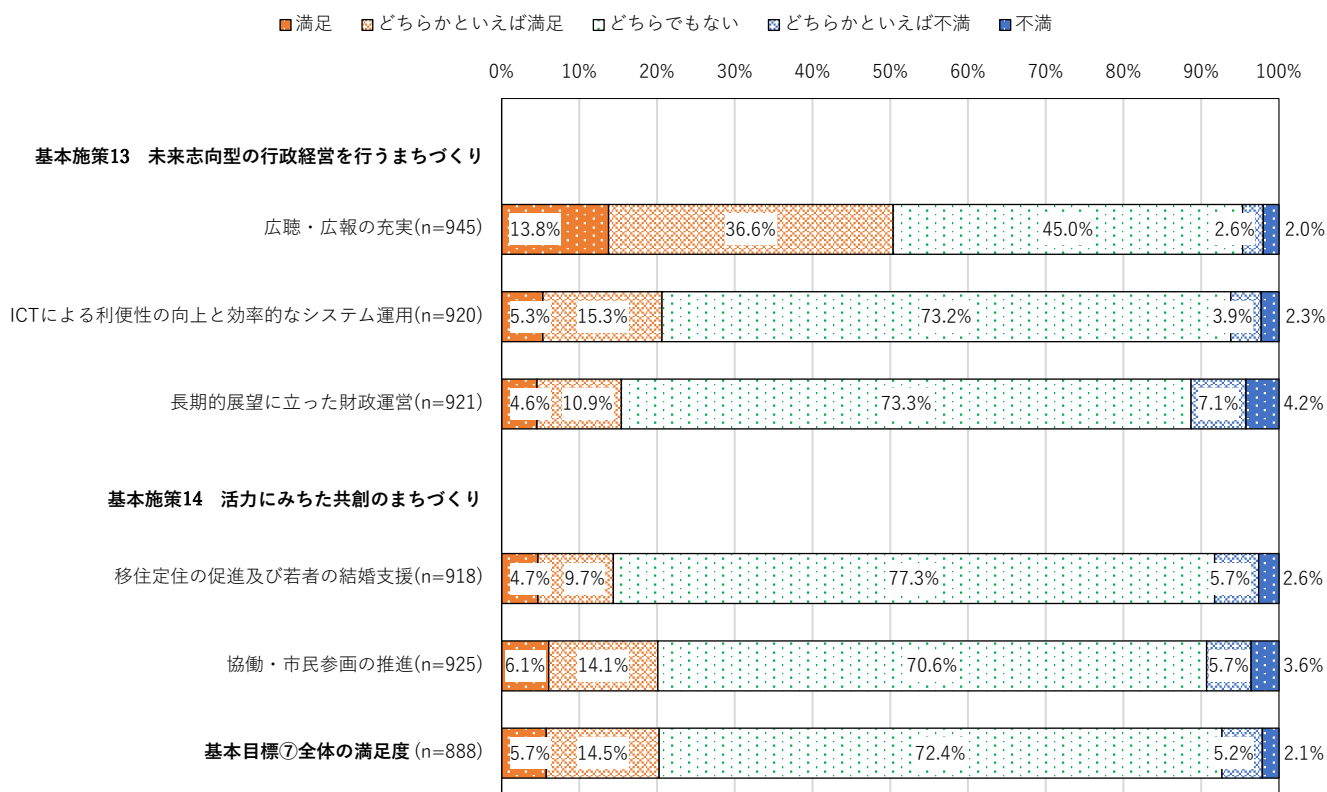
図表 56 回答者の居住地区×「商業の活性化」の満足度



- 基本目標7の満足度を見ると、全体では「どちらでもない」が最も多く約7割を占めています。
- 基本目標7の各取組みの満足度を見ると、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人の割合は広聴・広報の充実で約5割を占める結果となっています。

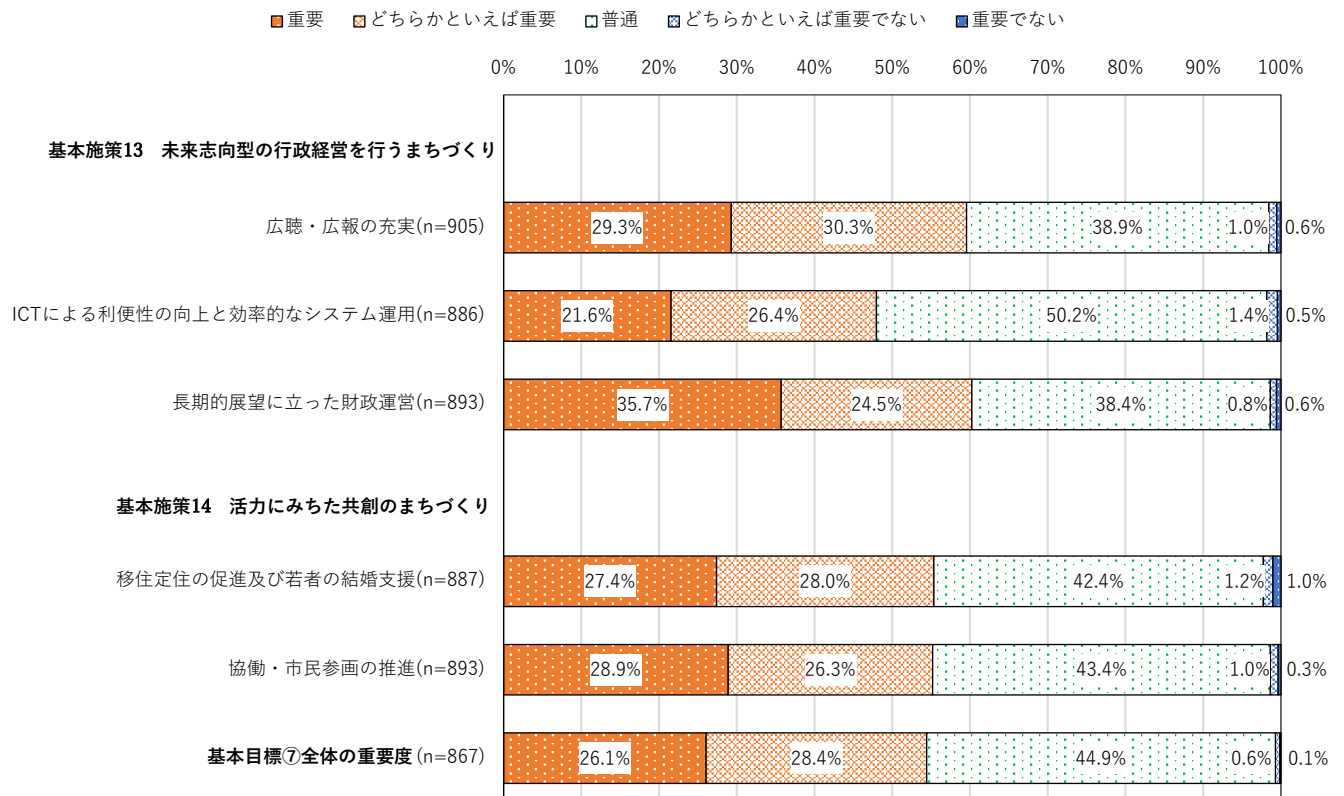
⑧ 基本目標7「市民とともに作る持続可能なまち」の評価

図表 57 基本目標7の満足度



- 基本目標7の重要度を見ると、全体では「重要」「どちらかといえば重要」と回答した人の割合は、約5割を占める結果となっています。
- 基本目標7の各取組みの重要度を見ると、「重要」「どちらかといえば重要」と回答した人の割合は、長期的展望に立った財政運営（60.2%）が最も多く、次いで広聴・広報の充実（59.6%）の順となっています。

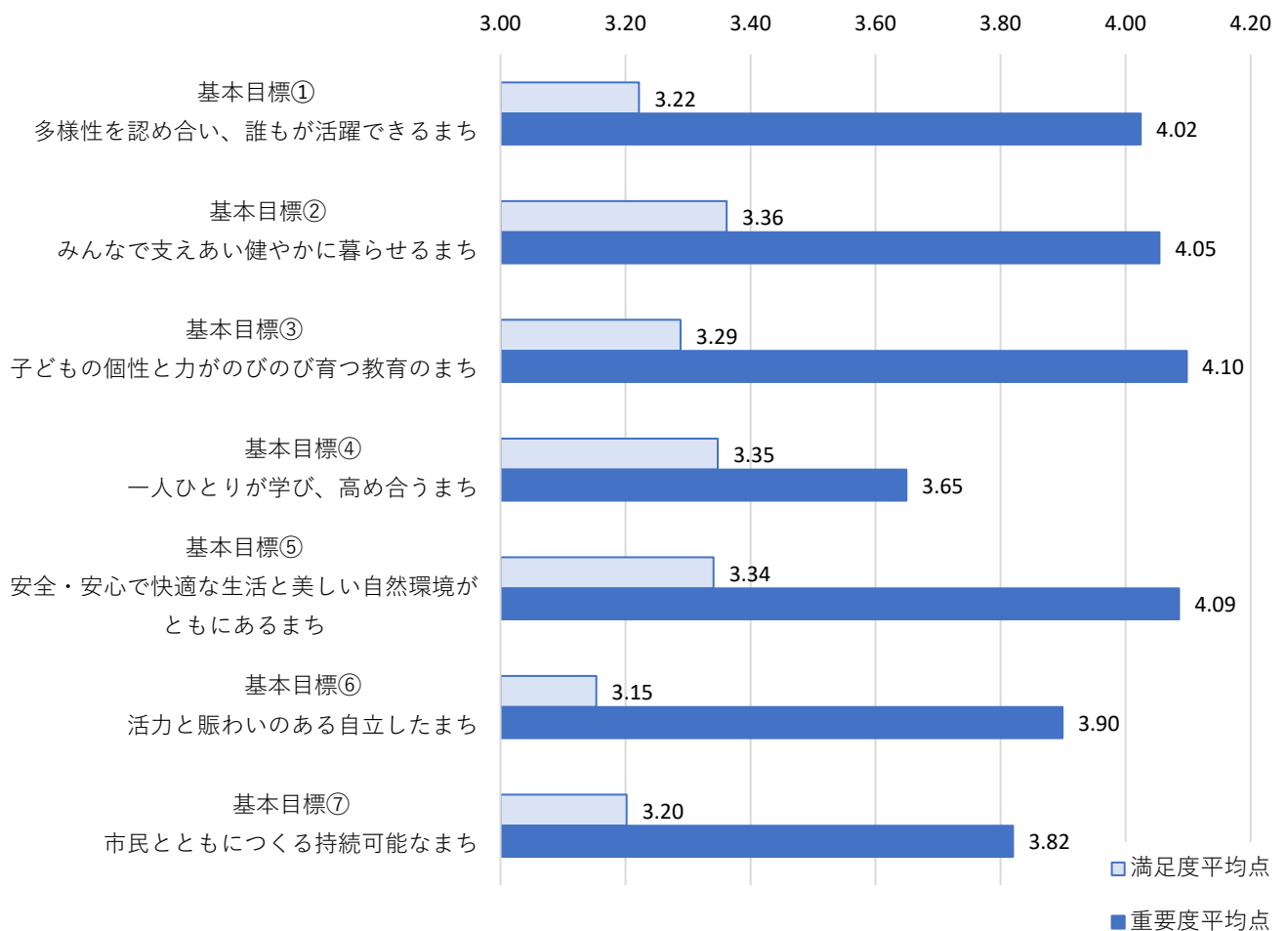
図表 58 基本目標7の重要度



- 各取組みの満足度・重要度を、「満足/重要」を5点、「どちらかといえば満足/重要」を4点、「どちらでもない / 普通」を3点、「どちらかといえば不満/重要でない」を2点、「不満/重要でない」を1点として得点化し、各基本目標の平均点を算出しています。
- 平均点による基本目標の満足度・重要度の比較を見ると、「満足度平均点」は、基本目標2（3.36）が最も高く、次いで基本目標4（3.35）、基本目標5（3.34）の順となっています。「重要度平均点」は、基本目標3（4.10）が最も高く、次いで基本目標5（4.09）の順となっています。また、基本目標4は最も重要度が低くなっています。

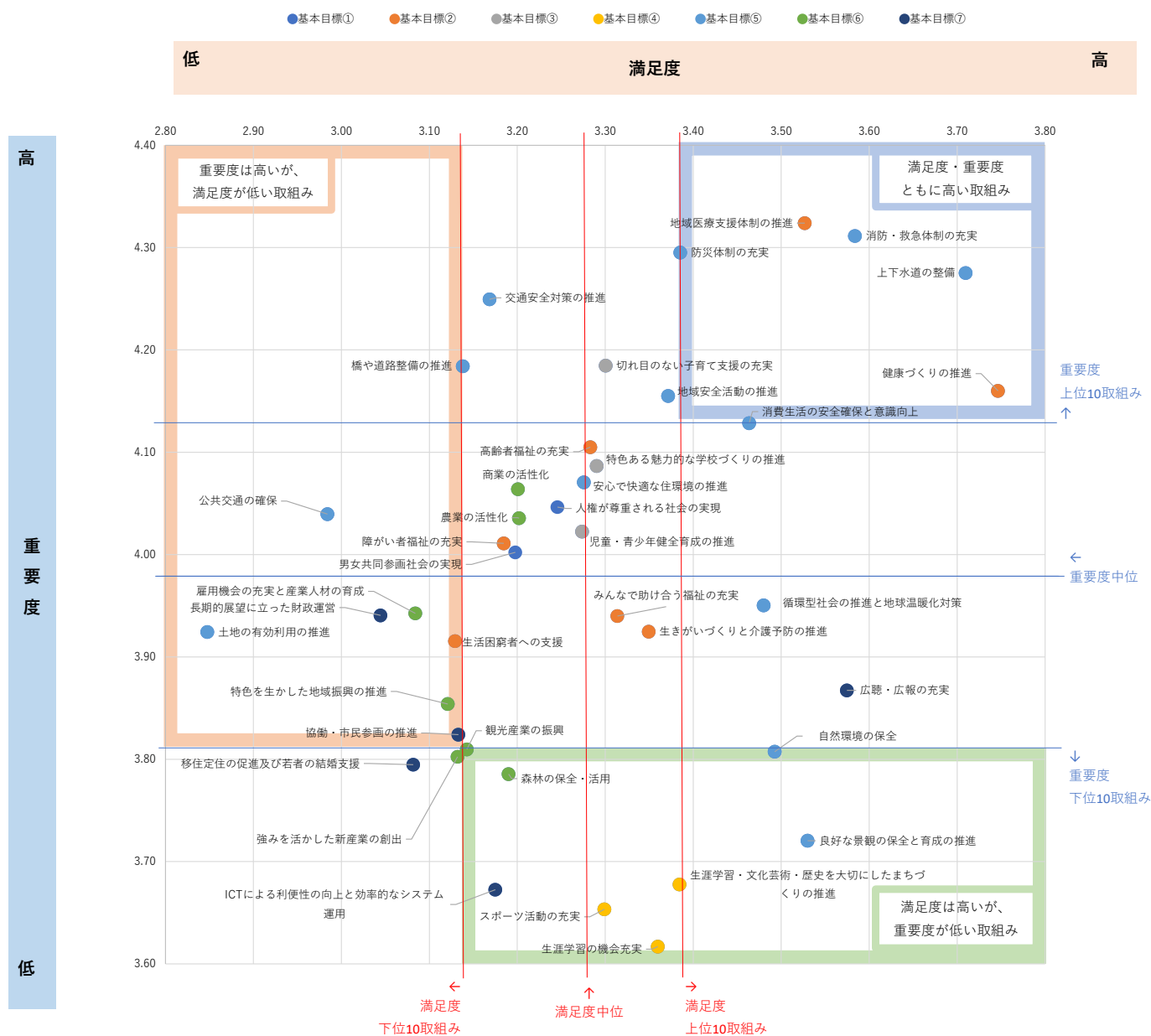
⑨ 各取組みの満足度・重要度の平均点による比較

図表 59 平均点による基本目標の満足度・重要度の比較



- 各取組みの満足度・重要度を、「満足/重要」を5点、「どちらかといえば満足/重要」を4点、「どちらでもない / 普通」を3点、「どちらかといえば不満/重要でない」を2点、「不満/重要でない」を1点として得点化し、図表 60 に満足度平均点を横軸、重要度平均点を縦軸としてプロットしています。
- 図表 60 を見ると、「上下水道の整備」「消防・緊急体制の充実」「防災体制の充実」「消費生活の安全確保と意識向上」「健康づくりの推進」「地域医療支援体制の推進」等は、満足度・重要度ともに高く、引き続き充実した取組みを継続していくことが求められます。
- 一方で重要度が高く満足度が低い「橋や道路整備の推進」「公共交通の確保」「土地の有効利用の推進」「特色を生かした地域振興の推進」「長期的展望に立った財政運営」「協働・市民参画の推進」「雇用機会の充実と産業人材の育成」等は、取組みを強化する必要があります。また、満足度が高く重要度が低い「生涯学習の機会充実」「生涯学習・文化芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進」「スポーツ活動の充実」「ICT による利便性の向上と効率的なシステム運用」「良好な景観の保全と育成の推進」「森林の保全・活用」等は、市民にとって概ね満足され、かつ優先順位の低い取組みであることから今後の取組みの方向性や優先順位について検討が必要であるといえます。

図表 60 平均点による各取組みの満足度・重要度のマトリクス



- 各取組みの満足度を、「満足」を5点、「どちらかといえば満足」を4点、「どちらでもない」を3点、「どちらかといえば不満」を2点、「不満」を1点として得点化し、年代ごとに平均点による取組みの順位付けを行いました。
- 年代別に各取組みの満足度の順位を見ると、全年代で上位10位以内となった取組みは「健康づくりの推進」「消防・救急体制の充実」「上下水道の整備」「自然環境の保全」「良好な景観の保全と育成の推進」「循環型社会の推進と地球温暖化対策」となっています。一方で、「土地の有効利用の推進」「公共交通の確保」「長期的展望に立った財政運営」「移住定住の促進及び若者の結婚支援」は全年代で下位となっています。

⑩ 年代別順位

図表 61 年代別取組み満足度の順位（赤が上位10位、青が下位10位）

基本 目標No	No	取組み	10～ 20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上
1	1	人権が尊重される社会の実現	27	31	23	15	22	22	18
	2	男女共同参画社会の実現	16	37	27	24	27	25	25
2	3	健康づくりの推進	3	5	2	1	1	2	2
	4	地域医療支援体制の推進	15	29	20	5	4	3	3
	5	生きがいづくりと介護予防の推進	30	24	10	23	12	13	7
	6	高齢者福祉の充実	38	21	25	26	15	17	11
	7	みんなで助け合う福祉の充実	21	13	13	10	17	20	20
	8	障がい者福祉の充実	28	28	36	29	20	24	26
	9	生活困窮者への支援	35	26	38	31	30	29	31
3	10	切れ目のない子育て支援の充実	23	32	15	18	18	16	15
	11	特色ある魅力的な学校づくりの推進	23	12	18	17	19	18	19
	12	児童・青少年健全育成の推進	19	14	19	20	21	19	21
4	13	生涯学習の機会充実	20	21	14	22	14	9	13
	14	生涯学習・文化芸術・歴史を大切にしたまちづくりの推進	8	17	9	14	11	10	17
	15	スポーツ活動の充実	26	19	28	21	16	15	14
5	16	防災体制の充実	18	15	11	11	10	14	8
	17	消防・救急体制の充実	4	4	8	4	2	5	4
	18	交通安全対策の推進	11	40	32	38	25	21	22
	19	消費生活の安全確保と意識向上	5	7	6	7	7	11	12
	20	地域安全活動の推進	10	11	11	13	13	12	16
	21	土地の有効利用の推進	40	38	40	39	40	40	40
	22	上下水道の整備	1	8	4	2	3	1	1
	23	橋や道路整備の推進	28	36	33	30	36	28	29
	24	安心で快適な住環境の推進	13	9	16	12	23	23	24
	25	公共交通の確保	39	34	39	40	39	39	38
	26	自然環境の保全	5	1	5	8	8	8	10
	27	良好な景観の保全と育成の推進	2	1	1	6	6	7	6
	28	循環型社会の推進と地球温暖化対策	7	6	7	9	9	6	9
6	29	農業の活性化	9	20	30	16	33	32	23
	30	森林の保全・活用	17	25	24	19	29	30	33
	31	強みを活かした新産業の創出	22	23	26	33	34	33	34
	32	雇用機会の充実と産業人材の育成	34	30	34	27	37	38	34
	33	商業の活性化	14	27	17	25	35	27	30
	34	観光産業の振興	25	10	22	35	31	37	37
	35	特色を生かした地域振興の推進	32	16	37	31	28	35	32
7	36	広聴・広報の充実	12	1	3	3	5	4	5
	37	ICTによる利便性の向上と効率的なシステム運用	36	18	21	34	24	26	27
	38	長期的展望に立った財政運営	37	33	34	37	38	34	36
	39	移住定住の促進及び若者の結婚支援	31	35	31	36	32	36	39
	40	協働・市民参画の推進	33	39	29	28	26	31	28

- 各取組みの重要度を、「重要」を5点、「どちらかといえば重要」を4点、「普通」を3点、「どちらかといえば重要でない」を2点、「重要でない」を1点として得点化し、年代ごとに平均点による取組みの順位付けを行いました。
- 年代別に各取組みの重要度の順位を見ると、全年代で上位10位以内となった取組みは「地域医療支援体制の推進」「防災体制の充実」「消防・救急体制の充実」「交通安全対策の推進」「上下水道の整備」となっています。一方で、基本目標4の取組みは全ての年代で重要度が低くなっています。

図表 62 年代別取組み重要度の順位（赤が上位10位、青が下位10位）

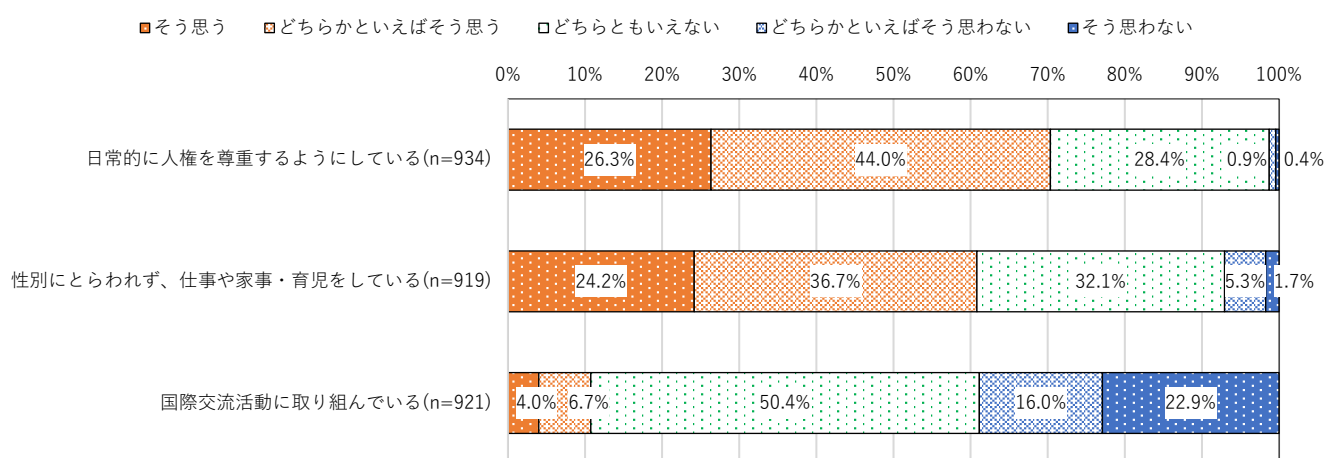
基本 目標No		取組み	10～ 20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上
1	1	人権が尊重される社会の実現	29	19	24	18	15	7	7
	2	男女共同参画社会の実現	17	16	26	24	22	14	14
2	3	健康づくりの推進	11	18	13	17	6	5	1
	4	地域医療支援体制の推進	6	1	6	4	1	1	2
	5	生きがいづくりと介護予防の推進	34	32	34	25	20	21	16
	6	高齢者福祉の充実	22	22	18	12	7	8	10
	7	みんなで助け合う福祉の充実	27	37	27	22	21	22	15
	8	障がい者福祉の充実	26	28	15	21	14	15	17
	9	生活困窮者への支援	29	33	23	27	24	18	26
3	10	切れ目のない子育て支援の充実	9	4	4	11	8	10	9
	11	特色ある魅力的な学校づくりの推進	20	14	9	15	12	13	22
	12	児童・青少年健全育成の推進	18	10	14	20	16	20	23
4	13	生涯学習の機会充実	40	38	39	40	40	39	34
	14	生涯学習・文化芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進	39	39	40	38	37	33	33
	15	スポーツ活動の充実	38	40	38	39	38	36	38
5	16	防災体制の充実	3	7	3	1	3	3	4
	17	消防・救急体制の充実	1	6	1	3	2	4	3
	18	交通安全対策の推進	5	2	2	2	5	6	8
	19	消費生活の安全確保と意識向上	10	13	10	9	10	12	5
	20	地域安全活動の推進	4	8	5	7	11	11	12
	21	土地の有効利用の推進	21	20	30	23	25	24	28
	22	上下水道の整備	2	3	7	5	4	2	6
	23	橋や道路整備の推進	7	5	8	6	9	9	19
	24	安心して快適な住環境の推進	12	11	16	7	13	17	18
	25	公共交通の確保	23	17	21	9	19	16	13
	26	自然環境の保全	25	24	36	35	33	30	27
	27	良好な景観の保全と育成の推進	32	36	37	37	34	38	39
	28	循環型社会の推進と地球温暖化対策	14	21	22	26	27	19	21
6	29	農業の活性化	13	11	17	13	16	23	24
	30	森林の保全・活用	33	34	35	33	30	34	30
	31	強みを活かした新産業の創出	34	35	32	28	29	37	32
	32	雇用機会の充実と産業人材の育成	16	23	19	16	23	28	35
	33	商業の活性化	8	9	11	14	18	25	11
	34	観光産業の振興	28	30	29	34	32	31	29
	35	特色を生かした地域振興の推進	31	29	20	31	31	27	25
7	36	広聴・広報の充実	36	25	28	29	28	26	20
	37	ICTによる利便性の向上と効率的なシステム運用	36	31	31	36	39	40	40
	38	長期的展望に立った財政運営	15	15	12	19	26	29	36
	39	移住定住の促進及び若者の結婚支援	19	26	33	32	36	35	37
	40	協働・市民参画の推進	24	27	25	30	35	32	31

(3) 自身の活動の状況や今後の意向

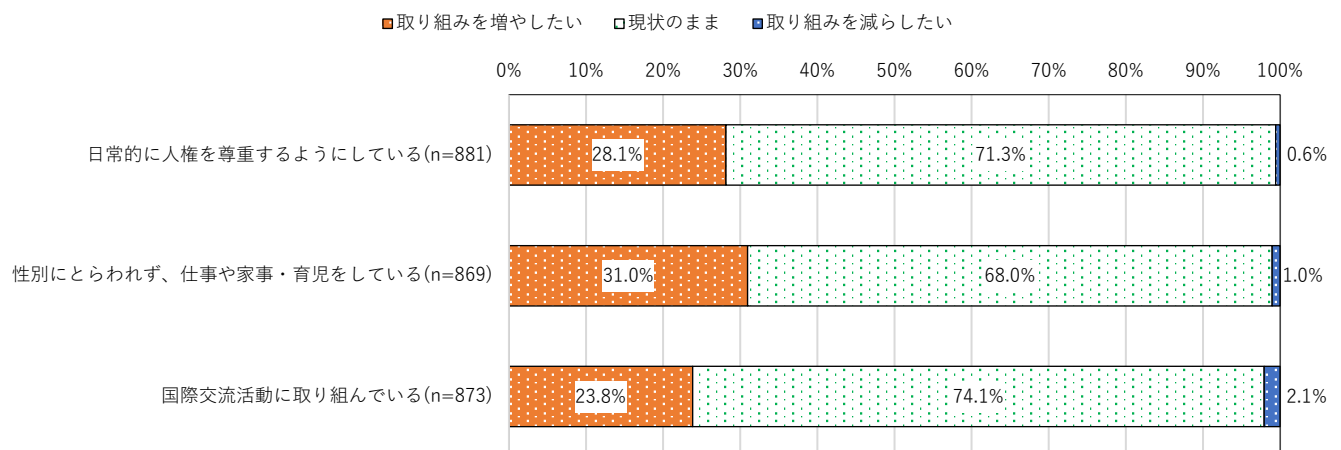
- 基本目標1「多様性を認め合い、誰もが活躍できるまち」に関する現在の活動状況を見ると、「日常的に人権を尊重するようにしている」「性別にとらわれず、仕事や家事・育児をしている」で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合が、6割以上を占める結果となっています。一方で「国際交流活動に取り組んでいる」は1割程度となっています。
- 基本目標1「多様性を認め合い、誰もが活動できるまち」に関する今後の取組み意向を見ると、すべての活動で「現状のまま」と回答した人の割合は、約7割となっています。

① 基本目標1に関する活動

図表 63 現在の活動状況



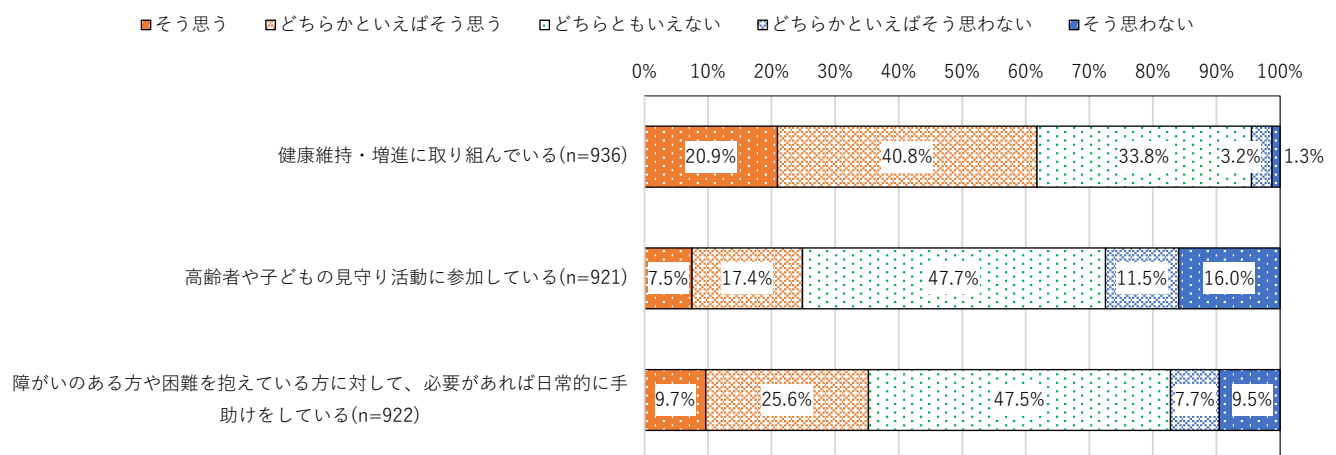
図表 64 今後の取組み意向



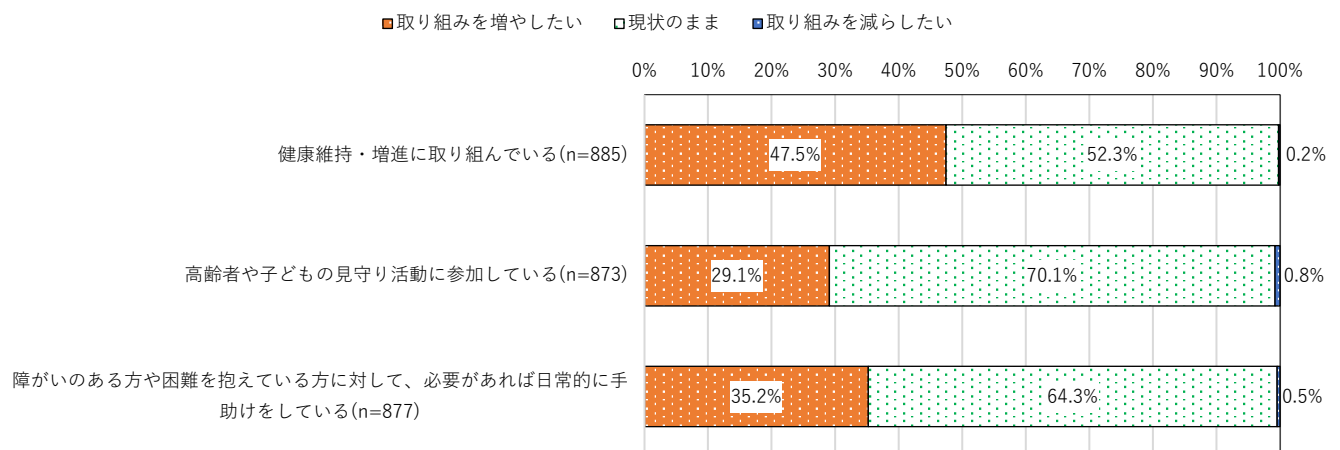
- 基本目標2「みんなで支えあい健やかに暮らせるまち」に関する現在の活動状況を見ると、「健康維持・増進に取り組んでいる」で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、約6割を占める結果となっています。一方で「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」は、「高齢者や子どもの見守り活動に参加している」(27.5%)「障がいのある方や困難を抱えている方」に対して、必要があれば日常的に手助けをしている」(17.2%)となっています。
- 基本目標2「みんなで支えあい健やかに暮らせるまち」に関する今後の取り組み意向を見ると、「健康維持・増進に取り組んでいる」は「取り組みを増やしたい」と回答した人が約5割となっています。

② 基本目標2に関する活動

図表 65 現在の活動状況



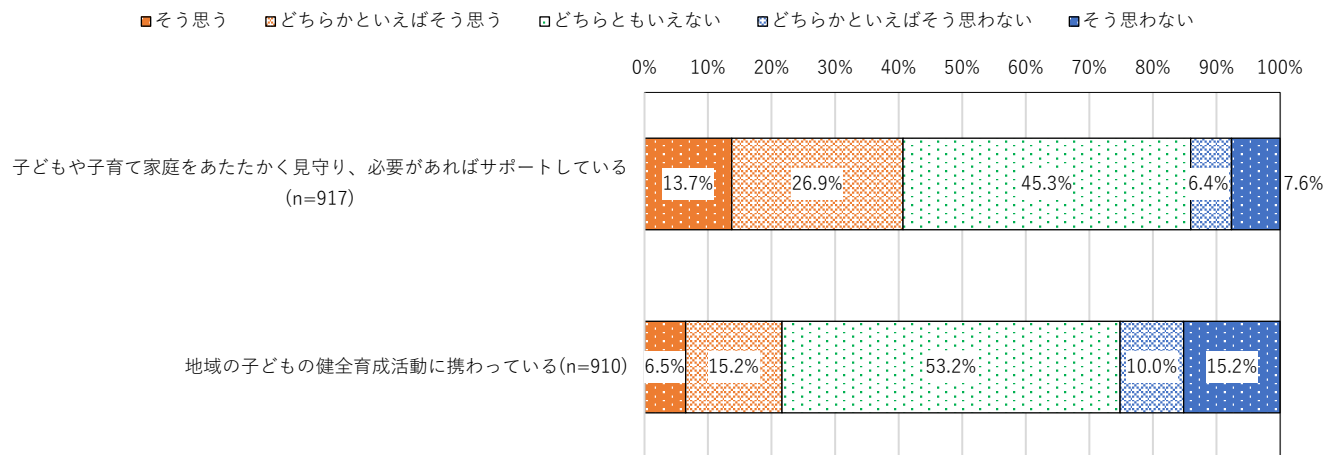
図表 66 今後の取り組み意向



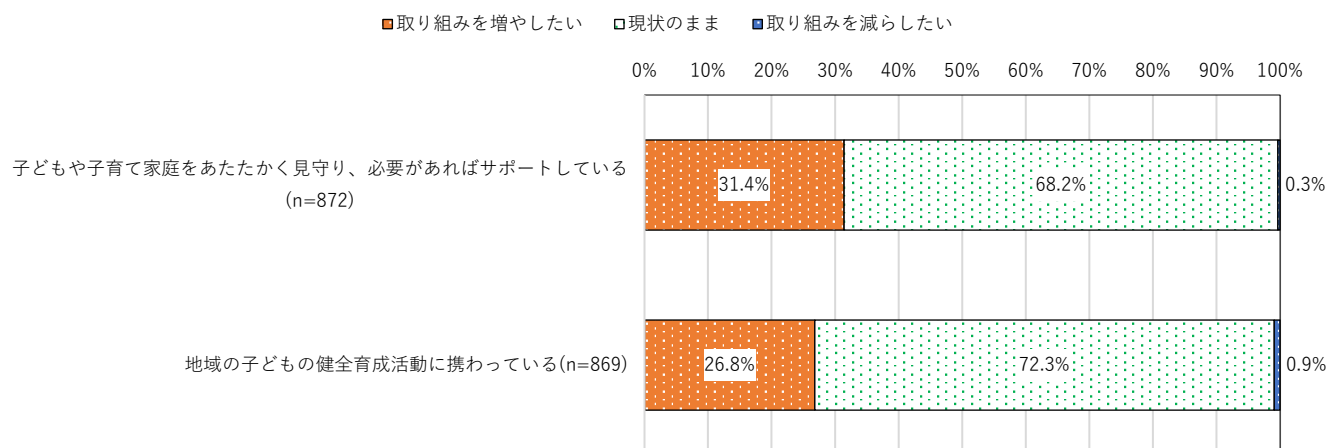
- 基本目標3「子どもの個性と力がのびのび育つ教育のまち」に関する現在の活動状況を見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、「子どもや子育て家庭をあたたく見守り、必要があればサポートしている」が約4割を占める結果となりました。
- 基本目標3「子どもの個性と力がのびのび育つ教育のまち」に関する今後の取組み意向を見ると、どちら活動も「現状のまま」が7割前後に対し、「取組みを増やしたい」が3割前後にとどまっています。

③ 基本目標3に関する活動

図表 67 現在の活動状況



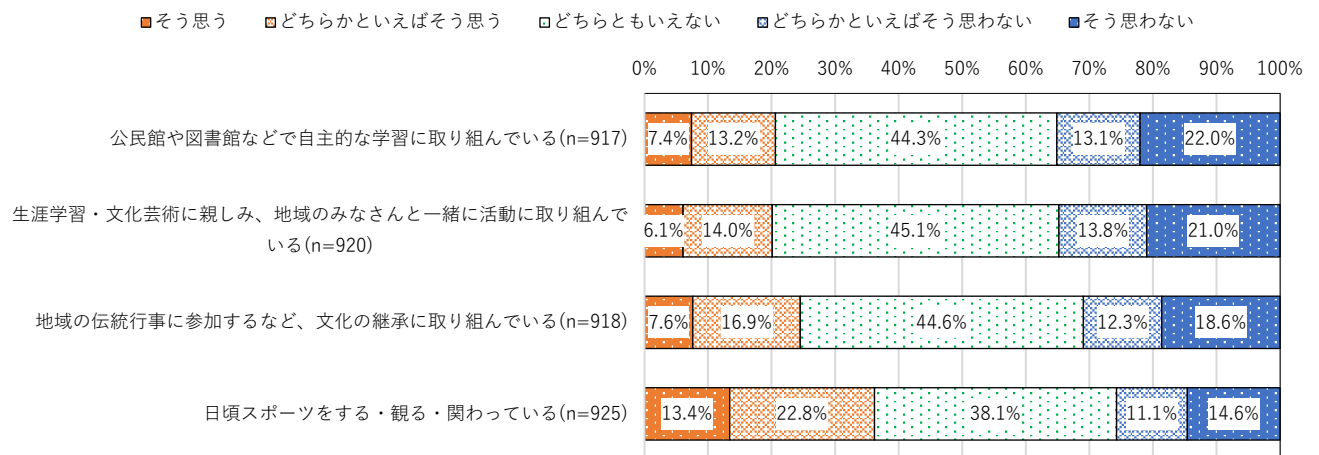
図表 68 今後の取組み意向



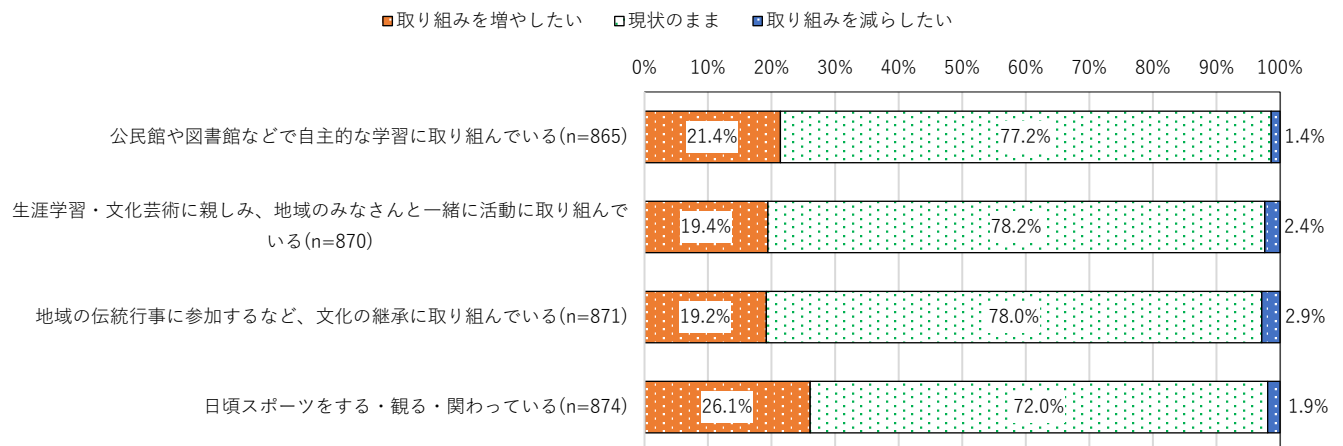
- 基本目標４「一人ひとりが学び、高め合うまち」に関する現在の活動状況を見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、「日頃スポーツをする・観る・関わっている」（36.2％）が最も多くなっています。
- 基本目標４「一人ひとりが学び、高め合うまち」に関する今後の取組み意向を見ると、「現状のまま」と回答した人の割合は、各取組みで7割以上を占める結果となっています。

④ 基本目標４に関する活動

図表 69 現在の活動状況



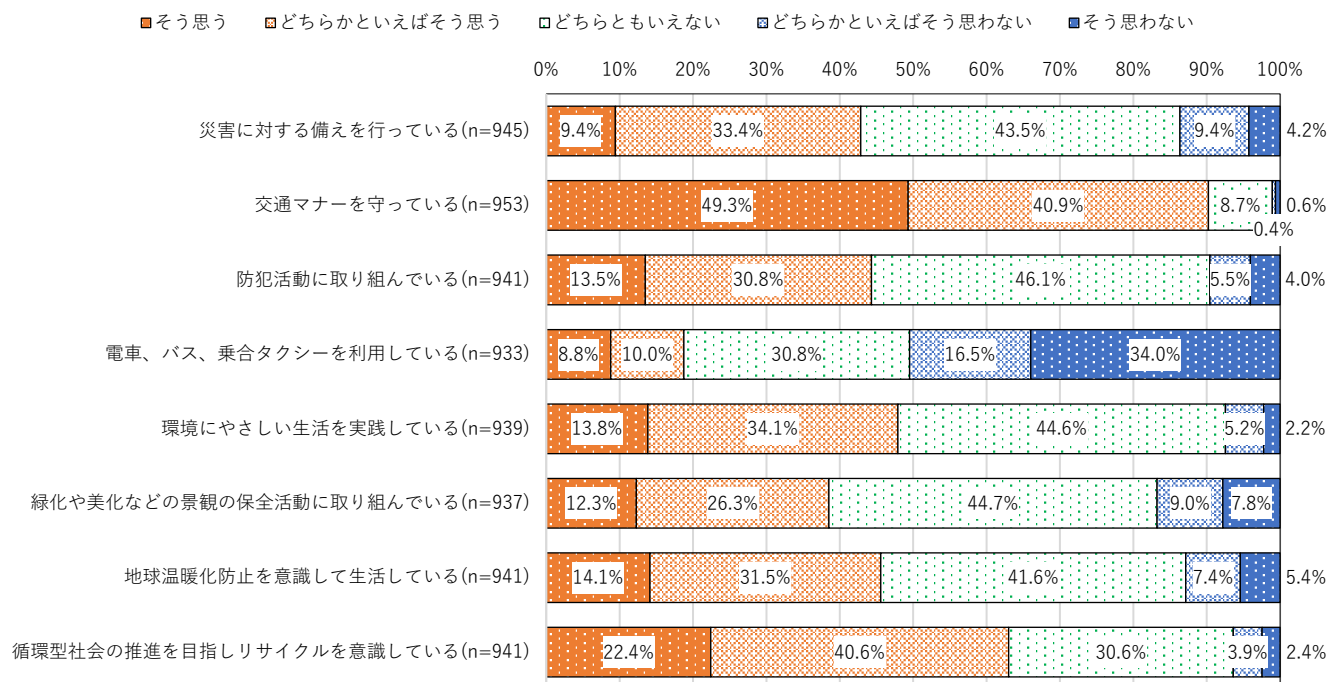
図表 70 今後の取組み意向



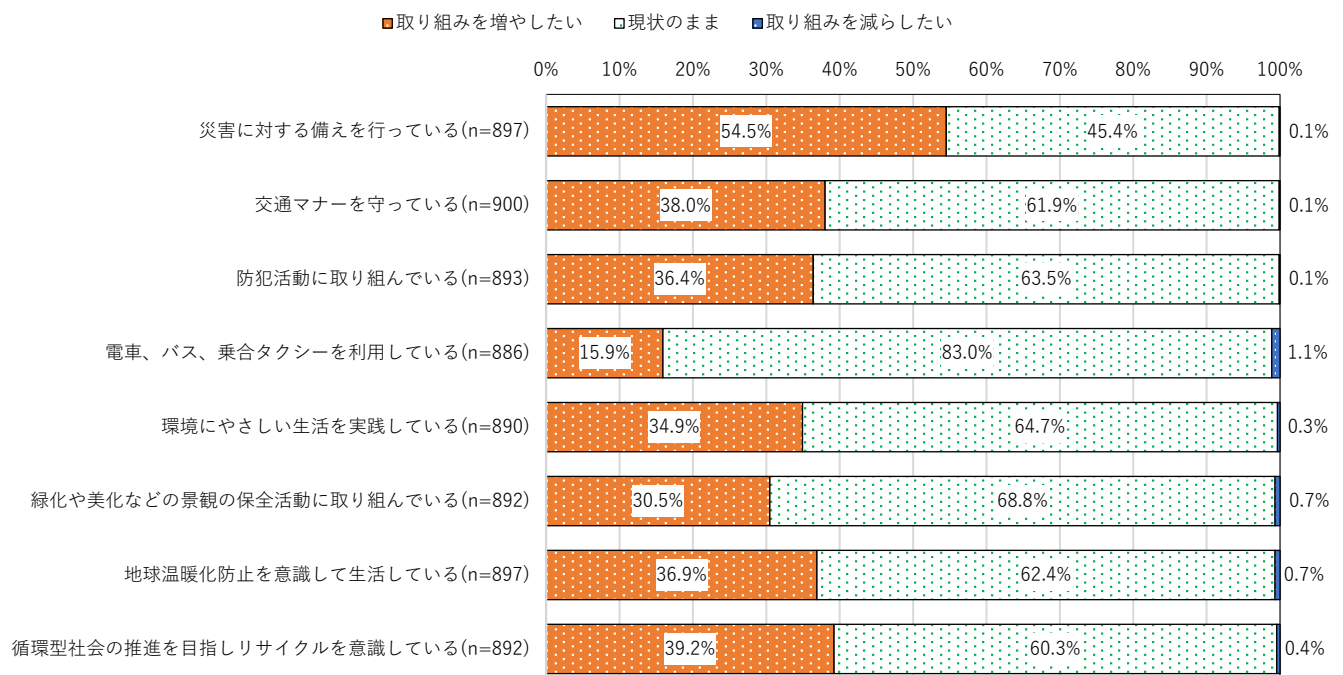
- 基本目標5「安全・安心で快適な生活と美しい自然環境がとにもあるまち」に関する現在の活動状況を見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、「交通マナーを守っている」が9割を占めています。一方で、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は「電車・バス・乗合タクシーを利用している」(50.5%) が最も多くなっています。
- 基本目標5「安全・安心で快適な生活と美しい自然環境がとにもあるまち」に関する今後の取組み意向を見ると、「取組みを増やしたい」は「災害に対する備えを行っている」(54.5%)で最も多く、「電車、バス、乗合タクシーを利用している」(15.9%)で最も少なくなっています。

⑤ 基本目標5に関する活動

図表 71 現在の活動状況



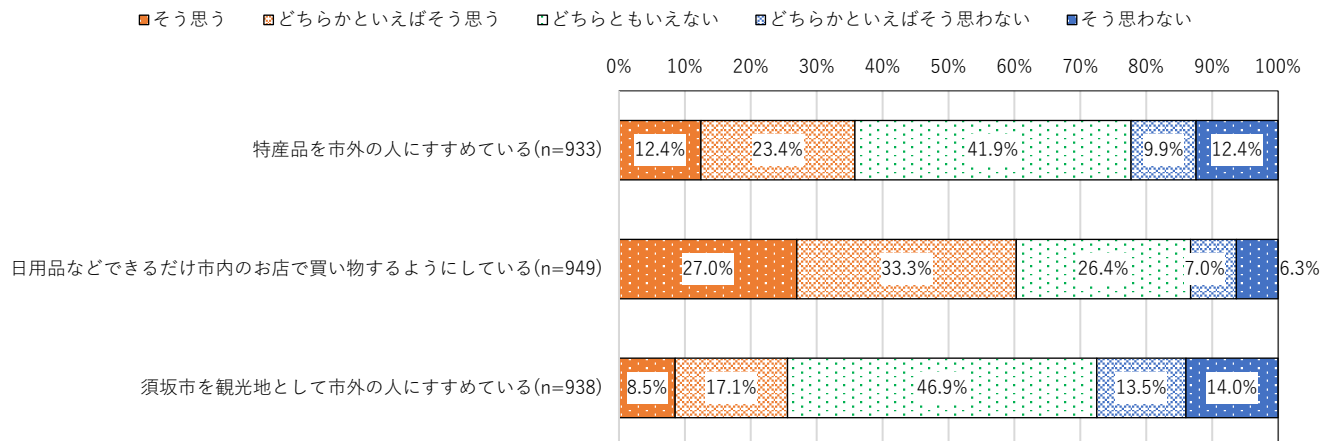
図表 72 今後の取組み意向



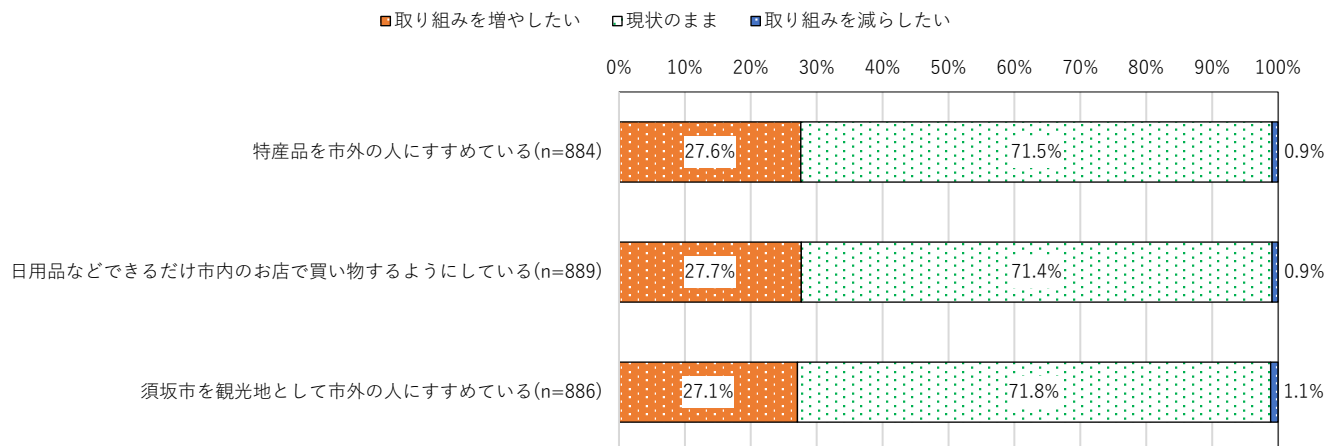
- 基本目標6「活力と賑わいのある自立したまち」に関する現在の活動状況を見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、「日用品などできるだけ市内のお店で買い物するようにしている」が6割、その他の活動は4割以下となっています。
- 基本目標6「活力と賑わいのある自立したまち」に関する今後の取組み意向を見ると、どの活動も「現状のまま」が7割強に対し、「取組みを増やしたい」が3割弱にとどまっています。

⑥ 基本目標6に関する活動

図表 73 現在の活動状況



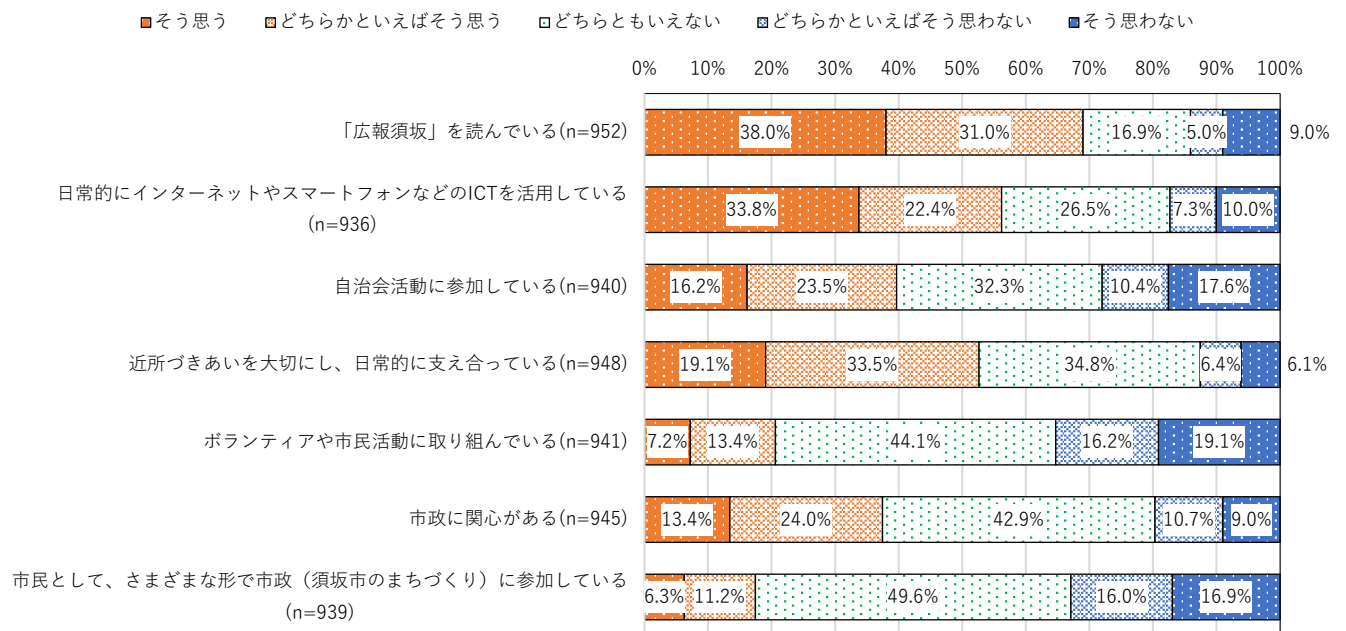
図表 74 今後の取組み意向



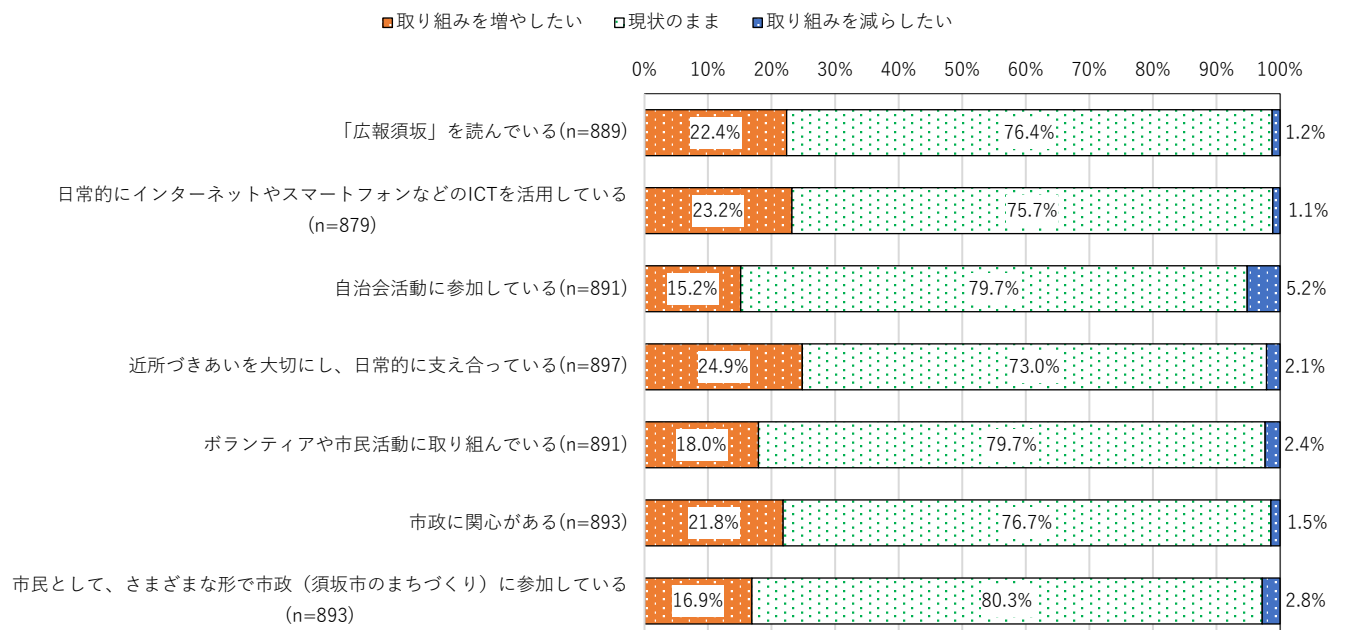
- 基本目標7「市民とともにつくる持続可能なまち」に関する現在の活動状況を見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、「広報須坂」を読んでいる」が7割程度、「日常的にインターネットやスマートフォンなどのICTを活用している」及び「近所づきあいを大切に、日常的に支え合っている」は5割程度、その他の活動は4割以下となっています。
- 基本目標7「市民とともにつくる持続可能なまち」に関する今後の取組み意向を見ると、どの活動も「現状のまま」が7割以上に対し、「取組みを増やしたい」が2割程度にとどまっています。

⑦ 基本目標7に関する活動

図表 75 現在の活動状況



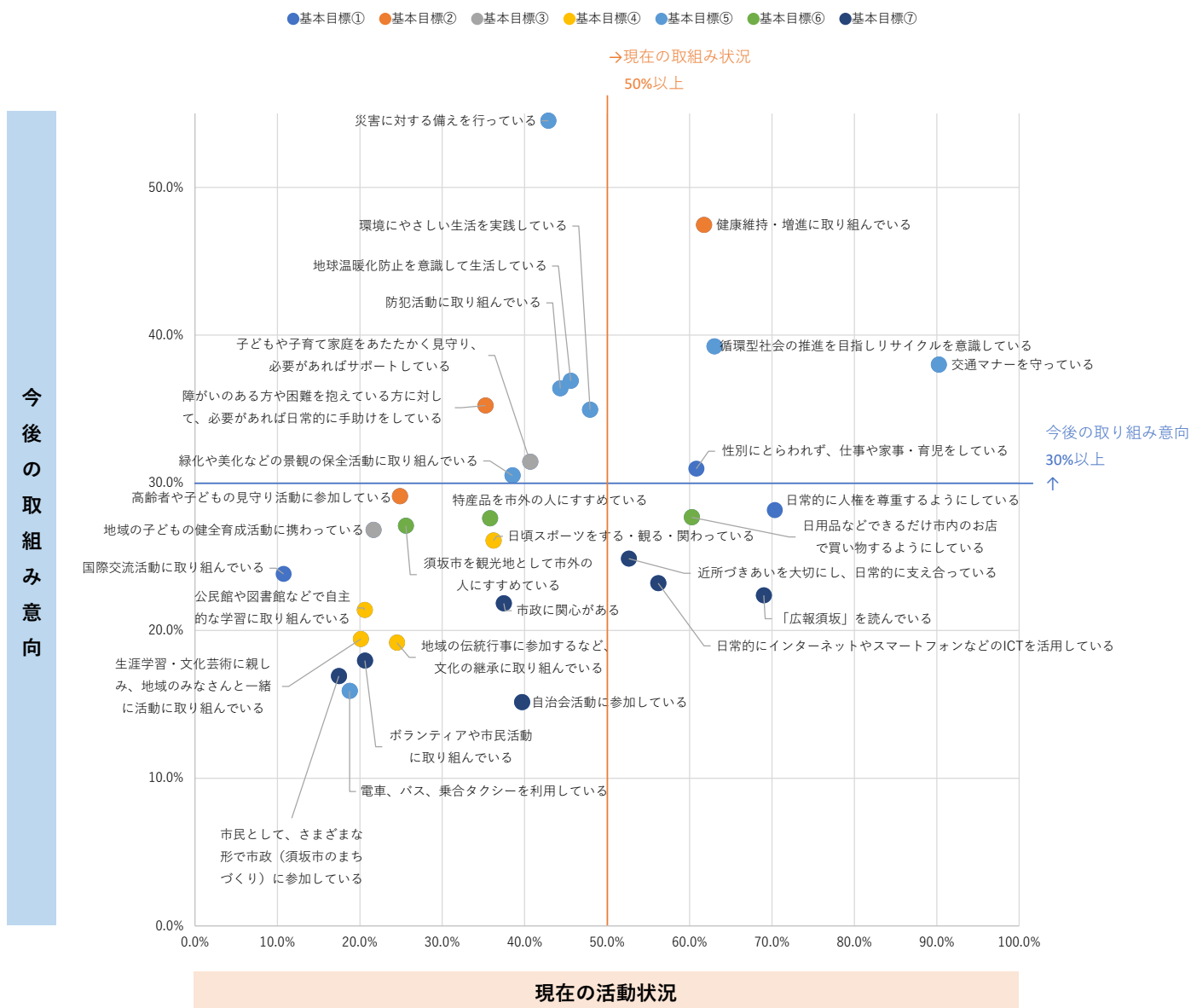
図表 76 今後の取組み意向



- 図表 77 に現在の活動状況の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合の合計を横軸、今後の取り組み意向の「取り組みを増やしたい」の割合を縦軸として、プロットしています。
- 図表 77 を見ると、現在の活動状況が高く、かつ今後の取り組み意向が高い活動は、健康維持、交通マナー遵守、リサイクル、性別にとらわれない仕事・家事・育児の4活動となっています。
- 一方で現在の活動状況が低く、かつ今後の取り組み意向が低い活動は、市政参加、公共交通の利用、文化の継承、ボランティア・市民活動など14活動となっています。

⑧ 現在の活動状況と今後の取り組み意向のまとめ

図表 77 現在の活動状況・今後の取り組み意向のマトリクス



- 現在の活動状況で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合の合計で年代ごとに順位を比べました。
- 全年代で上位5位以内となった活動は交通マナーの遵守でした。日常的なネット活用は60代まで上位3位以内であり、「広報須坂」を読んでいる」は30代以上で上位3位以内となっています。

⑨ 年代別順位

図表 78 年代別現在の活動状況の順位（赤が上位5位、青が下位5位）

基本 目標No	活動 No	活動	10～ 20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上
1	1	日常的に人権を尊重するようにしている	3	6	7	4	4	7	7
	2	性別にとらわれず、仕事や家事・育児をしている	4	4	4	5	6	9	13
	3	国際交流活動に取り組んでいる	23	29	30	30	22	30	30
2	4	健康維持・増進に取り組んでいる	7	8	9	10	10	4	7
	5	高齢者や子どもの見守り活動に参加している	26	29	18	28	25	20	21
	6	障がいのある方や困難を抱えている方に対して、必要があれば日常的に手助けをしている	16	25	22	13	20	23	24
3	7	子どもや子育て家庭をあたたく見守り、必要があればサポートしている	11	7	8	18	13	17	23
	8	地域の子どもの健全育成活動に携わっている	28	15	14	29	29	28	29
4	9	公民館や図書館などで自主的な学習に取り組んでいる	20	20	26	20	26	24	22
	10	生涯学習・文化芸術に親しみ、地域のみなさんと一緒に活動に取り組んでいる	25	28	29	27	26	25	25
	11	地域の伝統行事に参加するなど、文化の継承に取り組んでいる	22	15	28	21	23	27	19
	12	日頃スポーツをする・観る・関わっている	6	8	12	12	18	21	17
5	13	災害に対する備えを行っている	21	24	23	22	21	18	14
	14	交通マナーを守っている	1	2	2	1	1	2	2
	15	防犯活動に取り組んでいる	10	11	16	16	12	15	15
	16	電車、バス、乗合タクシーを利用している	9	18	18	23	29	29	20
	17	環境にやさしい生活を実践している	12	20	11	14	14	13	11
	18	緑化や美化などの景観の保全活動に取り組んでいる	12	20	16	16	14	14	18
	19	地球温暖化防止を意識して生活している	14	12	13	14	17	10	9
	20	循環型社会の推進を目指しリサイクルを意識している	8	10	5	7	7	5	6
6	21	特産品を市外の人にすすめている	15	15	21	11	11	19	10
	22	日用品などできるだけ市内のお店で買い物するようにしている	5	5	6	6	5	3	3
	23	須坂市を観光地として市外の人にすすめている	19	25	25	23	19	22	16
7	24	「広報須坂」を読んでいる	17	3	3	3	2	1	1
	25	日常的にインターネットやスマートフォンなどのICTを活用している	2	1	1	2	3	8	26
	26	自治会活動に参加している	27	12	10	8	8	11	11
	27	近所づきあいを大切に、日常的に支え合っている	18	12	15	9	9	6	4
	28	ボランティアや市民活動に取り組んでいる	30	25	27	23	24	16	28
	29	市政に関心がある	24	18	18	19	14	11	5
	30	市民として、さまざまな形で市政（須坂市のまちづくり）に参加している	28	20	24	23	28	26	27

- 今後の取組み意向で「取り組みを増やす」と回答した人の割合で年代ごとに順位を比べました。
- 多くの年代で上位5位以内となった活動は災害に対する備え（全年代）、健康維持（全年代）、リサイクル（10～30代除く全年代）、交通マナーの遵守（40, 60代を除く全年代）となっています。
- 全年代で下位5位以内となった活動は自治会活動と市政への参加となっています。

図表 79 年代別今後の取組み意向の順位（赤が上位5位、青が下位5位）

基本 目標No	活動 No	活動	10～ 20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上
1	1	日常的に人権を尊重するようにしている	20	20	17	14	12	9	8
	2	性別にとらわれず、仕事や家事・育児をしている	12	6	9	9	14	12	19
	3	国際交流活動に取り組んでいる	19	20	14	17	28	20	25
2	4	健康維持・増進に取り組んでいる	3	2	2	2	2	2	5
	5	高齢者や子どもの見守り活動に参加している	14	17	10	14	11	15	12
	6	障がいのある方や困難を抱えている方に対して、必要があれば日常的に手助けをしている	10	12	7	6	6	6	15
3	7	子どもや子育て家庭をあたたく見守り、必要があればサポートしている	9	5	10	13	9	15	16
	8	地域の子どもの健全育成活動に携わっている	16	6	19	16	13	21	21
4	9	公民館や図書館などで自主的な学習に取り組んでいる	20	19	24	23	17	23	26
	10	生涯学習・文化芸術に親しみ、地域のみなさんと一緒に活動に取り組んでいる	24	25	28	28	21	24	22
	11	地域の伝統行事に参加するなど、文化の継承に取り組んでいる	20	26	26	27	25	27	22
	12	日頃スポーツをする・観る・関わっている	7	13	14	10	20	26	24
5	13	災害に対する備えを行っている	1	1	1	1	1	1	1
	14	交通マナーを守っている	4	4	8	4	6	4	4
	15	防犯活動に取り組んでいる	4	3	3	6	3	8	20
	16	電車、バス、乗合タクシーを利用している	30	30	30	29	30	25	17
	17	環境にやさしい生活を実践している	2	6	6	8	8	10	10
	18	緑化や美化などの景観の保全活動に取り組んでいる	11	11	16	12	10	13	7
	19	地球温暖化防止を意識して生活している	8	9	5	5	4	5	6
	20	循環型社会の推進を目指しリサイクルを意識している	6	9	3	3	4	3	2
6	21	特産品を市外の人にすすめている	18	13	10	17	18	11	14
	22	日用品などできるだけ市内のお店で買い物するようにしている	17	18	20	20	16	7	3
	23	須坂市を観光地として市外の人にすすめている	13	23	13	19	19	13	9
7	24	「広報須坂」を読んでいる	25	28	25	21	22	19	13
	25	日常的にインターネットやスマートフォンなどのICTを活用している	26	13	18	11	24	22	29
	26	自治会活動に参加している	29	29	29	30	26	29	27
	27	近所づきあいを大切にし、日常的に支え合っている	15	13	21	22	15	18	11
	28	ボランティアや市民活動に取り組んでいる	23	23	23	25	28	30	28
	29	市政に関心がある	27	20	21	24	22	17	18
	30	市民として、さまざまな形で市政（須坂市のまちづくり）に参加している	27	27	27	26	26	28	30

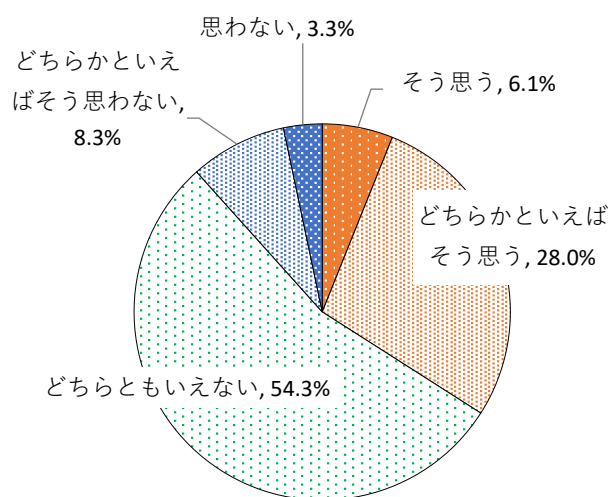
(4) 須坂市のまちづくりに対する総合評価

- 須坂市は子育てしやすいまちだと思うかを見ると、「どちらともいえない」(54.3%) が最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」(28.0%)、「どちらかといえばそう思わない」(8.3%) の順となっています。
- 18歳未満の子どもがいる家庭では、いない家庭と比べて、「どちらともいえない」と回答した人の割合が低くなっています。

① 須坂市は子育てしやすいまちだと思うか

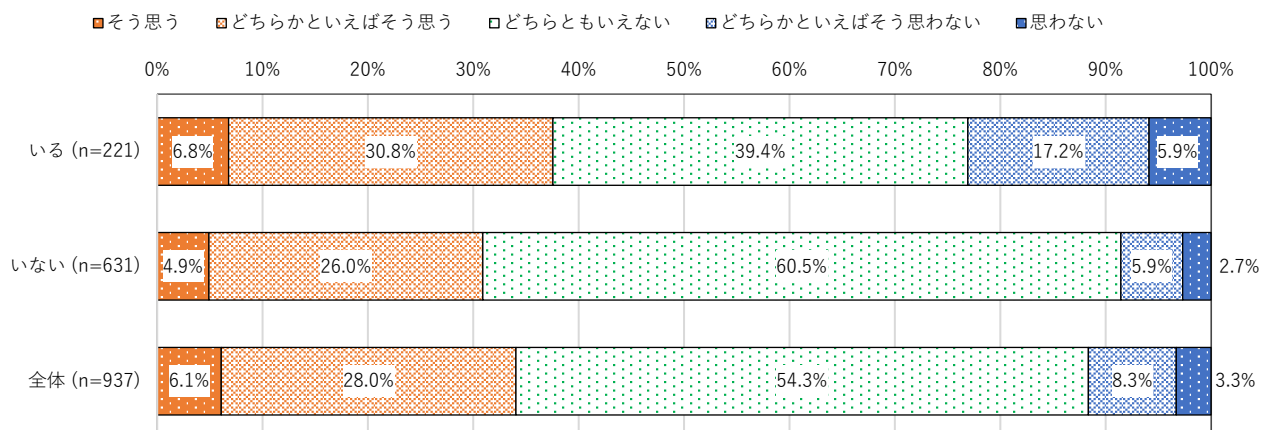
図表 80 須坂市は子育てしやすいまちだと思うか

	度数	割合
そう思う	57	6.1
どちらかといえばそう思う	262	28.0
どちらともいえない	509	54.3
どちらかといえばそう思わない	78	8.3
思わない	31	3.3
合計	937	100.0



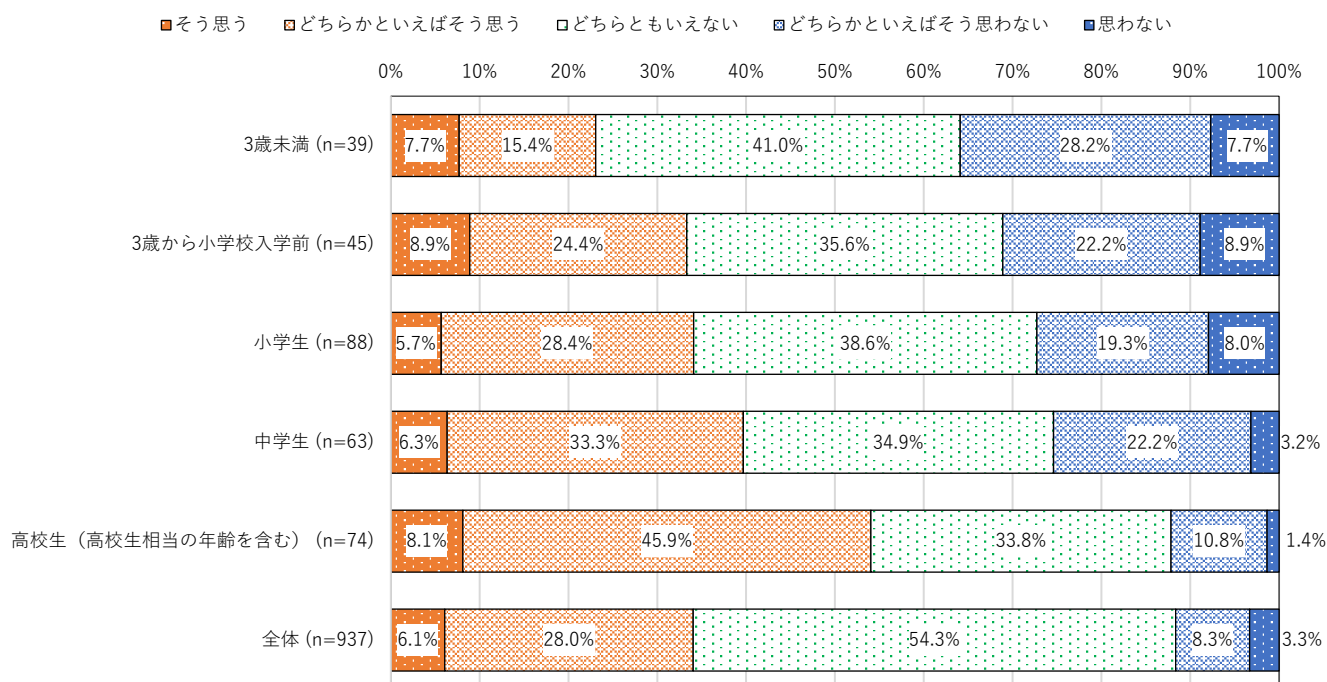
(n=937)

図表 81 18歳未満の子どもの有無×須坂市は子育てしやすいまちだと思うか



- 子どもの年齢別に「須坂市は子育てしやすいまちだと思うか」を見ると、「思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合は、高校生（高校生相当の年齢を含む）（54.0%）が最も多く、次いで中学生（39.6%）、小学生（34.1%）の順となっています。一方で、「思わない」「どちらかといえばそう思わない」は、3歳未満（35.9%）が最も多く、次いで3歳から小学校入学前（31.1%）、小学校（27.3%）の順となっています。

図表 82 子どもの年齢×須坂市は子育てしやすいまちだと思うか

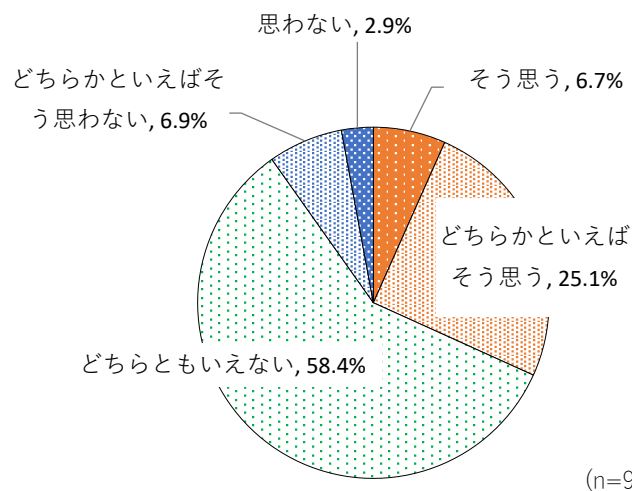


- 「須坂市は困難を抱えた人が安心して暮らせるまちだと思うか」を見ると、「どちらともいえない」(58.4%)が最も多くなっています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は31.8%となっています。
- 困難を抱える家族の属性別に「須坂市は困難を抱えた人が安心して暮らせるまちだと思うか」を見ると、「思わない」「どちらかといえば思わない」と回答した人の割合は、外出や他者とのコミュニケーションに困難を抱えている方(19.4%)が最も多くなっています。

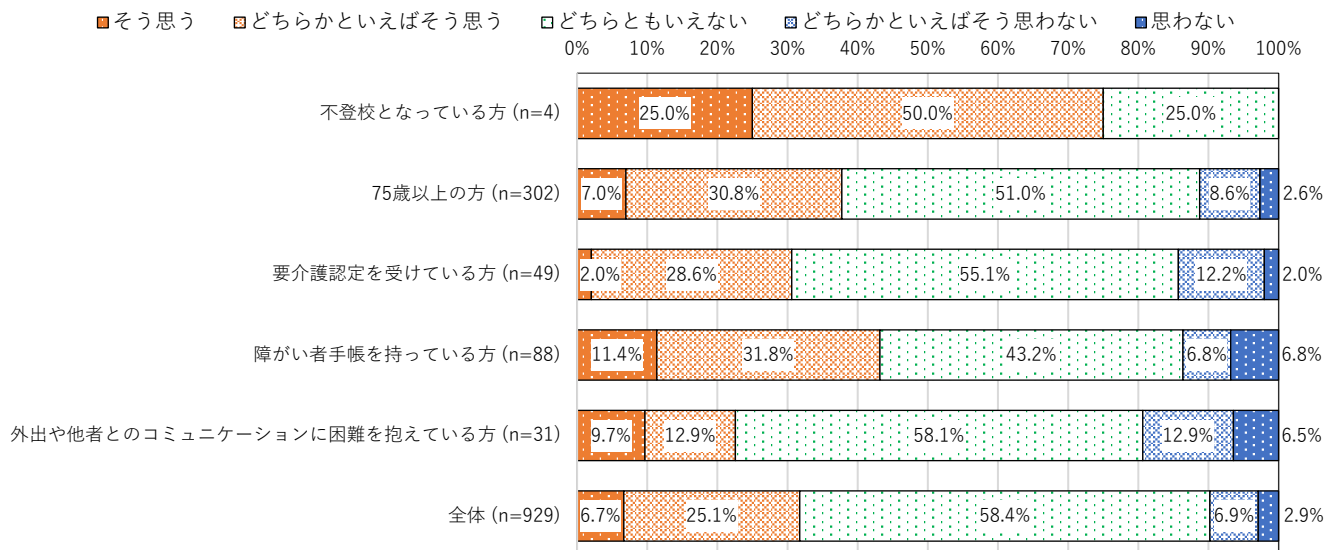
② 須坂市は困難を抱えた人が安心して暮らせるまちだと思うか

図表 83 須坂市は困難を抱えた人が安心して暮らせるまちだと思うか

	度数	割合
そう思う	62	6.7
どちらかといえばそう思う	233	25.1
どちらともいえない	543	58.4
どちらかといえばそう思わない	64	6.9
思わない	27	2.9
合計	929	100.0



図表 84 困難を抱える家族の属性×須坂市は困難を抱えた人が安心して暮らせるまちだと思うか

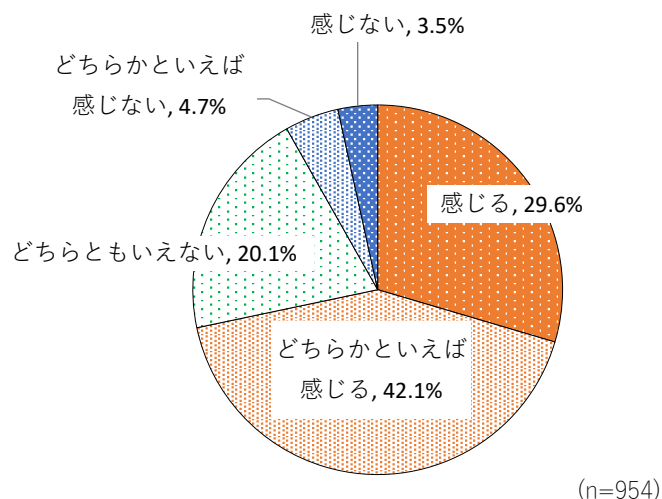


- 「須坂市に愛着を感じるか」を見ると、「感じる」「どちらかといえば感じる」と回答した人の割合は約7割を占めています。
- 回答者の年代別に「須坂市に愛着を感じるか」を見ると、「感じる」「どちらかといえば感じる」と回答した割合は80代以上(84.5%)が最も多く、次いで70代(77.2%)、60代(71.1%)の順となっています。

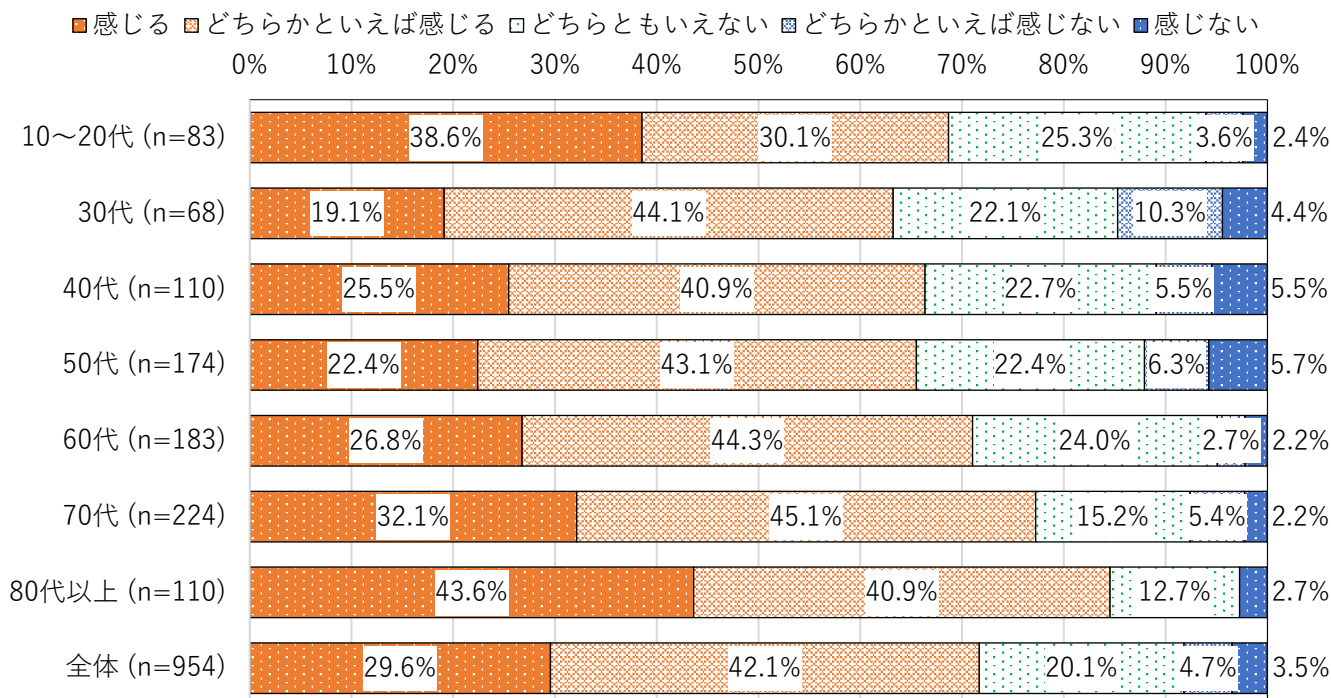
③ 須坂市に愛着を感じるか

図表 85 須坂市に愛着を感じるか

	度数	割合
感じる	282	29.6
どちらかといえば感じる	402	42.1
どちらともいえない	192	20.1
どちらかといえば感じない	45	4.7
感じない	33	3.5
合計	954	100.0

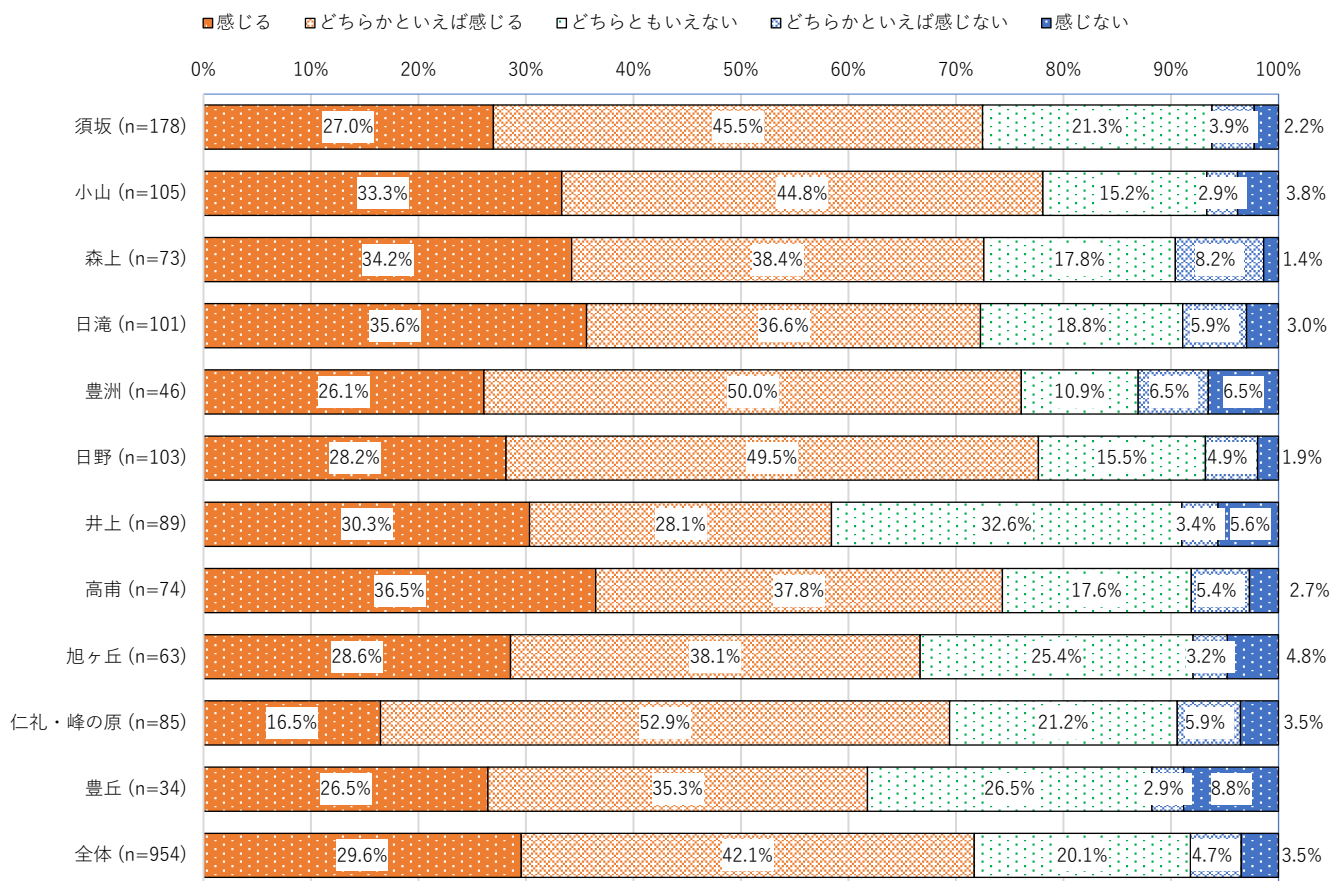


図表 86 回答者の年齢×須坂市に愛着を感じるか

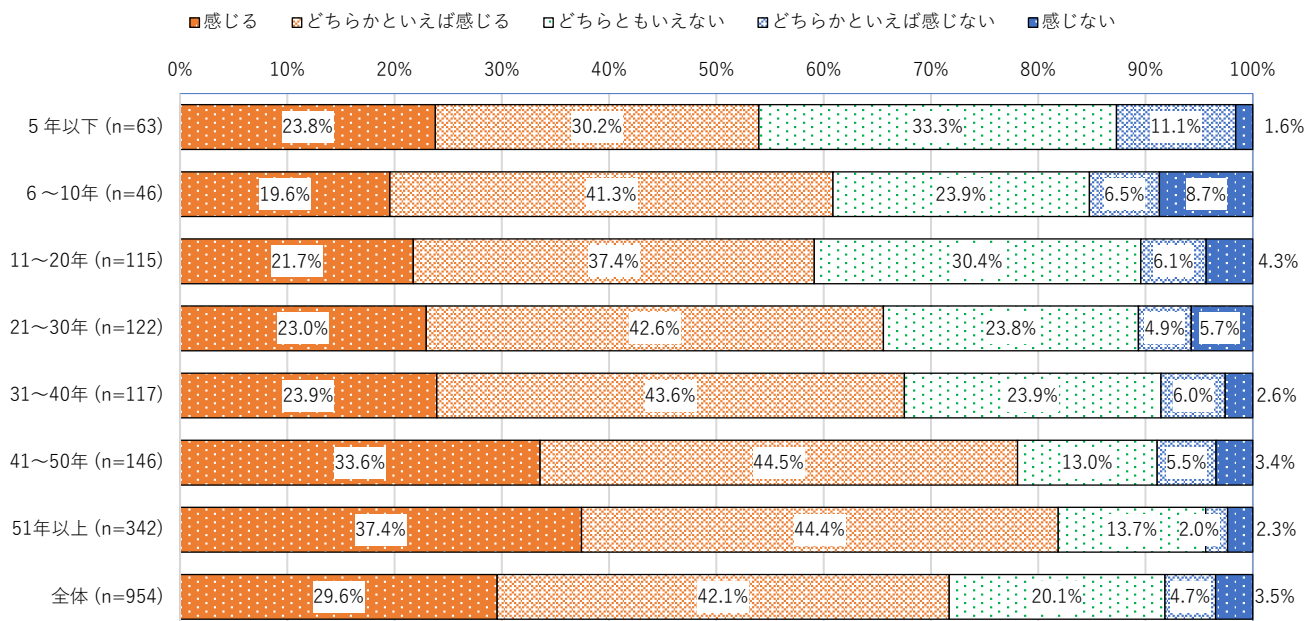


- 回答者の居住区別に「須坂市に愛着を感じるか」を見ると、「感じる」「どちらかといえば感じる」と回答した人の割合は、小山（78.1%）が最も多く、次いで日野（77.7%）、豊洲（76.1%）の順となっています。一方で、「感じない」「どちらかといえば感じない」は豊洲（13.0%）が最も多くなっています。
- 回答者の居住年数別に「須坂市に愛着を感じるか」を見ると、「感じる」「どちらかといえば感じる」と回答した人の割合は、居住年数 51 年以上(81.8%)が最も多くなっています。

図表 87 回答者の居住地区×須坂市に愛着を感じるか



図表 88 回答者の居住年数×須坂市に愛着を感じるか

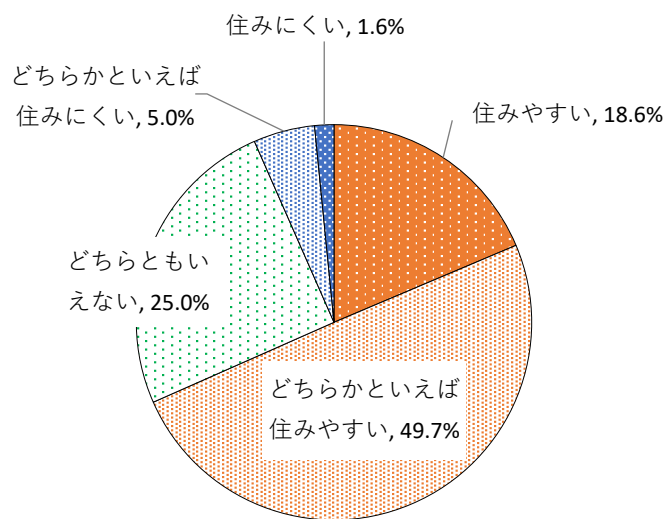


- 「須坂市は住みやすいまちだと思うか」を見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した人の割合は約7割となっています。
- 前回調査と比較すると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合が、6.1ポイント増加しています。

④ 須坂市は住みやすいまちだと思うか

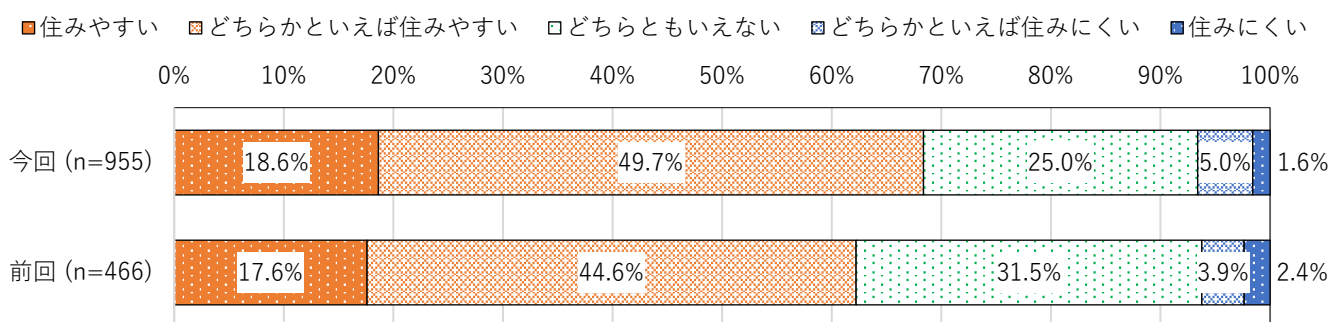
図表 89 須坂市は住みやすいまちだと思うか

	度数	割合
住みやすい	178	18.6
どちらかといえば住みやすい	475	49.7
どちらともいえない	239	25.0
どちらかといえば住みにくい	48	5.0
住みにくい	15	1.6
合計	955	100.0



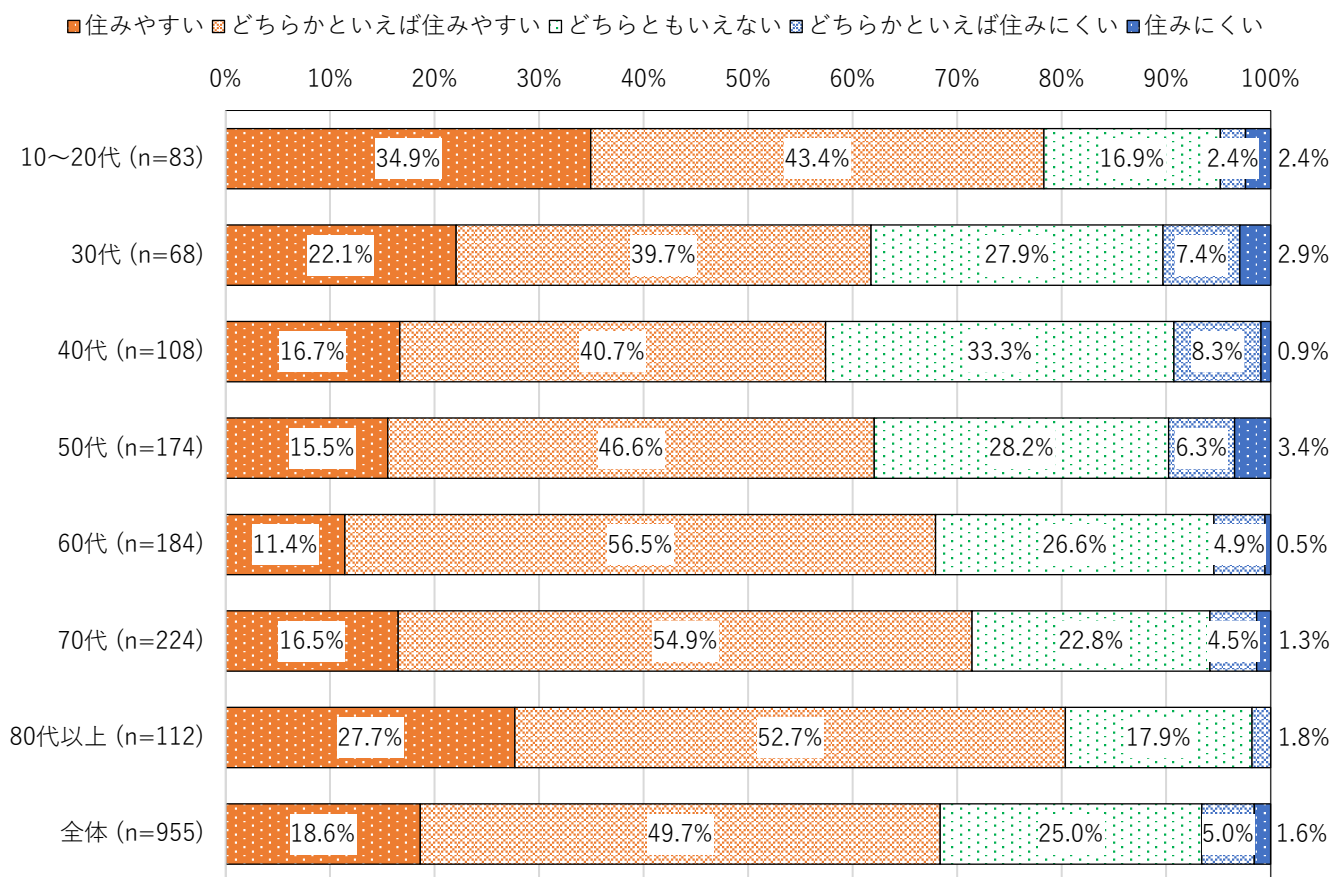
(n=955)

図表 90 【前回調査と比較】須坂市は住みやすいまちだと思うか

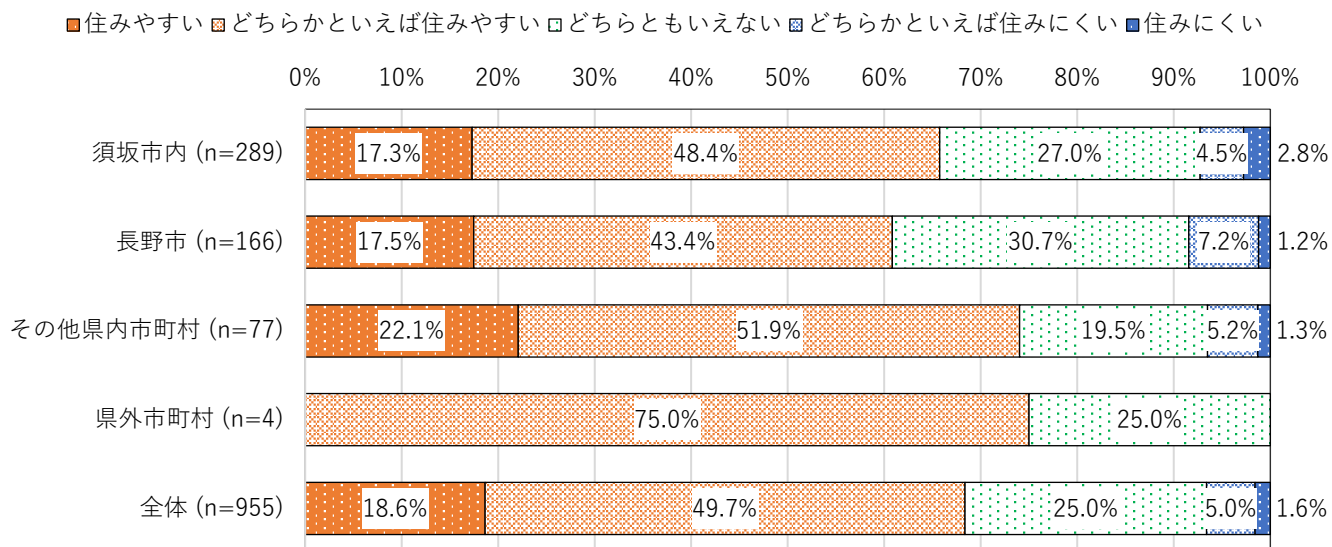


- 回答者の年代別に「須坂市は住みやすいまちだと思うか」を見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した人の割合は80代以上(80.4%)が最も多く、次いで10～20代(78.3%)、70代(71.4%)の順となっています。

図表 91 回答者の年齢×須坂市は住みやすいまちだと思うか



図表 92 回答者の勤務地×須坂市は住みやすいまちだと思うか

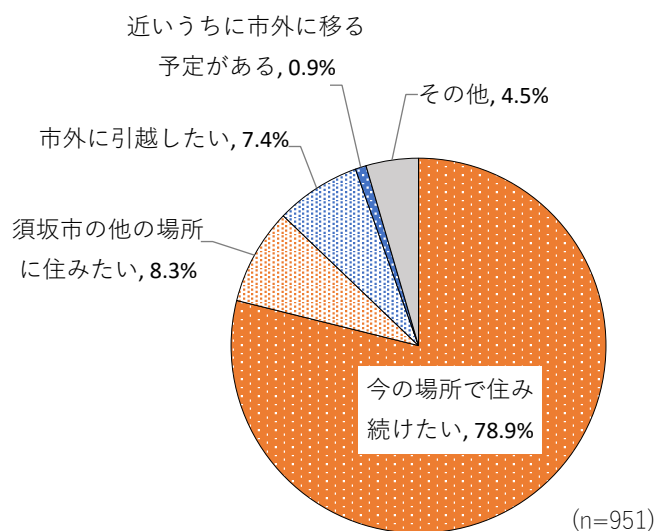


- 「須坂市に今後も住み続けたいと思うか」を見ると、今の場所で住み続けたい(78.9%)が最も多くなっています。
- 前回調査と比較すると、「市外に引越したい」が1.8ポイント増加しています。
- 回答者の年代別に「須坂市に今後も住み続けたいと思うか」を見ると、「今の場所で住み続けたい」「須坂市の他の場所に住みたい」と回答した人の割合は、年代が低くなるにつれて、割合も低くなっています。

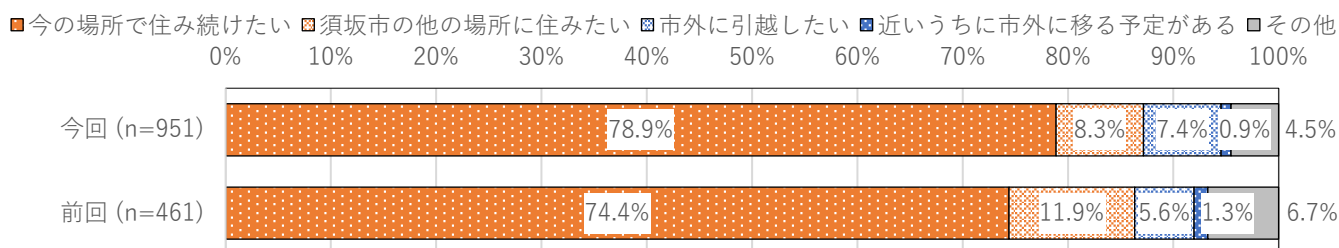
⑤ 須坂市に今後も住み続けたいと思うか

図表 93 須坂市に今後も住み続けたいと思うか

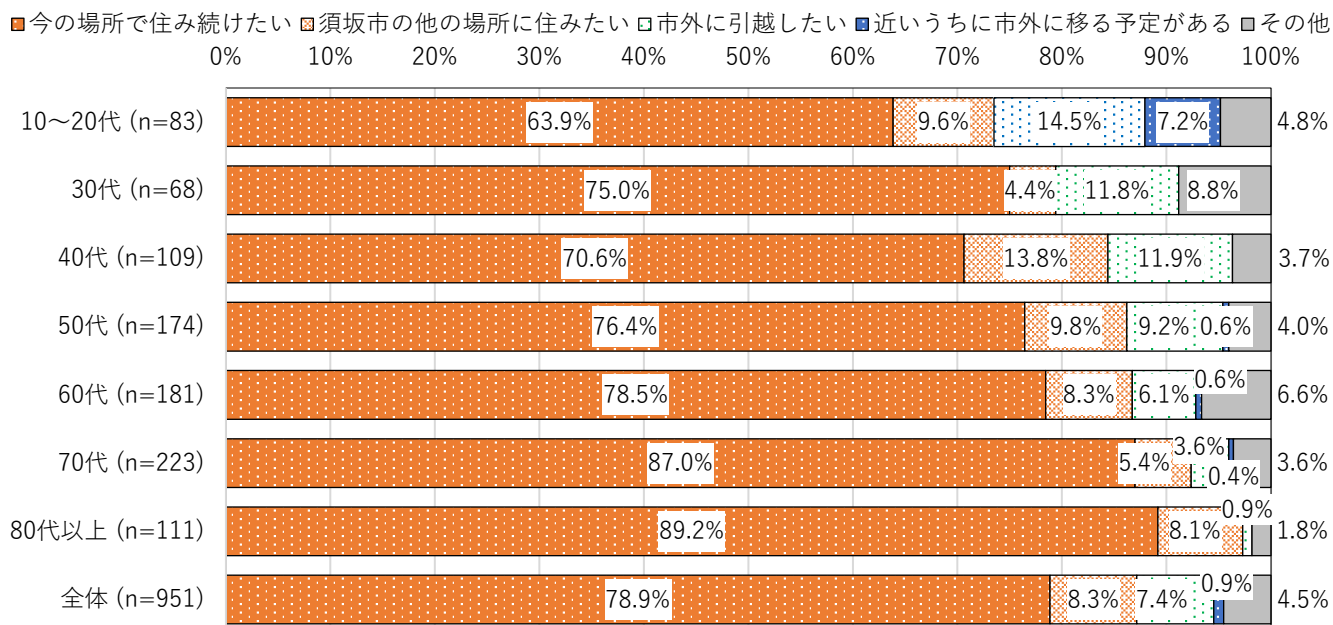
	度数	割合
今の場所で住み続けたい	750	78.9
須坂市の他の場所に住みたい	79	8.3
市外に引越したい	70	7.4
近いうちに市外に移る予定がある	9	0.9
その他	43	4.5
合計	951	100.0



図表 94 【前回調査と比較】須坂市に今後も住み続けたいと思うか

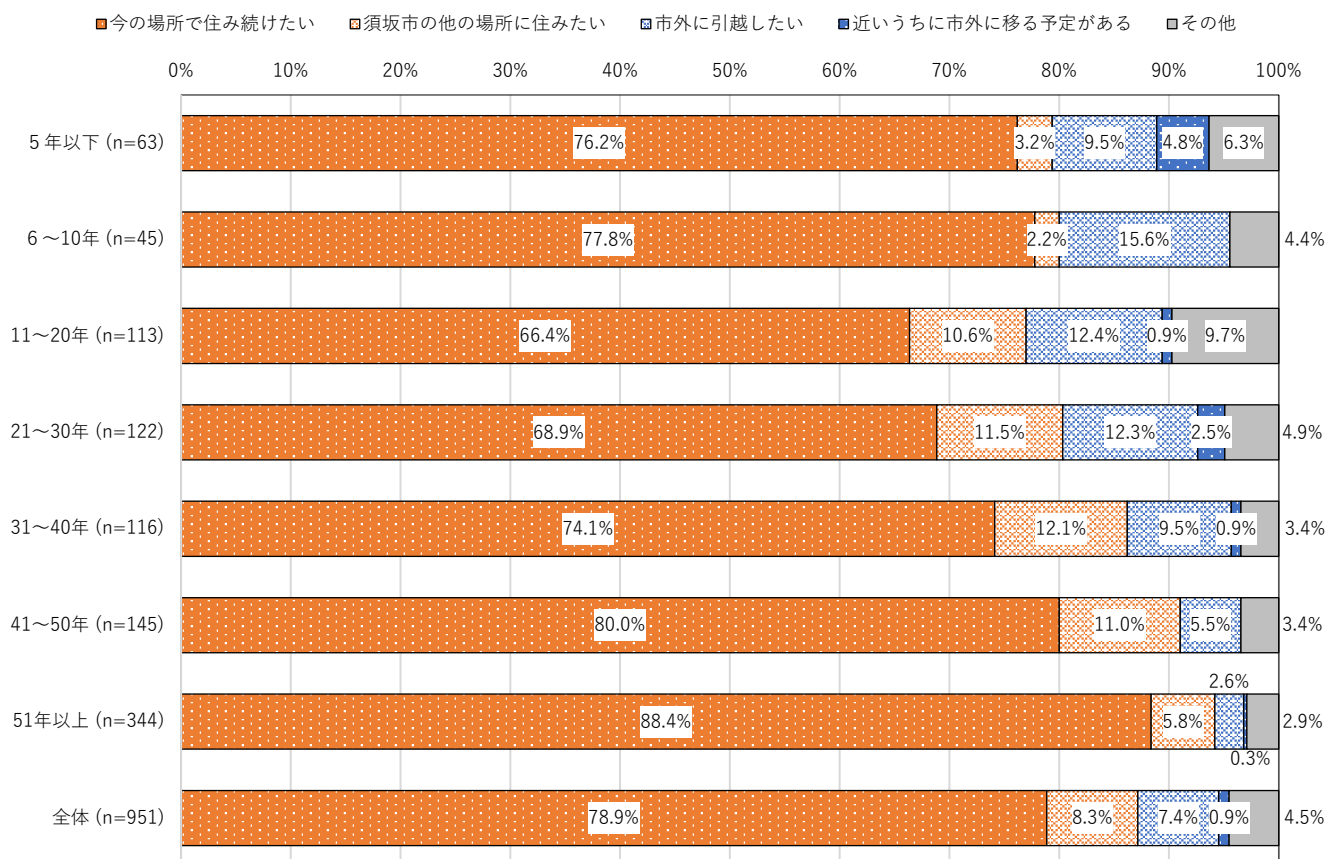


図表 95 回答者の年齢×須坂市に今後も住み続けたいと思うか

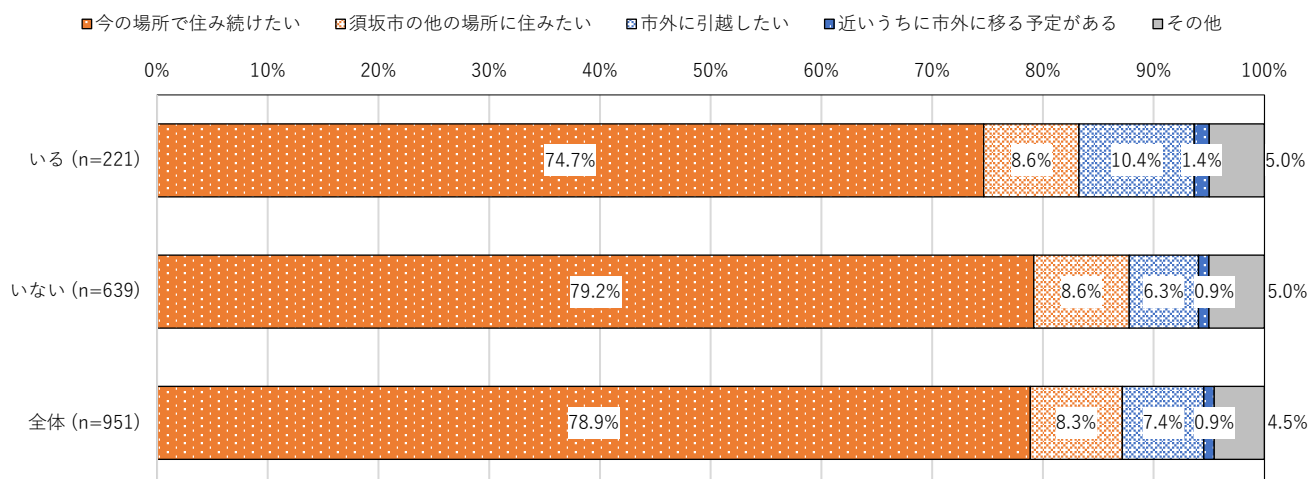


- 回答者の居住年数別に「須坂市に今後も住み続けたいと思うか」を見ると、「今の場所で住み続けたい」と回答した人の割合は、居住年数 11～20 年（66.4%）、21～30 年（68.9%）が他の居住年数と比べて低い結果となっています。
- 18 歳未満の子供の有無別に「須坂市に今後も住み続けたいと思うか」を見ると「今の場所で住み続けたい」と回答した人の割合は、18 歳未満の子供のいる家庭の方が少なくなっています。

図表 96 回答者の居住年数×須坂市に今後も住み続けたいと思うか



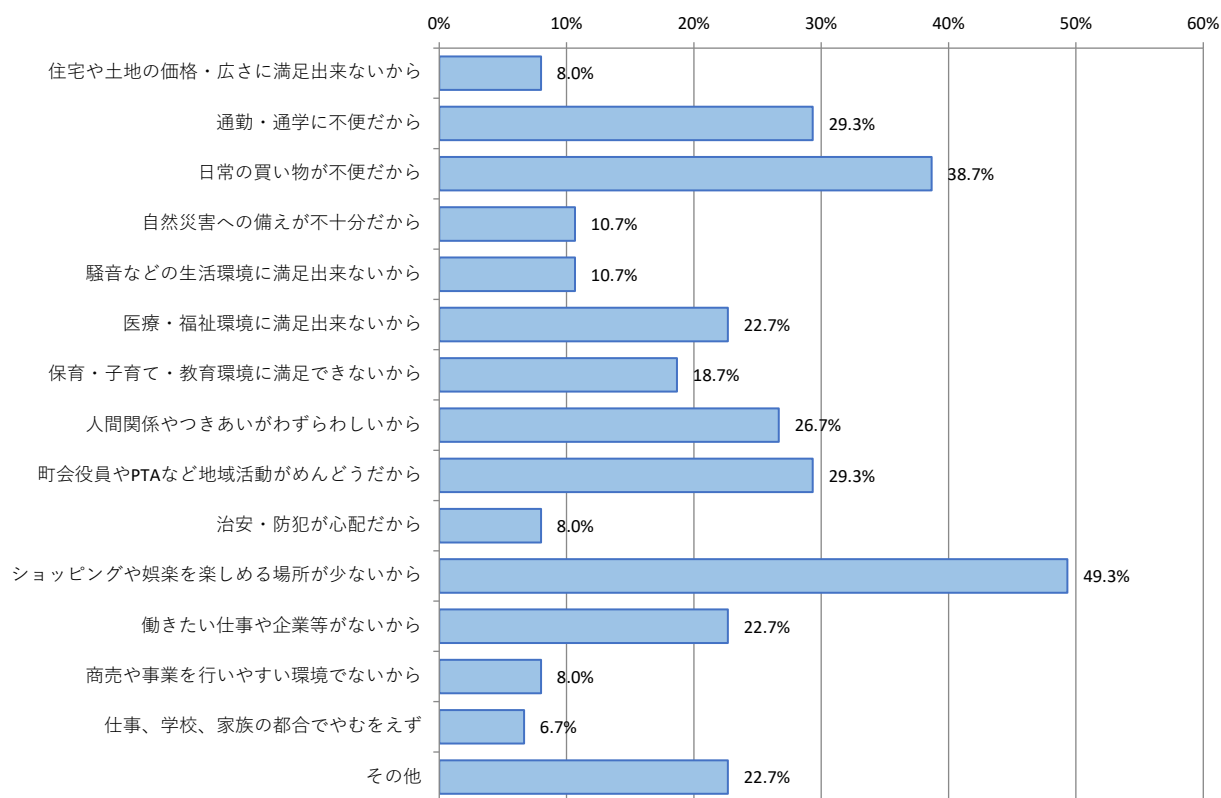
図表 97 18 歳未満の子どもの有無×須坂市に今後も住み続けたいと思うか



- 「市外に引越したい」「近いうちに市外に移る予定がある」と回答した 75 名にその理由をお聞きしました。須坂市外に引越したいと考えている理由を見ると、「ショッピングや娯楽を楽しめる場所が少ないから」「日常の買い物が不便だから」「通勤・通学に不便だから」「町会役員や PTA など地域活動がめんどうだから」等が多くなっています。

⑥ 須坂市外に引っ越したいと考えている理由

図表 98 須坂市外に引っ越したいと考えている理由【複数回答】

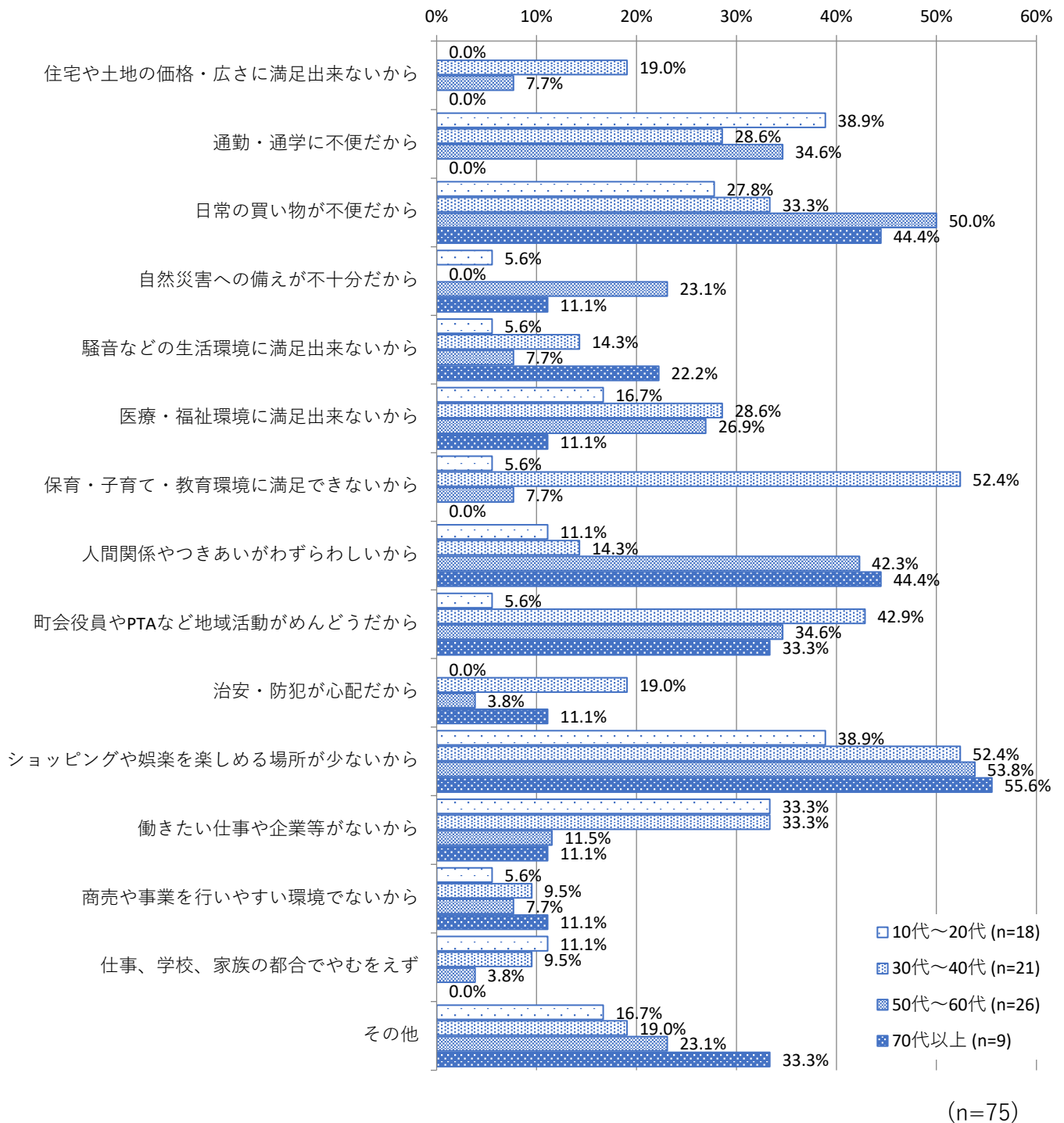


(n=75)

	度数	割合
住宅や土地の価格・広さに満足出来ないから	6	8.0
通勤・通学に不便だから	22	29.3
日常の買い物が不便だから	29	38.7
自然災害への備えが不十分だから	8	10.7
騒音などの生活環境に満足出来ないから	8	10.7
医療・福祉環境に満足出来ないから	17	22.7
保育・子育て・教育環境に満足できないから	14	18.7
人間関係やつきあいがわずらわしいから	20	26.7
町会役員やPTAなど地域活動がめんどうだから	22	29.3
治安・防犯が心配だから	6	8.0
ショッピングや娯楽を楽しめる場所が少ないから	37	49.3
働きたい仕事や企業等がないから	17	22.7
商売や事業を行いやすい環境でないから	6	8.0
仕事、学校、家族の都合でやむをえず	5	6.7
その他	17	22.7
回答者数	75	

- 回答者の年代別に須坂市外に引越したい理由を見ると、全ての年代で「ショッピングや娯楽を楽しむ場所が少ないから」がそれぞれ最も高く、10～20代では「通学・通勤に不便だから」、30～40代では「保育・子育て・教育環境に満足できないから」も高くなっています。

図表 99 回答者の年代×須坂市外に引越したいと考えている理由

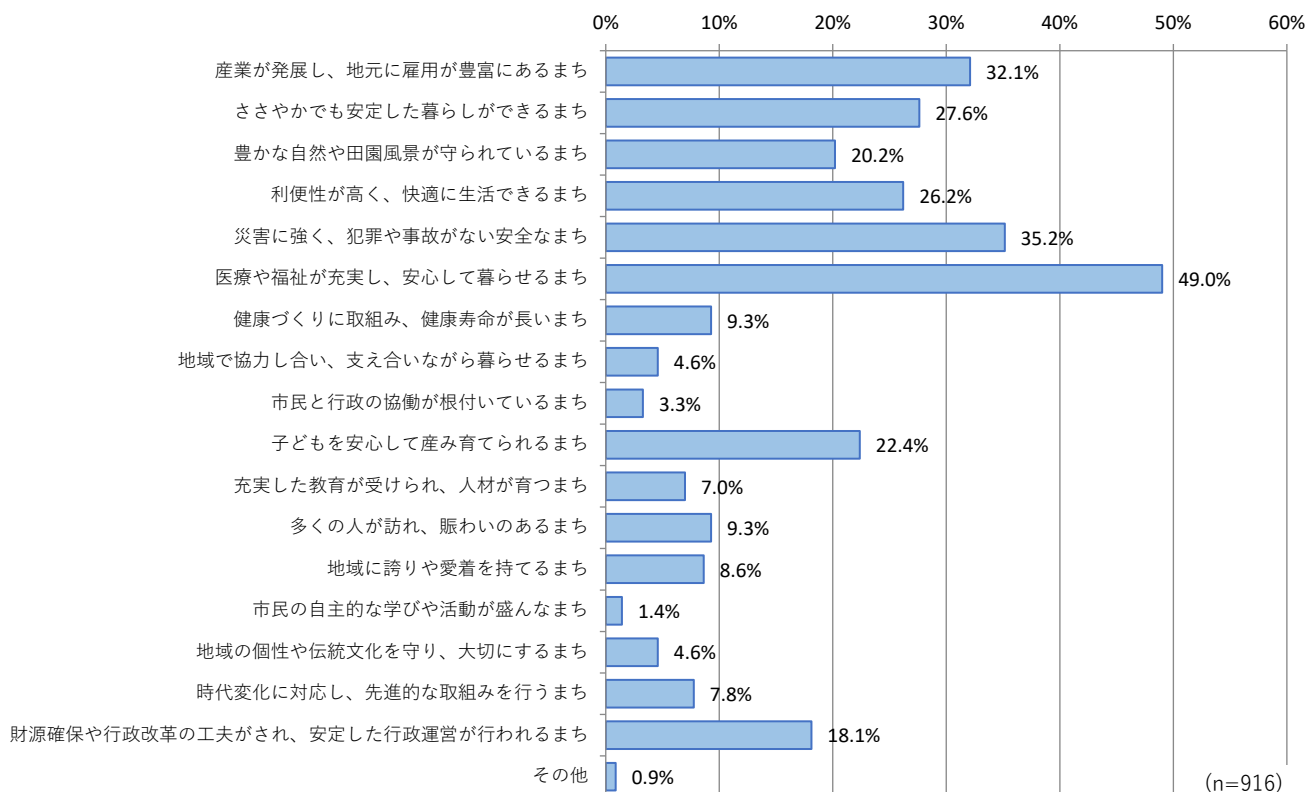


(5) 須坂市の将来都市像

- 2030 年に向けて須坂市にどのようなまちになってほしいと思うかを見ると、「医療や福祉が充実し、安心して暮らせるまち」(49.0%)が最も多く、次いで「災害に強く、犯罪や事故がない安全なまち」(35.2%)、「産業が発展し、地元で雇用が豊富にあるまち」(32.1%)の順となっています。

① 2030 年に向けて須坂市にどのようなまちになってほしいと思うか

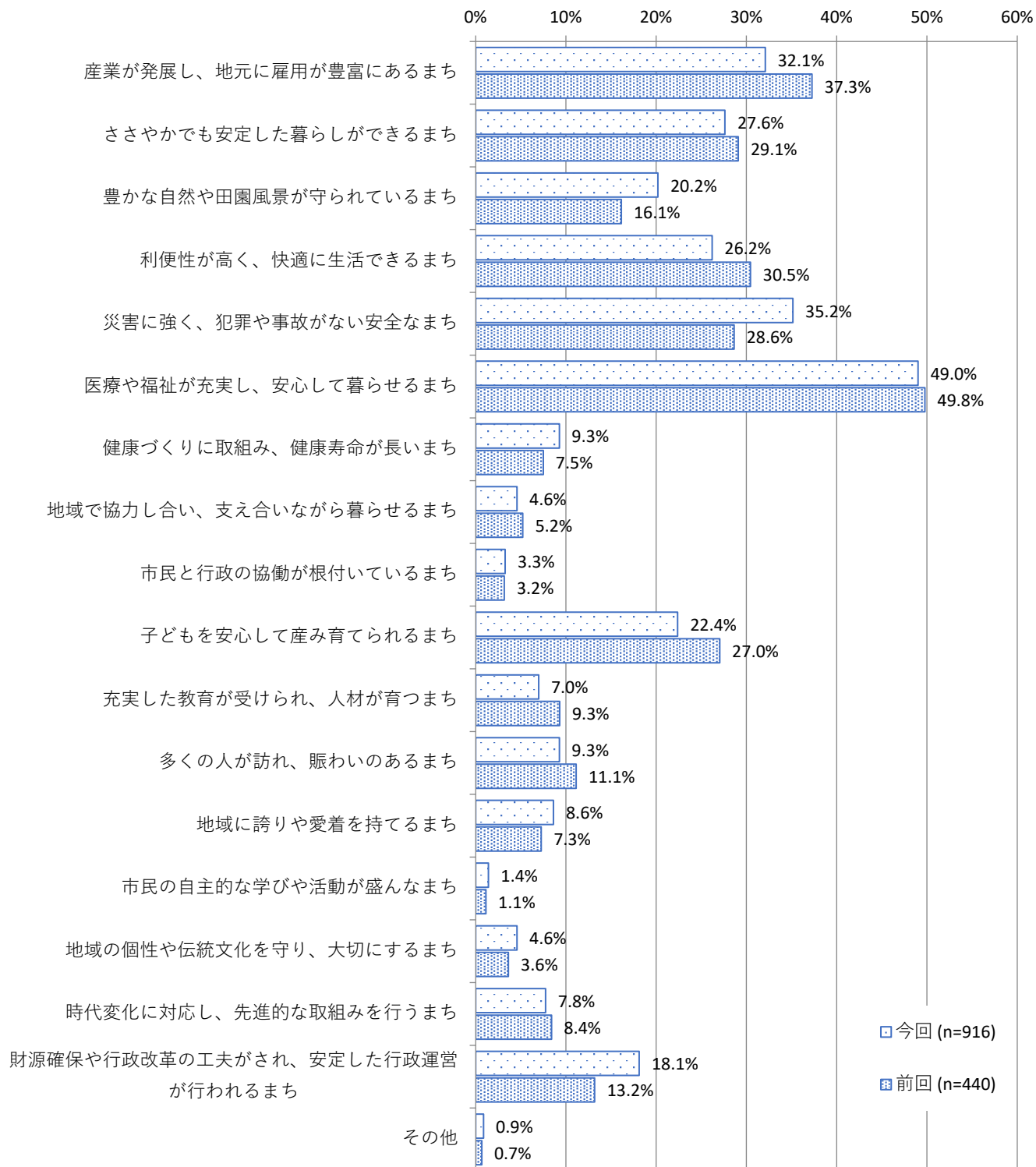
図表 100 2030 年に向けて須坂市にどのようなまちになってほしいと思うか【3 つまでの複数回答】



	度数	割合
産業が発展し、地元で雇用が豊富にあるまち	294	32.1
ささやかでも安定した暮らしができるまち	253	27.6
豊かな自然や田園風景が守られているまち	185	20.2
利便性が高く、快適に生活できるまち	240	26.2
災害に強く、犯罪や事故がない安全なまち	322	35.2
医療や福祉が充実し、安心して暮らせるまち	449	49.0
健康づくりに取り組み、健康寿命が長いまち	85	9.3
地域で協力し合い、支え合いながら暮らせるまち	42	4.6
市民と行政の協働が根付いているまち	30	3.3
子どもを安心して産み育てられるまち	205	22.4
充実した教育が受けられ、人材が育つまち	64	7.0
多くの人が訪れ、賑わいのあるまち	85	9.3
地域に誇りや愛着を持てるまち	79	8.6
市民の自主的な学びや活動が盛んなまち	13	1.4
地域の個性や伝統文化を守り、大切にするまち	42	4.6
時代変化に対応し、先進的な取り組みを行うまち	71	7.8
財源確保や行政改革の工夫がされ、安定した行政運営が行われるまち	166	18.1
その他	8	0.9
回答者数	916	

- 前回調査と比較すると、「災害に強く、犯罪や事故がない安全なまち」が、6.6ポイント増加しました。

図表 101 【前回調査と比較】 2030年に向けて須坂市にどのようなまちになってほしいと思うか

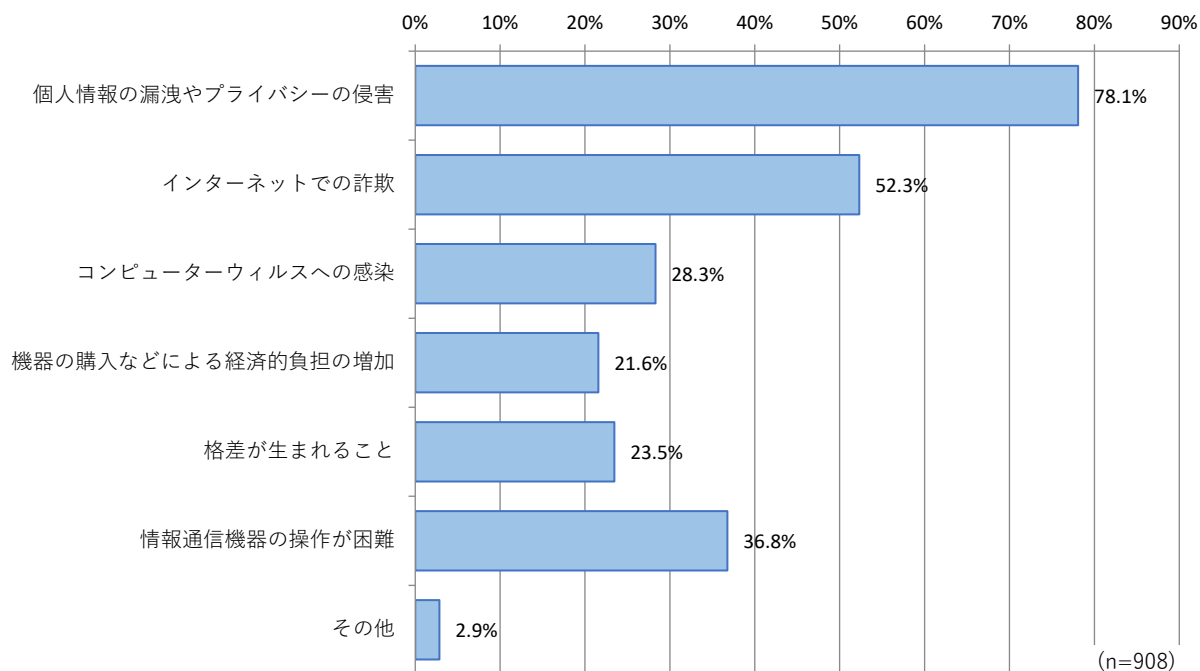


(6) デジタル化の推進について

- デジタル化で不安に思うことを見ると、「個人情報の漏洩やプライバシーの侵害」(78.1%)が最も多く、次いで「インターネットでの詐欺」(52.3%)、「情報通信機器の操作が困難」(36.8%)の順となっています。

① デジタル化で不安に思うこと

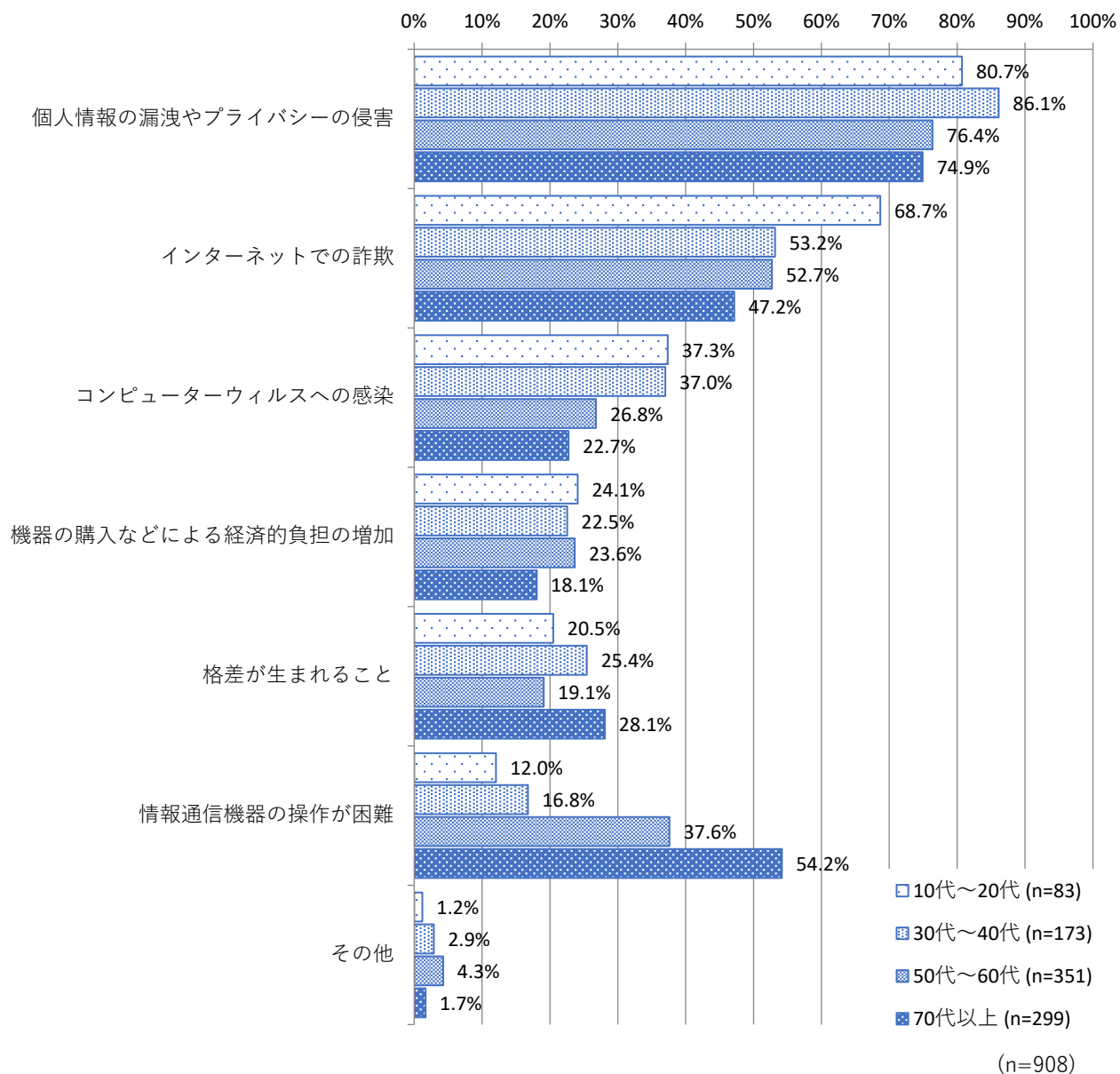
図表 102 デジタル化で不安に思うこと【3つまでの複数回答】



	度数	割合
個人情報の漏洩やプライバシーの侵害	709	78.1
インターネットでの詐欺	475	52.3
コンピューターウィルスへの感染	257	28.3
機器の購入などによる経済的負担の増加	196	21.6
格差が生まれること	213	23.5
情報通信機器の操作が困難	334	36.8
その他	26	2.9
回答者数	908	

- 回答者の年代別にデジタル化で不安に思うことを見ると、全ての年代で「個人情報の漏洩やプライバシーの侵害」が最も高くなっています。

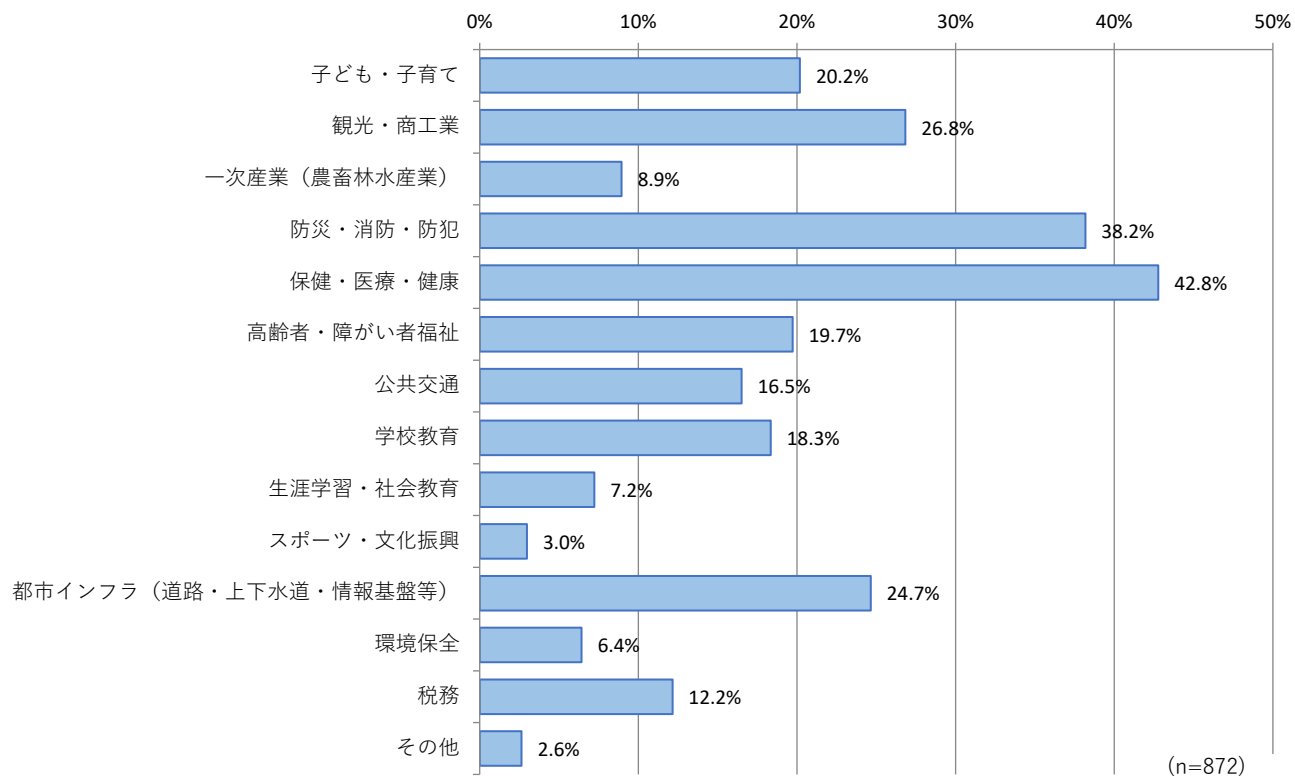
図表 103 回答者の年代×デジタル化で不安に思うこと【3つまでの複数回答】



- デジタル化が進むことを期待する分野を見ると、「保健・医療・健康」(42.8%)が最も多く、次いで「防災・消防・防犯」(38.2%)、「観光・商工業」(26.8%)の順となっています。

② デジタル化が進むことを期待する分野

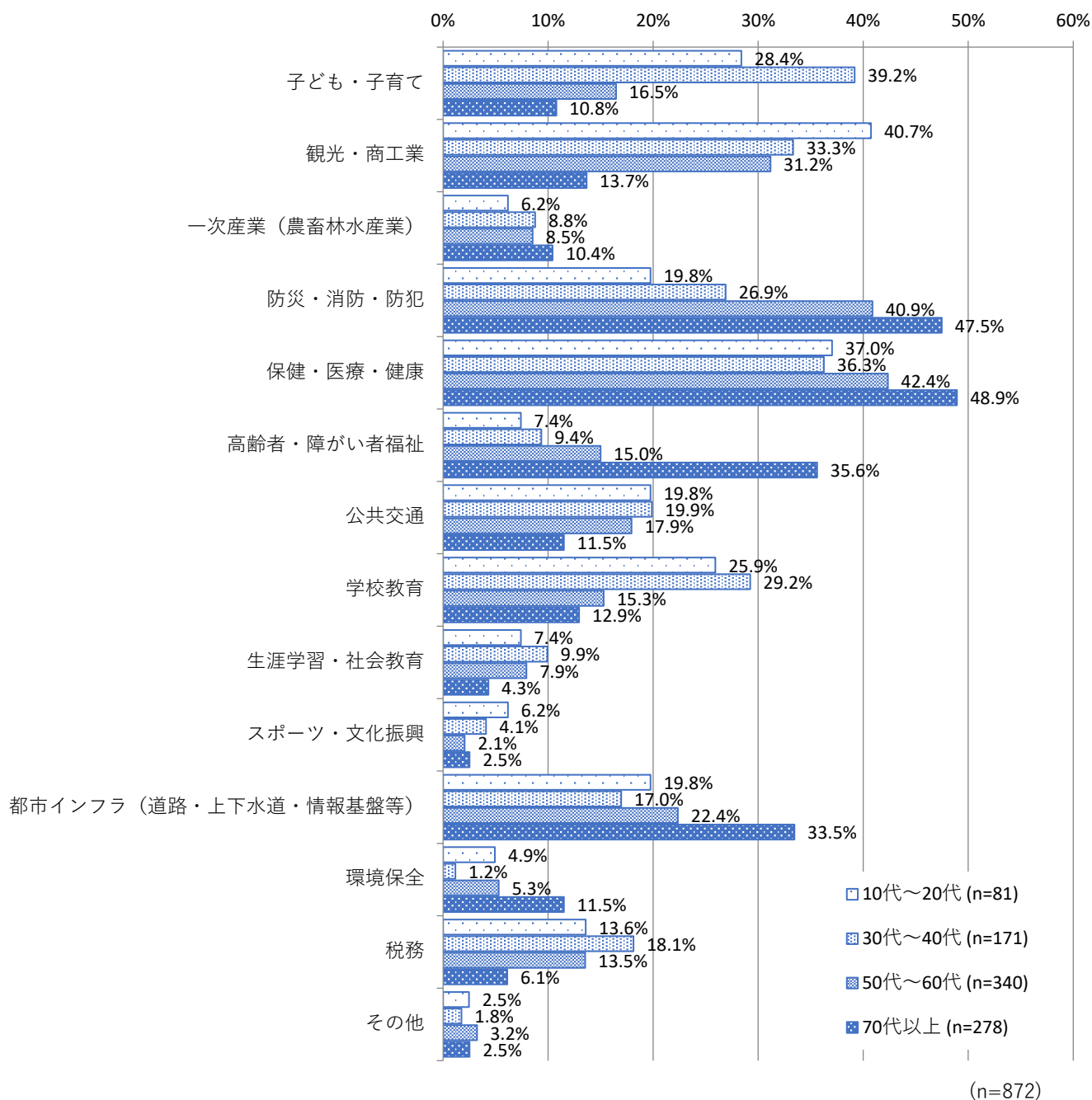
図表 104 デジタル化が進むことを期待する分野【3つまでの複数回答】



	度数	割合
子ども・子育て	176	20.2
観光・商工業	234	26.8
一次産業（農畜林水産業）	78	8.9
防災・消防・防犯	333	38.2
保健・医療・健康	373	42.8
高齢者・障がい者福祉	172	19.7
公共交通	144	16.5
学校教育	160	18.3
生涯学習・社会教育	63	7.2
スポーツ・文化振興	26	3.0
都市インフラ（道路・上下水道・情報基盤等）	215	24.7
環境保全	56	6.4
税務	106	12.2
その他	23	2.6
回答者数	872	

- 回答者の年代とデジタル化が進むことを期待する分野を見ると、10代～20代では、「観光・商工業」(40.7%)、30代～40代では、「子ども・子育て」(39.2%) が最も高く、50代～70代以上では「保健・医療・健康」が最も高くなっています。

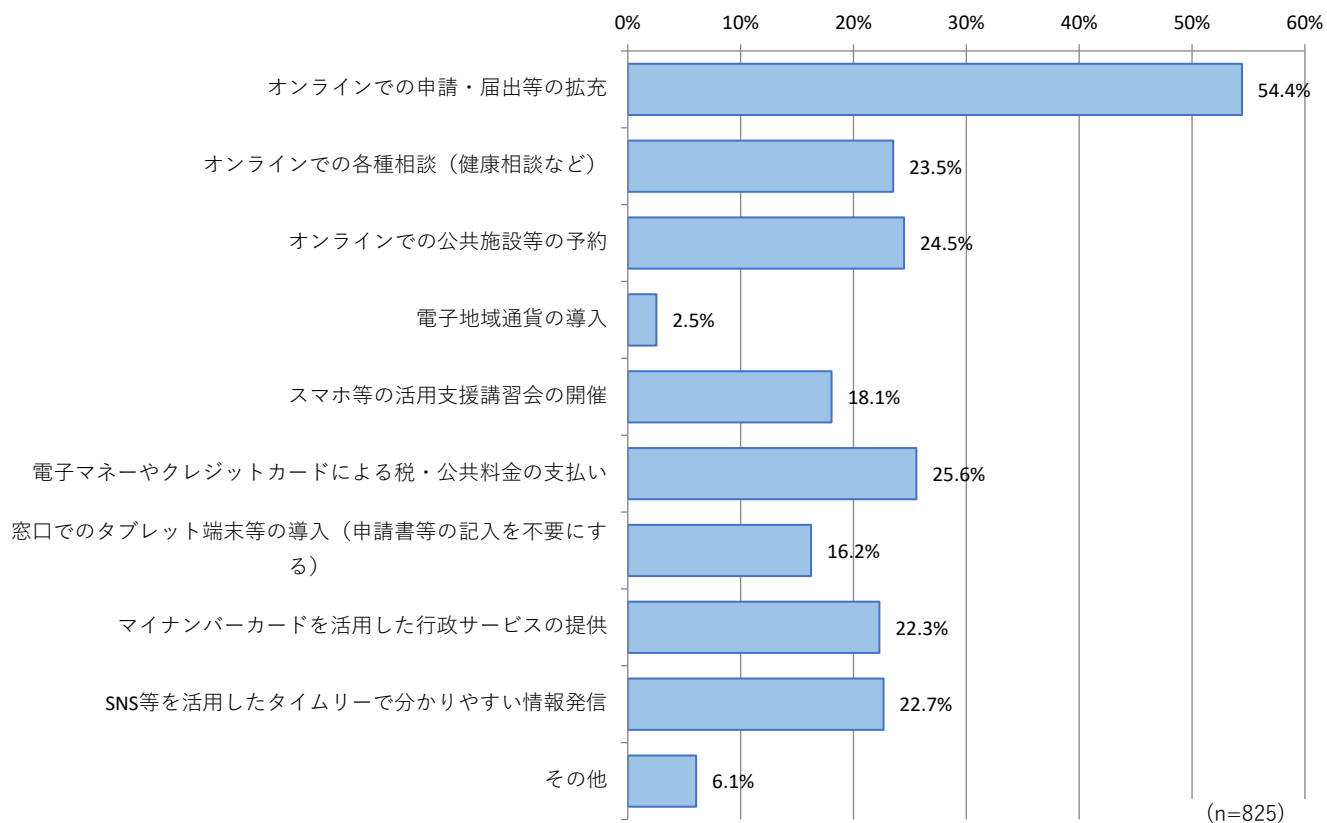
図表 105 回答者の年齢×デジタル化が進むことを期待する分野【3つまでの複数回答】



- 今後、行政にデジタル化を期待する手続きやサービスを見ると、「オンラインでの申請・届出等の拡充」(54.4%)が最も多く、次いで「電子マネーやクレジットカードによる税・公共料金の支払い」(25.6%)、「オンラインでの公共施設の予約」(24.5%)の順となっています。

③ 今後、行政にデジタル化を期待する手続きやサービス

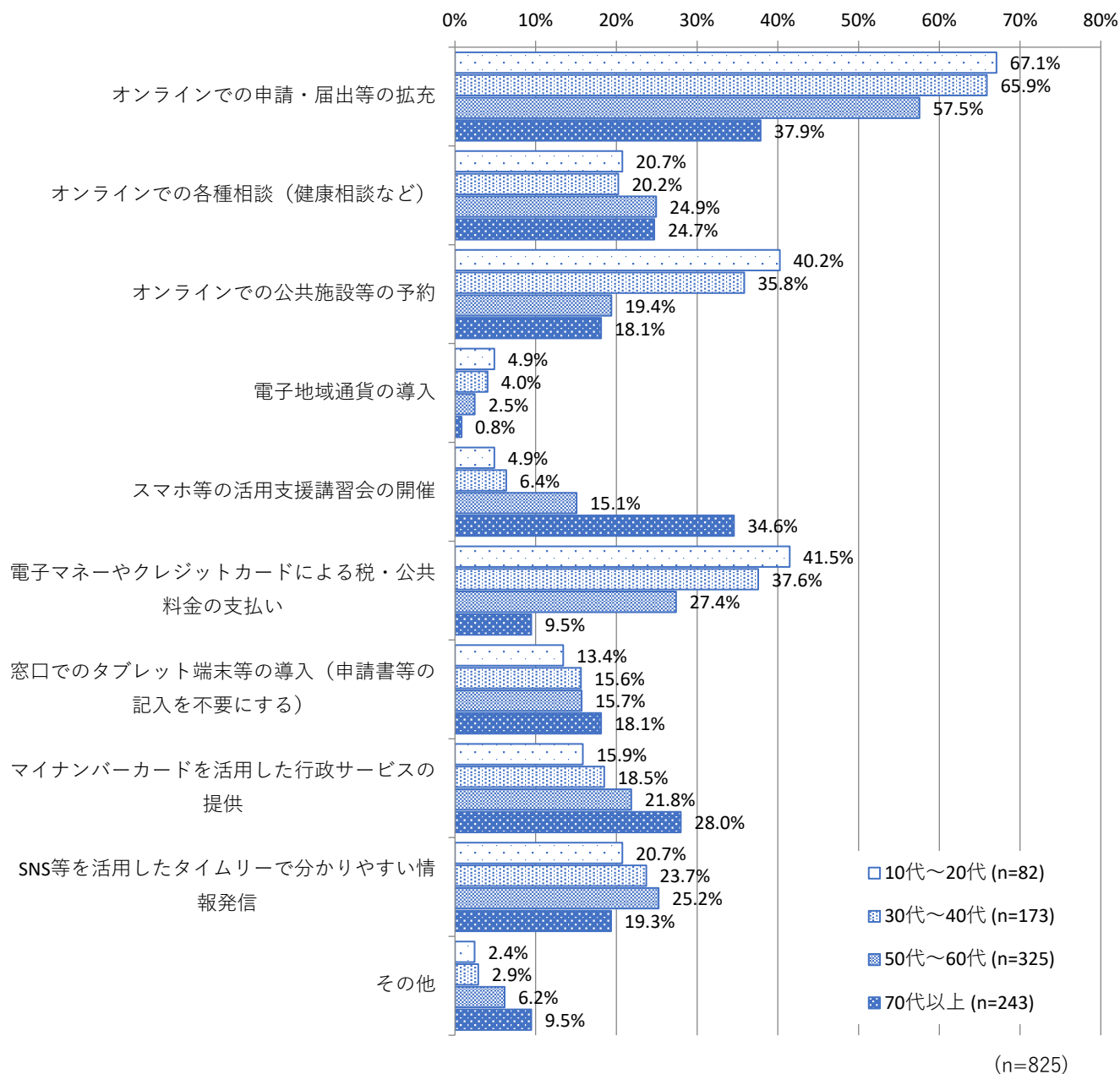
図表 106 今後、行政にデジタル化を期待する手続きやサービス【3つまでの複数回答】



	度数	割合
オンラインでの申請・届出等の拡充	449	54.4
オンラインでの各種相談（健康相談など）	194	23.5
オンラインでの公共施設等の予約	202	24.5
電子地域通貨の導入	21	2.5
スマホ等の活用支援講習会の開催	149	18.1
電子マネーやクレジットカードによる税・公共料金の支払い	211	25.6
窓口でのタブレット端末等の導入（申請書等の記入を不要にする）	134	16.2
マイナンバーカードを活用した行政サービスの提供	184	22.3
SNS等を活用したタイムリーで分かりやすい情報発信	187	22.7
その他	50	6.1
回答者数	825	

- 回答者の年齢と今後、行政にデジタル化を期待する手続きやサービスを見ると、全ての年代で「オンラインでの申請・届出等の充実」が最も高くなっています。
- 70代以上では、他の年代と比べて「スマホ等の活用支援講習会の開催」(34.6%)で高く、「電子マネーやクレジットカードによる税・公共料金の支払い」(9.5%)が低くなっています。

図表 107 回答者の年齢×今後、行政にデジタル化を期待する手続きやサービス【3つまでの複数回答】



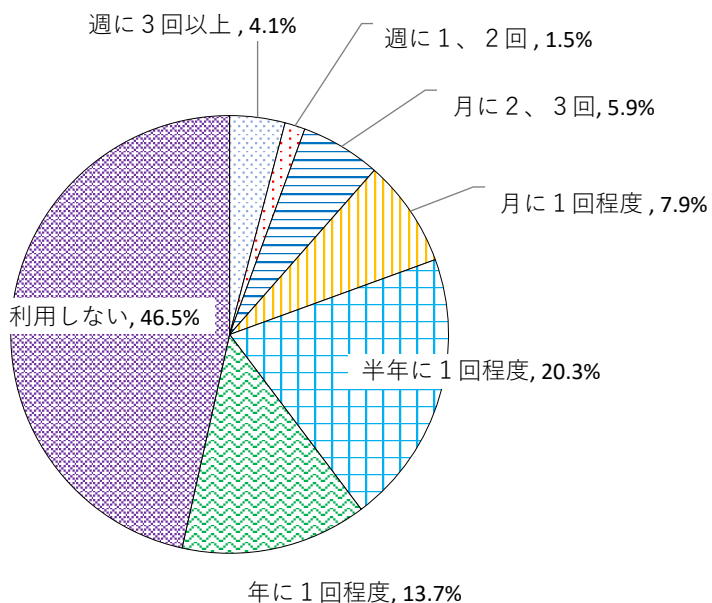
(7) 公共交通の利用について

- 公共交通の利用状況を見ると、「利用しない」(46.5%)が最も多く、次いで「半年に1回程度」(20.3%)、「年に1回程度」(13.7%)の順となっています。
- 前回調査と比較すると、「利用しない」が、8.0ポイント減少しています。

① 公共交通の利用状況

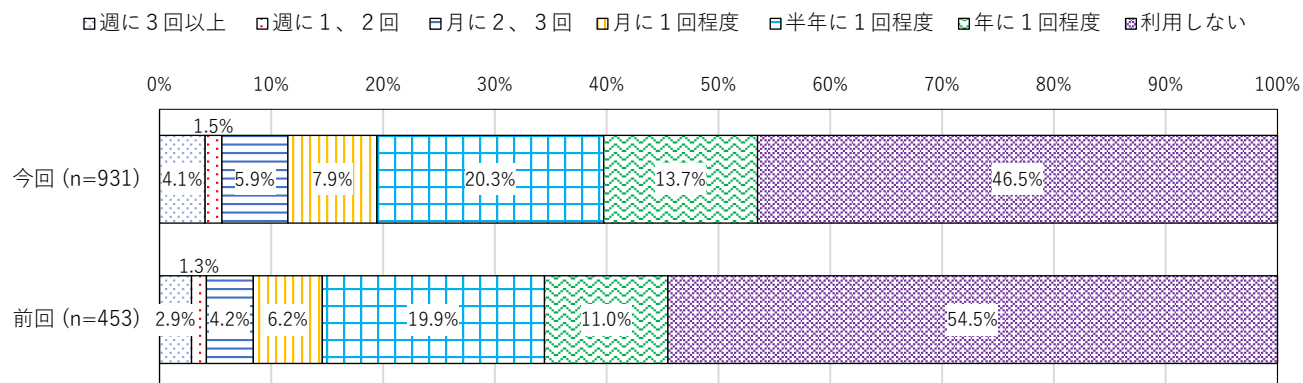
図表 108 公共交通の利用状況

	度数	割合
週に3回以上	38	4.1
週に1、2回	14	1.5
月に2、3回	55	5.9
月に1回程度	74	7.9
半年に1回程度	189	20.3
年に1回程度	128	13.7
利用しない	433	46.5
合計	931	100.0



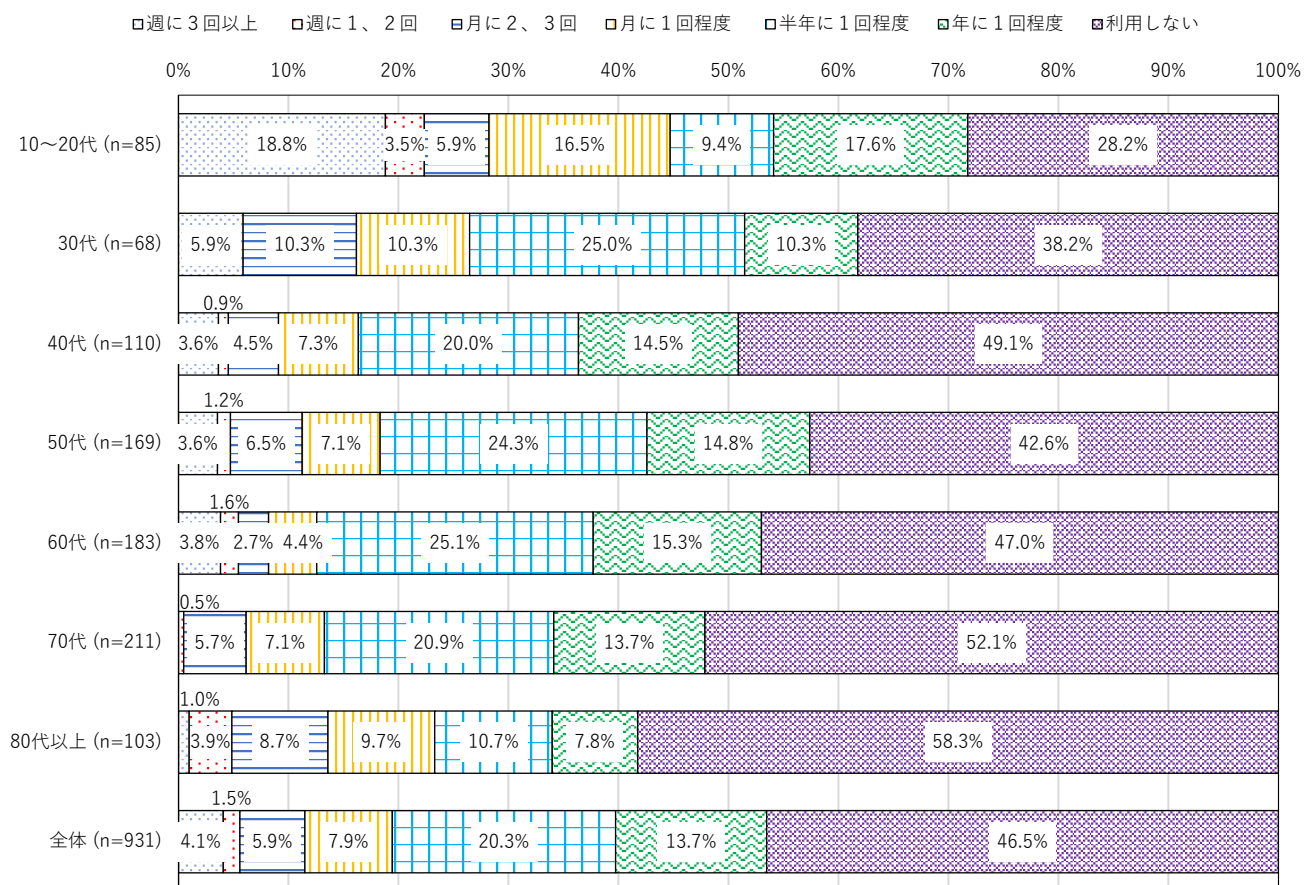
(n=931)

図表 109 【前回調査と比較】 公共交通の利用状況



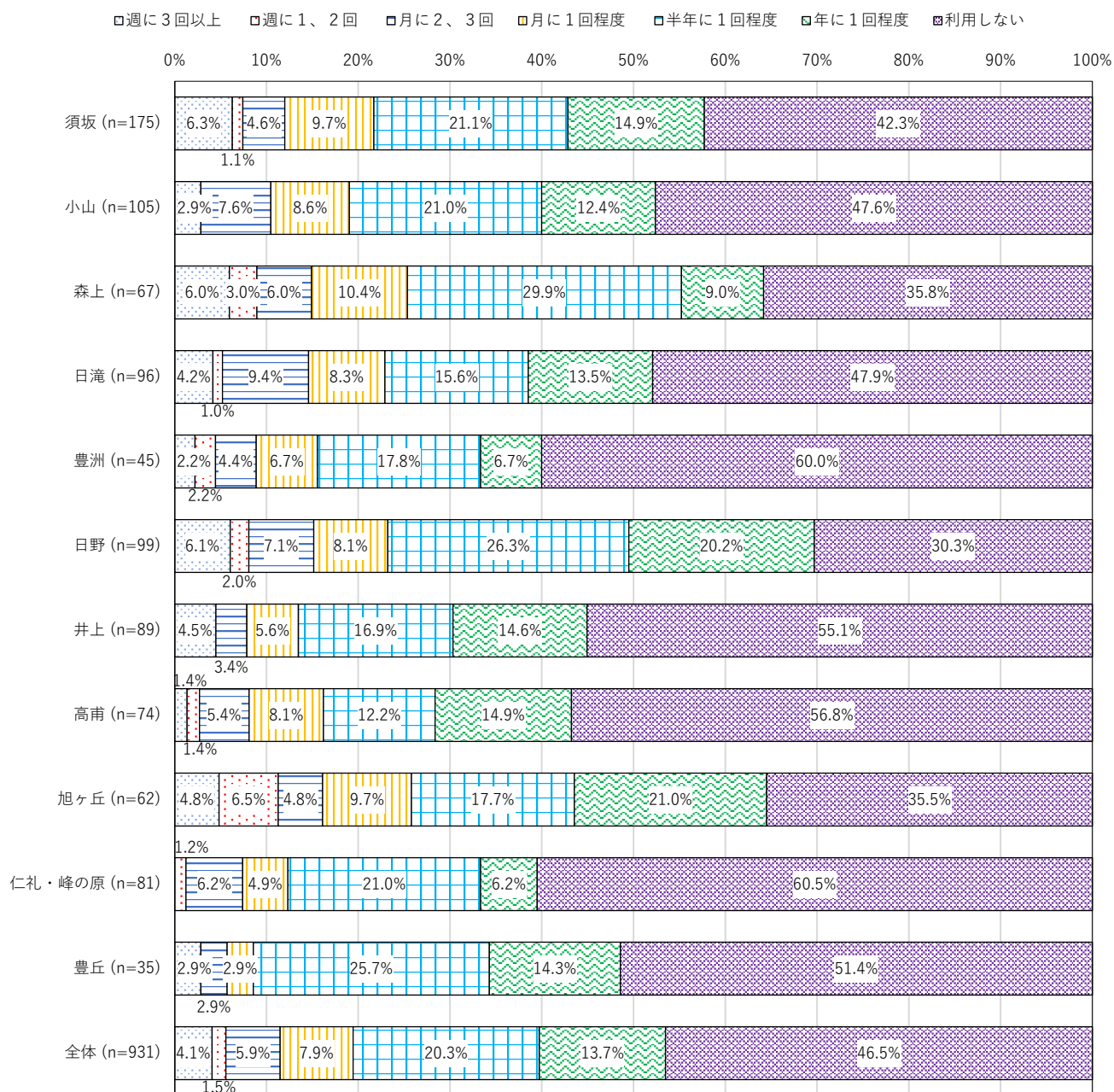
- 回答者の年代と公共交通の利用状況を見ると、全ての年代で「利用しない」が最も高くなっています。また、年代が高くなるにつれて、「利用しない」の割合が高くなる傾向にあります。

図表 110 回答者の年齢×公共交通の利用状況



- 回答者の居住地区別に公共交通の利用状況を見ると、「利用しない」と回答した人の割合は、仁礼・峰の原（60.5%）が最も多く、次いで豊洲（60.0%）、高甫（56.8%）の順となっています。

図表 111 回答者の居住地区×公共交通の利用状況



スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさを図示しています。単語の色は品詞の種類で異なり、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。

子育て支援センター

保育園 自然 子育て

遊びやすい 自然環境

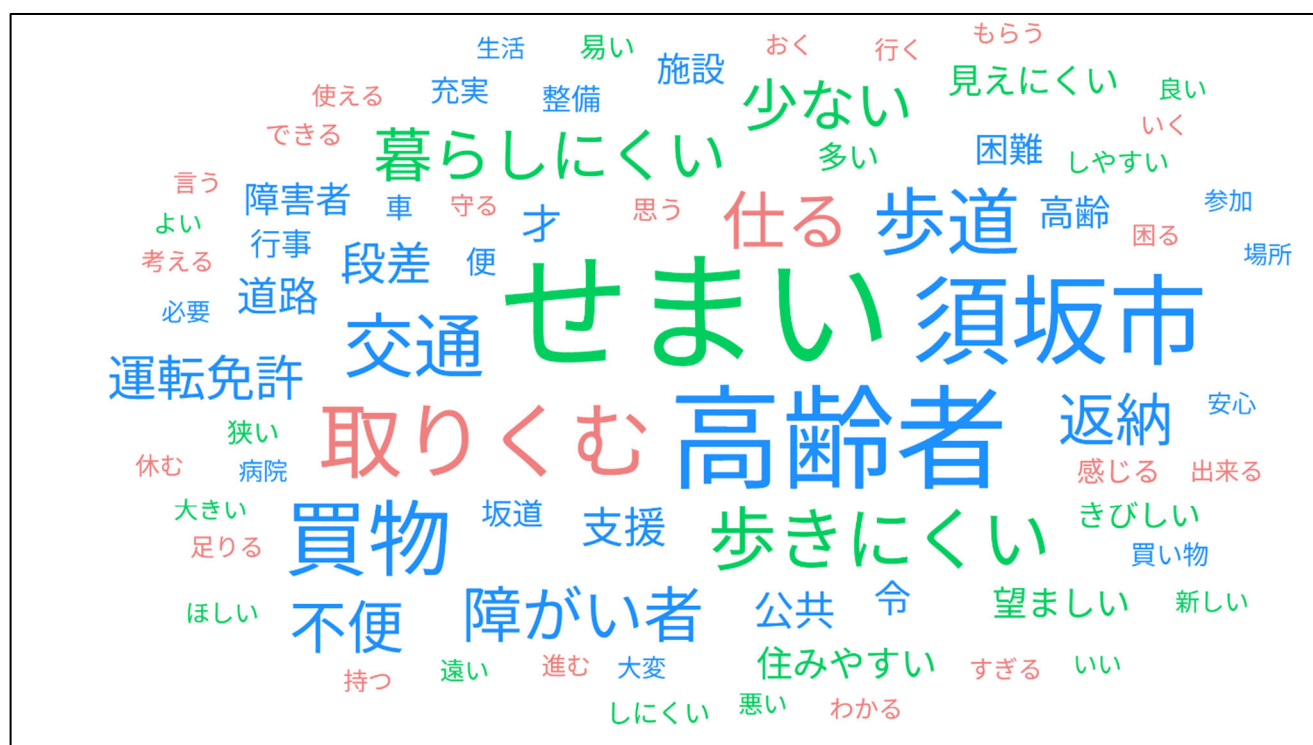
地域 充実

豊か 住みやすい 行き届きやすい

利用できる 多い 動物園 見守る 入しやすい

過ごす 育てる 恵まれる 小さい 大きい 近い 遠い 困る 助かる 囲む 幼稚園 見かける 活動 ありがたい 使いやすい くれる 楽しい 小さい 場所 増える 優しい 環境 施設 手厚い 公園 子供達 近所 良い 医療費 遊ぶ センター おもう 送れる すみません 病院 できる 学校 近く いい 暮らせる 児童館 支援

須坂市が高齢者や障がいのある方など困難を抱えた人が安心して暮らせるまちだと思わない理由をお書きください。



須坂市 臥竜公園 須坂

美味しい すばらしい 美しい しやすい しまう 楽しい
イオン 地域 知る 周辺 充実 まち 住む
フルーツ 農業 景観 街 望む
歴史 残す 米子 楽しめる
ぶどう 環境
街並み 自然 豊か 蔵 果物 桜
強い 動物園
魅力 生かす
イオンモール
おいしい 出来る
良い 行く 願う 大切 イベント
古い 小さい よい 感じる 新しい すごい 作る
歴史 残す ぶどう 街並み 自然 豊か 蔵 果物 桜
強い 動物園 魅力 生かす
イオンモール 美味しい 出来る
良い 行く 願う 大切 イベント

[illegible]

2025 年度 須坂市市民総合意識調査 ご協力のお願い

市民の皆様におかれましては、日頃から市政運営についてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本市では、2030 年までのまちづくりの方針を示した「第六次須坂市総合計画」のうち、「前期基本計画」が 2025 年度をもって終了することから、2026 年度から 5 年間の具体的施策方針を示す「後期基本計画」の策定に取り組んでいます。

策定にあたっては、少子高齢化及び今後の厳しい財政状況のなか、どのような施策を優先的に進めるべきかを検討するため、多くの市民の皆様からご意見をうかがい、参考にしていきたいと考えております。

調査対象は、市内にお住まいの 18 歳以上（2025 年 4 月 1 日時点）の方の中から 2,000 人を無作為に抽出させていただきました、つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力をいただきますようお願い申し上げます。

同封の冊子にて、須坂市を取り巻く環境変化や未来予測をまとめています。これらの情報も参考にいただきながら、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

2025 年 5 月

須坂市長

三木正夫

＜ご記入にあたってのお願い＞

- 本アンケートは無記名でお答えいただき、結果は統計的に処理いたしますので、個人が特定されたり、個人に関する情報が公表されることはありません。率直なご意見をお書きください。
- **必ず「宛名のご本人」様がお答えください。**なお、無作為抽出のため、ご病気等によりご回答いただけない方にも届いてしまう場合がございますので、その際はお手数ですが破棄いただきますようお願いいたします。
- ご記入が終わりましたら、同封いたしました返信用封筒（切手不要）に入れ、**2025 年 6 月 2 日（月）まで**に郵便ポストへ投函していただきますようお願い申し上げます。
- **アンケートはインターネットからも回答できます。**以下の URL にアクセスするか、二次元バーコードを読み込んでお答えください。**※インターネットで回答した場合は、この調査票を返送しないでください。**

回答画面 URL <https://x.gd/JhVH2>



《この調査のお問い合わせ先》

須坂市 総務部 政策推進課 政策秘書係 担当：宮崎、山本

電話：026-248-9017（課専用） 電子メール：seisakusuishin@city.suzaka.nagano.jp

I あなたやご家族のことについて

問 1-1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問 1-2 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|--------|--------|--------|----------|
| 1. 10代 | 2. 20代 | 3. 30代 | 4. 40代 |
| 5. 50代 | 6. 60代 | 7. 70代 | 8. 80代以上 |

問 1-3 お住いの地区（小学校通学区別）をお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|--------|------------|--------|-------|
| 1. 須坂 | 2. 小山 | 3. 森上 | 4. 日滝 |
| 5. 豊洲 | 6. 日野 | 7. 井上 | 8. 高甫 |
| 9. 旭ヶ丘 | 10. 仁礼・峰の原 | 11. 豊丘 | |

問 1-4 主に従事している職業等をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|--------------------|--------------------|-------------|
| 1. 会社員 | 2. パート・アルバイト・契約社員等 | |
| 3. 自営業・経営者（農林業を除く） | 4. 農林業 | 5. 家事（内職含む） |
| 6. 公務員（教員含む） | 7. 団体職員 | 8. 学生 |
| 9. 無職 | | |
| 10. その他（ ） | | |

問 1-5 問 1-4 で「5. 家事（内職含む）」「8. 学生」「9. 無職」と回答した方以外
勤務地をお答えください。(1つに○)

- | | |
|------------------|--------|
| 1. 須坂市内 | 2. 長野市 |
| 3. その他県内市町村（市町村名 | ） |
| 4. 県外市町村（市町村名 | ） |

問 1-6 農地の所有状況（自己所有/家族所有）をお答えください。(1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 所有している | 2. 所有していない |
|-----------|------------|

問 1-7 須坂市での居住年数をお答えください。(1つに○)

※実際に生活した期間の合計年数をお答えください。

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 5年以下 | 2. 6～10年 | 3. 11～20年 | 4. 21～30年 |
| 5. 31～40年 | 6. 41～50年 | 7. 51年以上 | |

問 1-8 お住いの状況をお答えください。(1つに○)

- | | |
|-----------------|---------|
| 1. 持ち家（家族所有を含む） | 2. 公営住宅 |
| 3. 民営の賃貸住宅 | 4. 社宅・寮 |
| 5. その他（ ） | |

問 1－9 配偶者の有無についてお答えください。(1つに○)

- | | |
|-----------|----------------------|
| 1. 結婚している | 2. 結婚していない(死別・離婚を含む) |
|-----------|----------------------|

問 1－10 問 1－9で「1. 結婚している」と回答した方のみ

あなたと配偶者のお仕事(パート・アルバイト含む)の状況についてお答えください。(1つに○)

- | | |
|------------|------------------------|
| 1. 共働きである | 2. 共働きではない(夫婦どちらかのみ就労) |
| 3. 夫婦ともに無職 | |

問 1－11 同居しているご家族の構成についてお答えください。(1つに○)

- | | | |
|---------------|-----------|------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 夫婦だけ | 3. 親子(2世帯) |
| 4. 親と子と孫(3世帯) | 5. その他() | |

問 1－12 同居しているご家族の中に18歳未満の方はいらっしゃいますか。(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問 1－13 問 1－12「1. いる」と回答した方のみ

同居している18歳未満のご家族の年齢をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------|---------------------|--------|
| 1. 3歳未満 | 2. 3歳から小学校入学前 | 3. 小学生 |
| 4. 中学生 | 5. 高校生(高校生相当の年齢を含む) | |

問 1－14 同居しているご家族の中で、以下に当てはまる方(自身を含む)がいらっしゃる場合、あてはまる番号をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------|------------------|
| 1. 不登校となっている方 | 2. 75歳以上の方 |
| 3. 要介護認定を受けている方 | 4. 障がい者手帳を持っている方 |
| 5. 外出や他者とのコミュニケーションに困難を抱えている方 | |

問 1－15 ご家族(同居していない家族を含む。自身以外。)の中に、大学生以上の未婚の方はいらっしゃいますか。(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問 1－16 問 1－15に「1. いる」と回答した方のみ

大学生以上で未婚のご家族のお住まいをお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|---------|
| 1. 同居 | 2. 市内別居 |
| 3. 市外(県内)(市町村名) | |
| 4. 市外(県外)(市町村名) | |

Ⅱ 須坂市の施策に対する評価

問 2－1 現在の総合計画の中で掲げている以下の4つの重点プロジェクト（重要度が高く、特に集中して取り組む分野横断的なプロジェクト）について、2021年度～2024年度の4年間、どのように変化していると思うかお答えください。（1つに○）
重点プロジェクトの内容はカッコの中を参考にしてください。

		重点プロジェクトに対する評価				
		良くなっている	やや良くなっている	やや悪くなっている	悪くなっている	わからない
【記入例】 <u>1つに○</u>		1	2	3	4	0
1	稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする (稼ぐ力の強い産業の創出と、魅力ある雇用機会の充実を図り、安定した暮らしができる環境を整備する)	1	2	3	4	0
2	須坂市への新しい人の流れをつくる (移住定住支援を定着・強化させるとともに、須坂長野東 IC 周辺の大規模開発等により、新たな交流人口の創出を図る)	1	2	3	4	0
3	結婚・出産・子育ての希望をかなえる (出産・子育てへの理解促進を図り、希望する数の子どもを産み育てられる環境を整備する)	1	2	3	4	0
4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる (防災体制の強化等を進めるとともに、健康づくりや防災・防犯などの地域活動に参加しやすく、互いに学び合える地域づくりを促進する)	1	2	3	4	0

問２－２ 以下の基本目標ごとの各基本施策の取組み状況について、あなたはどの程度満足していますか。また、今後取り組むことがどの程度重要だと考えていますか。カッコの中の考え方を参考に、市の取組をイメージしながらご回答ください。

基本目標①：多様性を認め合い、誰もが活躍できるまち

		満足度					重要度				
		満足	ば満足 どちらかといえ	どちらでもない	ば不満 どちらかといえ	不満	重要	ば重要 どちらかといえ	普通	ば重要でない どちらかといえ	重要でない
NO	【記入例】満足度、重要度に1つずつ○	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本施策 1 一人ひとりが大切にされ活躍できるまちづくり											
1	人権が尊重される社会の実現 (地域に存在する人権侵害が解消され、人権意識が高い地域社会が築かれている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2	男女共同参画社会の実現 (家庭、職場で性別にとらわれず、自分らしい生き方ができる社会が実現している)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本目標①全体の満足度・重要度		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

基本目標①の中で「4. どちらかといえば不満」「5. 不満」と回答した項目のある方のみ項目の番号と「不満」と回答した理由をお書きください。

項目番号	不満の理由・ご意見

基本目標②：みんなで支えあい健やかに暮らせるまち

		満足度					重要度				
		満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	重要	どちらかといえば重要	普通	どちらかといえば重要でない	重要でない
基本施策 2 健康長寿のまちづくり											
3	健康づくりの推進 (健康診断・相談、保健指導、各種健康づくり活動が充実している)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4	地域医療支援体制の推進 (休日・夜間及び救急医療体制の充実や、保険制度が健全に運営されている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5	生きがいづくりと介護予防の推進 (高齢者の地域活動への参加、社会参加が活発である)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6	高齢者福祉の充実 (ひとり暮らし支援、介護予防、相談窓口などサービスが充実している)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本施策 3 みんなで支えあう福祉のまちづくり											
7	みんなで助け合う福祉の充実 (助け合いと見守り活動や、ボランティア活動が活発である)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8	障がい者福祉の充実 (障がい者の社会参加、歩道段差解消など必要な支援、サービスが充実している)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9	生活困窮者への支援 (生活に困っている人が気軽に相談や支援を受けながら自立に向けて生活できる)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本目標②全体の満足度・重要度		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

基本目標②の中で「4. どちらかといえば不満」「5. 不満」と回答した項目のある方のみ項目番号と「不満」と回答した理由をお書きください。

項目番号	不満の理由・ご意見

基本目標③：子どもの個性と力がのびのび育つ教育のまち

		満足度					重要度				
		満足	ば満足 どちらかといえ	どちらでもない	ば不満 どちらかといえ	不満	重要	ば重要 どちらかといえ	普通	ば重要でない どちらかといえ	重要でない
基本施策 4 安心して子育てができるまちづくり											
10	切れ目のない子育て支援の充実 (相談窓口、親子が集える場所、預かり保育など 子育て支援サービスが充実している)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本施策 5 次代を担う人材を育むまちづくり											
11	特色ある魅力的な学校づくりの推進 (学校の自主性や須坂の地域性を活かした学び により、感性豊かで元気な子どもが育っている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12	児童・青少年健全育成の推進 (家庭や地域の中で、体験や交流を通じ生きる 力が生まれている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本目標③全体の満足度・重要度		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

基本目標③の中で「4. どちらかといえば不満」「5. 不満」と回答した項目のある方のみ
項目番号と「不満」と回答した理由をお書きください。

項目番号	不満の理由・ご意見

基本目標④：一人ひとりが学び、高め合うまち

		満足度					重要度				
		満足	ば満足 どちらかといえ	どちらでもない	ば不満 どちらかといえ	不満	重要	ば重要 どちらかといえ	普通	ば重要でない どちらかといえ	重要でない
基本施策 6 主体的に学び合い、学びを生かすことができるまちづくり											
13	生涯学習の機会充実 (学習機会の拡大や学習成果の発表の場を提供するなど公民館が生涯学習の拠点となっている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本施策 7 文化・芸術・スポーツ活動に熱心なまちづくり											
14	生涯学習・文化芸術・歴史を大切にしたまちづくりの推進 (歴史・文化・芸術に親しめるまちづくりが図られている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15	スポーツ活動の充実 (指導者の育成、スポーツ施設の充実などにより、市民のスポーツ活動が盛んである)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本目標④全体の満足度・重要度		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

基本目標④の中で「4. どちらかといえば不満」「5. 不満」と回答した項目のある方のみ
項目番号と「不満」と回答した理由をお書きください。

項目番号	不満の理由・ご意見

基本目標⑤：安全・安心で快適な生活と美しい自然環境がともにあるまち

		満足度					重要度				
		満足	どちらかといえ ば満足	どちらでもない	どちらかといえ ば不満	不満	重要	どちらかといえ ば重要	普通	どちらかといえ ば重要でない	重要でない
基本施策 8 安全・安心で心穏やかに暮らせるまちづくり											
16	防災体制の充実 (防災設備や備蓄品の充実など防災に対する備えがあり、防災体制が整っている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17	消防・救急体制の充実 (消防防災施設の充実、医療機関との連携による救急体制が図られている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18	交通安全対策の推進 (交通安全意識の啓発、子どもや高齢者が安心して歩ける道路・歩道が整っている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19	消費生活の安全確保と意識向上 (振り込め詐欺などから市民を守るため、地域と連携して被害防止に努めている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
20	地域安全活動の推進 (防犯パトロール、防犯意識の啓発が進み、市民が犯罪や事故に対する不安を感じることなく安心して暮らせている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本施策 9 快適で便利な都市基盤のあるまちづくり											
21	土地の有効利用の促進 (空地・空き家が減り、耕作放棄地の解消など環境整備がされている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
22	上下水道の整備 (安全な水道水が安定供給されている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
23	橋や道路整備の推進 (道路網の整備や修繕、歩道の段差解消など整備がされている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
24	安心で快適な住環境の推進 (公共施設や住宅の耐震診断・耐震補強が図られ、快適な住環境が整備されている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
25	公共交通の確保 (市民バス、乗合タクシーなど便利で持続可能な公共交通の環境が整っている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

		満足度					重要度				
		満足	どちらかといえ ば満足	どちらでもない	どちらかといえ ば不満	不満	重要	ば重要	どちらかといえ 普通	どちらかといえ ば重要でない	重要でない
基本施策 10 豊かな自然と調和する個性あるまちづくり											
26	自然環境の保全 (自然にふれあう機会が多く、効果的な自然環境の保全が進められている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
27	良好な景観の保全と育成の推進 (蔵の町並み、身近にある花壇など須坂らしい景観となっている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
28	循環型社会の推進と地球温暖化対策 (市民や事業者によりごみを減らす、再使用、修理して使う、リサイクル等が行われている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本目標⑤全体の満足度・重要度		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

基本目標⑤の中で「4. どちらかといえば不満」「5. 不満」と回答した項目のある方のみ
項目番号と「不満」と回答した理由をお書きください。

項目番号	不満の理由・ご意見

基本目標⑥：活力と賑わいのある自立したまち

		満足度					重要度				
		満足	どちらかといえ ば満足	どちらでもない	どちらかといえ ば不満	不満	重要	どちらかといえ ば重要	普通	どちらかといえ ば重要でない	重要でない
基本施策 11 多様な産業の活力あふれるまちづくり											
29	農業の活性化 (おいしい農産物の生産や、農産物の販路拡大、耕作放棄地対策が図られている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
30	森林の保全・活用 (松くい虫対策や間伐材の活用など森林が緑の財産として育成管理されている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
31	強みを活かした新産業の創出 (市内企業が、産学官金連携によりあらたな製品開発、先進的な取組みの情報収集を行い、競争力を高めるための活動を行っている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
32	雇用機会の充実と産業人材の育成 (求職者への就業支援を通じて、働く意欲がある人が、希望する職業に就いている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本施策 12 交流と賑わいのあるまちづくり											
33	商業の活性化 (市内に必要な買い物ができる環境がある)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
34	観光産業の振興 (観光案内板の設置のほか、蔵の町並みや歴史などの観光資源を活かし、土産品の充実など観光産業の振興が図られている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
35	特色を生かした地域振興の推進 (市の特産品や歴史などが地域ブランドとして認知され、地域振興が図られている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本目標⑥全体の満足度・重要度		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

基本目標⑥の中で「4. どちらかといえば不満」「5. 不満」と回答した項目のある方のみ
項目番号と「不満」と回答した理由をお書きください。

項目番号	不満の理由・ご意見

基本目標⑦：市民とともに作る持続可能なまち

		満足度					重要度				
		満足	ば満足 どちらかといえ	どちらでもない	ば不満 どちらかといえ	不満	重要	ば重要 どちらかといえ	普通	ば重要でない どちらかといえ	重要でない
基本施策 13 未来志向型の行政経営を行うまちづくり											
36	広聴・広報の充実 （「広報すぎか」や「須坂市ホームページ」などを通じて知りたい情報がいつでも入手でき、わかりやすく提供されている）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
37	ICT による利便性の向上と効率的なシステム運用 （市のデジタル化の取組に満足している）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
38	長期的展望に立った財政運営 （長期的視点にたち、収支バランスの取れた財政運営が行われている）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本施策 14 活力にみちた共創のまちづくり											
39	移住定住の促進及び若者の結婚支援 （移住定住先として選ばれるような、相談体制・情報発信・受け入れ態勢整備及び、若い世代の結婚支援が行われている）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
40	協働・市民参画の推進 （市職員が意欲をもって市民のみなさんとともに課題解決に取り組んでいる）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本目標⑦全体の満足度・重要度		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

基本目標⑦の中で「4. どちらかといえば不満」「5. 不満」と回答した項目のある方のみ
項目番号と「不満」と回答した理由をお書きください。

項目番号	不満の理由・ご意見

Ⅲ あなたご自身の活動の状況や今後の意向

問3-1 以下の各項目について、あなたの普段の活動状況や今後の意向をお答えください。

		現在の活動状況					今後の 取組み意向		
		そう 思う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	た い 取 組 み を 増 や し	現 状 の ま ま	た い 取 組 み を 減 ら し
番号	【記入例】活動状況、取組み意向に 1つずつ○	1	2	③	4	5	①	2	3
基本目標① 多様性を認め合い、誰もが活躍できるまち									
1	日常的に人権を尊重するようにしている	1	2	3	4	5	1	2	3
2	性別にとらわれず、仕事や家事・育児をしている	1	2	3	4	5	1	2	3
3	国際交流活動に取り組んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3
基本目標② みんなで支えあい健やかに暮らせるまち									
4	健康維持・増進に取り組んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3
5	高齢者や子どもの見守り活動に参加している	1	2	3	4	5	1	2	3
6	障がいのある方や困難を抱えている方に対して、必要があれば日常的に手助けをしている	1	2	3	4	5	1	2	3
基本目標③ 子どもの個性と力がのびのび育つ教育のまち									
7	子どもや子育て家庭をあたたく見守り、必要があればサポートしている	1	2	3	4	5	1	2	3
8	地域の子どもの健全育成活動に携わっている	1	2	3	4	5	1	2	3
基本目標④ 一人ひとりが学び、高め合うまち									
9	公民館や図書館などで自主的な学習に取り組んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3
10	生涯学習・文化芸術に親しみ、地域の人々と一緒に活動に取り組んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3
11	地域の伝統行事に参加するなど、文化の継承に取り組んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3
12	日頃スポーツをする・観る・関わっている	1	2	3	4	5	1	2	3

		現在の活動状況					今後の 取組み意向		
		そう 思う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	取 組 み を 増 や し たい	現 状 の ま ま	取 組 み を 減 ら し たい
基本目標⑤ 安全・安心で快適な生活と美しい自然環境がともにあるまち									
13	災害に対する備えを行っている	1	2	3	4	5	1	2	3
14	交通マナーを守っている	1	2	3	4	5	1	2	3
15	防犯活動に取り組んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3
16	電車、バス、乗合タクシーを利用している	1	2	3	4	5	1	2	3
17	環境にやさしい生活を実践している	1	2	3	4	5	1	2	3
18	緑化や美化などの景観の保全活動に取り組んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3
19	地球温暖化防止を意識して生活している	1	2	3	4	5	1	2	3
20	循環型社会の推進を目指しリサイクルを意識している	1	2	3	4	5	1	2	3
基本目標⑥ 活力と賑わいのある自立したまち									
21	特産品を市外の人にすすめている	1	2	3	4	5	1	2	3
22	日用品などできるだけ市内のお店で買い物するようにしている	1	2	3	4	5	1	2	3
23	須坂市を観光地として市外の人にすすめている	1	2	3	4	5	1	2	3
基本目標⑦ 市民とともにつくる持続可能なまち									
24	「広報須坂」を読んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3
25	日常的にインターネットやスマートフォンなどの ICT を活用している	1	2	3	4	5	1	2	3
26	自治会活動に参加している	1	2	3	4	5	1	2	3
27	近所づきあいを大切に、日常的に支え合っている	1	2	3	4	5	1	2	3
28	ボランティアや市民活動に取り組んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3
29	市政に関心がある	1	2	3	4	5	1	2	3
30	市民として、さまざまな形で市政（須坂市のまちづくり）に参加している	1	2	3	4	5	1	2	3

IV 須坂市のまちづくりに対する総合評価

問4-1 須坂市は子育てしやすいまちだと思いますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. 思わない | |

問4-2 問4-1で「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」と回答した方のみ
須崎市は子育てしやすいまちだと思ふ理由をお書きください。

--

問４－３ 須坂市は高齢者や障がいのある方など困難を抱えた人が安心して暮らせるまちだと思いますか。(1つに○)

1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない 5. 思わない

問 4－4 問 4－3で「4. どちらかといえばそう思わない」「5. 思わない」と回答した方のみ須坂市が高齢者や障がいのある方など困難を抱えた人が安心して暮らせるまちだと思わない理由をお書きください。

[illegible]

問 4－5 須坂市に愛着を感じますか。(1つに○)

1. 感じる 2. どちらかといえば感じる 3. どちらともいえない
4. どちらかといえば感じない 5. 感じない

問4-6 須坂市は住みやすいまちだと思いますか。(1つに○)

1. 住みやすい 2. どちらかといえば住みやすい 3. どちらともいえない
4. どちらかといえば住みにくい 5. 住みにくい

問４－７ 須坂市に今後も住みたいと思いますか。(１つに○)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 今の場所で住み続けたい | 2. 須坂市の他の場所に住みたい |
| 3. 市外に引越したい | 4. 近いうちに市外に移る予定がある |
| 5. その他 () | |

問4－8 問4－7で「3. 市外に引越したい」「4. 近いうちに市外に移る予定がある」と回答した方のみ

須坂市外に引越したいと考えている理由としてあてはまるものを以下からお選びください。(すべてに○)

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 住宅や土地の価格・広さに満足出来ないから | 2. 通勤・通学に不便だから |
| 3. 日常の買い物が不便だから | 4. 自然災害への備えが不十分だから |
| 5. 騒音などの生活環境に満足出来ないから | 6. 医療・福祉環境に満足出来ないから |
| 7. 保育・子育て・教育環境に満足できないから | 8. 人間関係やつきあいがわずらわしいから |
| 9. 町会役員やPTAなど地域活動がめんどうだから | 10. 治安・防犯が心配だから |
| 11. ショッピングや娯楽を楽しめる場所が少ないから | 12. 働きたい仕事や企業等がないから |
| 13. 商売や事業を行いやすい環境でないから | 14. 仕事、学校、家族の都合でやむをえず |
| 15. その他 (|) |

V 須坂市の将来都市像

問5－1 2030年も残したいと思える須坂市の強みや魅力について自由にお書きください。

問5－2 2030年に向けて改善したいと思う須坂市の改善点について自由にお書きください。

問5-3 2030年に向けて、須坂市にどのようなまちになってほしいと思いますか。

以下からあてはまるものをお選びください。(3つまで○)

- | | |
|-------------------------------------|---------------------------|
| 1. 産業が発展し、地元に雇用が豊富にあるまち | 2. ささやかでも安定した暮らしができるまち |
| 3. 豊かな自然や田園風景が守られているまち | 4. 利便性が高く、快適に生活できるまち |
| 5. 災害に強く、犯罪や事故がない安全なまち | 6. 医療や福祉が充実し、安心して暮らせるまち |
| 7. 健康づくりに取り組み、健康寿命が長いまち | 8. 地域で協力し合い、支え合いながら暮らせるまち |
| 9. 市民と行政の協働が根付いているまち | 10. 子どもを安心して産み育てられるまち |
| 11. 充実した教育が受けられ、人材が育つまち | 12. 多くの人が訪れ、賑わいのあるまち |
| 13. 地域に誇りや愛着を持てるまち | 14. 市民の自主的な学びや活動が盛んなまち |
| 15. 地域の個性や伝統文化を守り、大切にするまち | |
| 16. 時代変化に対応し、先進的な取り組みを行うまち | |
| 17. 財源確保や行政改革の工夫がされ、安定した行政運営が行われるまち | |
| 18. その他 (|) |

VI デジタル化の推進について

問6-1 デジタル化で不安に思うことは何ですか。(3つまで○)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 個人情報の漏洩やプライバシーの侵害 | 2. インターネットでの詐欺 |
| 3. コンピューターウイルスへの感染 | 4. 機器の購入などによる経済的負担の増加 |
| 5. 格差が生まれること | 6. 情報通信機器の操作が困難 |
| 7. その他 (|) |

問6-2 デジタル化が進むことを期待する分野は何ですか。(3つまで○)

- | | | |
|---------------|---------------------------|-----------------|
| 1. 子ども・子育て | 2. 観光・商工業 | 3. 一次産業（農畜林水産業） |
| 4. 防災・消防・防犯 | 5. 保健・医療・健康 | 6. 高齢者・障がい者福祉 |
| 7. 公共交通 | 8. 学校教育 | 9. 生涯学習・社会教育 |
| 10. スポーツ・文化振興 | 11. 都市インフラ（道路・上下水道・情報基盤等） | |
| 12. 環境保全 | 13. 税務 | |
| 14. その他 (| |) |

問6-3 今後、行政にデジタル化を期待する手続きやサービスは何ですか。(3つまで○)

- | | |
|-----------------------------------|------------------------|
| 1. オンラインでの申請・届出等の拡充 | 2. オンラインでの各種相談（健康相談など） |
| 3. オンラインでの公共施設等の予約 | 4. 電子地域通貨の導入 |
| 5. スマホ等の活用支援講習会の開催 | |
| 6. 電子マネーやクレジットカードによる税・公共料金の支払い | |
| 7. 窓口でのタブレット端末等の導入（申請書等の記入を不要にする） | |
| 8. マイナンバーカードを活用した行政サービスの提供 | |
| 9. SNS等を活用したタイムリーで分かりやすい情報発信 | |
| 10. その他 (|) |

VII 公共交通の利用について

問 7-1 あなたは日ごろ、公共交通（長野電鉄長野線、すざか市民バス・長電バス、すざか乗合タクシー）をどの程度利用していますか。（1つに○）

- | | | |
|-----------|------------|-----------|
| 1. 週に3回以上 | 2. 週に1、2回 | 3. 月に2、3回 |
| 4. 月に1回程度 | 5. 半年に1回程度 | 6. 年に1回程度 |
| 7. 利用しない | | |

以上でアンケートは終了となります。ご協力いただき、誠にありがとうございました。